小学館版 少年少女 学習まんが

日本の歴史

監修/児玉幸多 学習院大学名誉教授

⑪ 天下の統一 ●安土桃山時代

決定版

●まんが

あおむら　純

1941年、山口県に生まれる。アニメーションの作画などをへて現在にいたる。歴史まんがの分野で大活やくし、少年少女のファンも多い。

11巻にご協力いただいた方がた

●監修
児玉幸多（学習院大学名誉教授）

●まんが
あおむら純
●シナリオ
小和田哲男（静岡大学名誉教授）
西原和海

●考証
石井謙治（日本海事史学会名誉会長）
小泉和子（生活史研究所代表）
鈴木友也（日本美術刀剣保存協会専務理事）
高田倭男（高田装束研究所所長）
玉井哲雄（千葉大学名誉教授）
宮上茂隆（建築史家・竹林舎建築研究所代表）

●指導（教育現場の立場から）
高山博之（京都教育大学名誉教授）

●指導・執筆・協力
岡田威夫（共立女子高校）
小和田哲男（静岡大学名誉教授）
所　荘吉（鉄砲史研究家）
松田毅一（京都外国語大学名誉教授）
宮上茂隆（建築史家・竹林舎建築研究所代表）
横井　清（元桃山学院大学文学部教授）
高橋千劔破

●取材協力
麻布山善福寺　安土町　(財)逸翁美術館　上杉神社　上杉隆憲　円徳寺　(財)大阪市文化財協会　大阪城天守閣　霞ヶ城公園管理事務所　喜多院　京都国立博物館　宮内庁侍従職　国友昌三　熊本城管理事務所　高台寺　高知城管理事務所　神戸市立博物館　神戸南蛮美術館　澤田平　西法寺　堺市博物館　滋賀県安土城郭調査研究所　滋賀県教育委員会　尚古集成館　関ヶ原町歴史民俗資料館　高槻市　摠見寺　長興寺　東京国立博物館　東慶寺　㈶徳川黎明会　中井忠重　名古屋城管理事務所　西本願寺　日本銀行　彦根市　姫路城管理事務所　㈶不審庵　法隆寺　松江市城山公園管理事務所　松本市　三井高遂　三井文庫

●イラスト
池尻克美　大林かおる　中西立太　深山のぼる
●作画協力
伊藤光男　大岡龍二　小井土繁　小杉彰　小山春夫　阪上吉英　芝知照　坪井幸一　馬場秀夫　山本貴久雄
●装丁・レイアウト
功野真矢　佐野恒雄（ＣＳＪ）　成澤哲夫（ＮＥＤ）

●版下
大山デザイン　昭和ブライト　タナカデザイン
●編集協力
エディトリアル・プランニング　銀杏社　真英社　鈴木悦子　長久保奈緒美　風人社
●編集担当
柏原順太　宮部良雄　八巻孝夫

（五十音順・敬称略）

小学館版 少年少女 学習まんが

日本の歴史

11

天下の統一

●安土桃山時代

監修/児玉幸多　まんが/あおむら純

この巻の歴史年表

巻数	時代	年代
1	旧石器（岩宿）	前3万
	縄文（紋）	前1万
	弥生	前1000
2	古墳	紀元1
	飛鳥	100
3	奈良	200
4	平安	300
5		400
6		500
7	鎌倉	600
8	南北朝	700
9	室町	800
10	戦国	900
11	安土桃山	1000
12	江戸	1100
13		1200
14		1300
15		1400
16		1500
17	明治	1600
18		1700
19	大正	1800
20	昭和・前期	1900
21	昭和・後期～平成	

●この巻には、青色の部分の時代・年代が、かかれています。

日本のおもなできごと

時代・文化

西暦

●1582 ●1580 ●1577 ●1576 ●1575 ●1573 ●1571 ●1570 ●1569 ●1568

織田信長が京都にのぼり、足利義昭が将軍となる。

信長が**関所を廃止**する。

信長が宣教師ルイス＝フロイスと会い、京都居住をゆるす。

姉川の戦いで、信長が徳川家康とともに浅井・朝倉の連合軍をやぶる。

信長が比叡山延暦寺を焼き討ちする。

信長が足利義昭を追放し、**室町幕府がほろびる。**

長篠の戦いで、信長・家康が、鉄砲を用いて武田勝頼をやぶる。

信長が**安土城**をきずき、ここにうつる。

信長と石山本願寺の戦いがはげしくなる。

信長が安土で楽市・楽座を命じる。

石山本願寺の顕如が信長に降伏する。

キリシタン大名の大友氏らが、**少年使節をローマにおくる。**

世界のおもなできごと

西暦

●1582 ●1581 ●1580 ●1570

スペインがフィリピンを占領し、翌年マニラを根拠地とする。

スペイン国王がポルトガル国王をかねる。

オランダが独立を宣言する。

安土桃山時代

桃山文化

●1583 ●1584 ●1585 ●1586 ●1587 ●1588 ●1590 ●1591 ●1592 ●1593 ●1594 ●1597 ●1600

信長が明智光秀に討たれる。**（本能寺の変）**

山崎の戦いで羽柴秀吉が光秀をやぶる。秀吉が山城国で**検地**を行う。

賤ケ岳の戦いで、秀吉が柴田勝家をやぶる。

大坂城の築城工事がはじまる。

家康と秀吉が戦う。（小牧・長久手の戦い）

秀吉が関白となる。（翌年、太政大臣となり、豊臣の姓をうける。）

家康が大坂城をおとずれ、秀吉の臣下となる。

秀吉が九州を平定し、ついで、**キリスト教の布教を禁じ、**宣教師を追放する。秀吉が聚楽第をたてる。

秀吉が**刀狩**を命じる。天正大判・小判がつくられる。

秀吉が北条氏を討ち、さらに奥州を平定する。**（全国統一の完成）**

わが国の封建制度が確立される。

秀吉が侍・中間などの身分制度をさだめる。

秀吉が明の征服をくわだて、朝鮮に出兵する。**（文禄の役）**

秀吉が朱印船の制度をもうける。

天草版イソプ（イソポ）物語が刊行される。

秀吉が伏見（桃山）城をきずき、ここにうつる。

ふたたび朝鮮に出兵。翌年、秀吉の死で引きあげる。**（慶長の役）**

オランダ船リーフデ号が豊後に漂着する。

関ケ原の戦い。

●1583 ●1584 ●1588 ●1595 ●1598 ●1600

マテオ＝リッチが明に来る。

グレゴリオ暦ができる。

コサックがシベリアに進出を開始する。

ガリレイが振子の等時性を発見する。

イギリスがアメリカに植民を開始する。

スペインの無敵艦隊がイギリスにやぶれる。

オランダ人がジャワに進出する。

フランスでナントの勅令が出される。

イギリスが東インド会社をつくる。

はじめに

秀吉の統一と関ケ原の合戦

◆鉄砲が歴史をかえた

ウオーッ。ワーッ。ドドッ、ドドドーッ！

武田勝頼の騎馬軍団が、いっせいに突進していきます。むかえうつのは、織田信長と徳川家康の連合軍です。

パン、パパーン！　パンパン！

織田軍の銃口が火をふきました。三千ちょうの鉄砲を前に、さすがの武田軍もさんざんに負かされてしまいました。

これが有名な「長篠の戦い」です。

鉄砲が、これまでの合戦のありかたを、まったく変えてしまったのです。どの大名よりもいち早く、この新兵器を利用した信長は、非常に先を見とおす目があったということですね。

◆秀吉の天下統一

しかし、信長は、天下統一を目前にしながら、「本能寺の変」で、あえない最期をとげました。そのあとをついで、ついに統一をなしとげたのが豊臣秀吉です。

みなさんは、『太閤記』という本を知っていますか。

そう、秀吉の伝記のことですね。江戸時代いらい今日まで、さまざまの『太閤記』がかかれてきました。『まんが太閤記』といったような本も、何種類と出ていることでしょう。

足軽の子から身をおこした秀吉は、とうとう、「関白」という高い地位にまでのぼりつめます。たいへんな出世ぶりでした。戦国時代がうんだ一大英雄といってよいでしょう。

この巻では、その秀吉が、後世にどのような影響をのこしたのか、じっくりと見ていくことにします。

◆天下分け目の関ヶ原

秀吉の死後、にわかに権力をふるうようになったのが徳川家康です。それに反発したのが、秀吉の恩をたいせつにしていた石田三成でした。

二人の対立は、まもなく、全国の大名を二つに分けての合戦にまで発展します。東軍の家康が、西軍（豊臣方）の三成を関ヶ原（岐阜県）にやぶり、天下を手にすることになります。一六〇〇年のことでした。

百年以上もの戦国時代は、ようやく終わりをつげたのです。家康は征夷大将軍となり、江戸に幕府をひらきますが、さて、どのように国内をおさめていくのでしょうか。

もくじ

- この巻の歴史年表
- はじめに
- おもな登場人物

第1章 安土山の城

- 織田信長、京にのぼる
- 浅井・朝倉勢をせめほろぼす
- 大画面・長篠の戦い
- 大画面・安土城と城下町
- 本能寺の変

第2章 天下統一をめざす

- 羽柴秀吉の前半生
- 秀吉、明智光秀をたおす
- 大画面・大坂城天守閣
- 徳川家康、秀吉の臣下となる

第3章 秀吉の政治

- 北野大茶会
- 検地と刀狩
- 小田原城をせめる
- 天下統一と大名の配置

11 天下の統一

●安土桃山時代

第4章

関ケ原の戦い

- 朝鮮に出兵する
- 豊臣秀吉の最期
- 加藤清正ら、朝鮮からもどる
- 対立する大名たち
- 家康と石田三成
- 小山の陣の家康
- 大画面・関ケ原の戦い

おもな登場人物

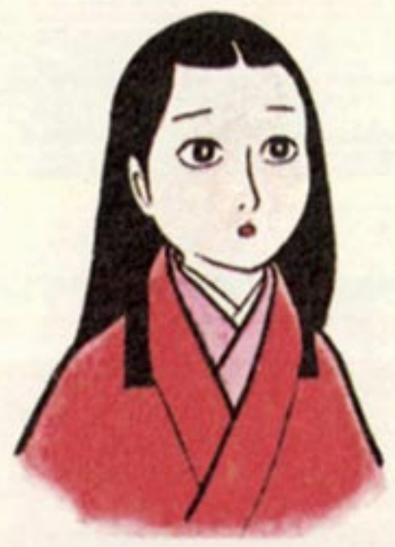
※この巻に登場するおもな人物を紹介します。登場人物をくわしく知るための事典として、役立たせてください。

第1章

織田信長
（一五三四～一五八二年）

姉川、長篠の戦いなどで天下統一をすすめる。楽市楽座などを設置、安土城をつくる。

お市
（？～一五八三年）



信長の妹。信長の命で浅井長政と結婚したが信長、秀吉に攻められる。長女は淀殿。

浅井長政
（一五四五～一五七三年）

はじめ織田信長と同盟を結び、上洛をたすける。のち朝倉義景とともに信長と対立。

明智光秀
（一五二八～一五八二年）

近江坂本城主となり、織田信長の天下統一のために活やくする。本能寺に信長をおそう。

第2章

柴田勝家
（一五二二～一五八三年）

織田家の古くからの家臣。お市と結婚したが、賤ケ岳で秀吉にやぶれ、お市と自害。

羽柴秀吉
（一五三七～一五九八年）

農民から織田信長につかえて軍事に活やく。明智光秀を山崎の戦いでやぶる。

徳川家康
（一五四二～一六一六年）

三河岡崎城主松平広忠の長男。織田信長、豊臣秀吉と同盟を結んで力をたくわえる。

黒田孝高
（一五四六～一六〇四年）

黒田官兵衛、黒田如水の名で知られる秀吉の軍師。九州平定などに活やくする。

11 天下の統一

●安土桃山時代

茶人と庶民

第3章

豊臣秀吉（一五三七～一五九八年）

信長の死後、各地を平定して天下統一を完成する。関白となり、のち太閤とよばれる。

淀殿（一五六七～一六一五年）

浅井長政の長女、母はお市。秀吉の側室となって秀頼をうみ、一時、権勢をほこる。

千利休（一五二二～一五九一年）

茶匠（茶の湯の師匠）。信長、秀吉につかえ千家流茶の湯をおこし、わび茶を完成。

小西行長（？～一六〇〇年）

秀吉の家臣。九州平定や朝鮮出兵に先鋒として活やく。熱心なキリシタンでもあった。

第4章

石田三成（一五六〇～一六〇〇年）

秀吉の側近として、太閤検地を積極的におしすすめる。関ケ原の戦いでやぶれる。

徳川家康（一五四二～一六一六年）

豊臣政権の中で五大老の筆頭として重要な位置をしめる。関ケ原の合戦で大勝する。

加藤清正（一五六二～一六一一年）

秀吉につかえて数かずの手がらをあげ、熊本城を築く。関ケ原では東軍に属す。

前田利家（一五三八～一五九九年）

信長、秀吉に協力し、加賀・能登・越中三か国の大名となり、五大老の一人になる。

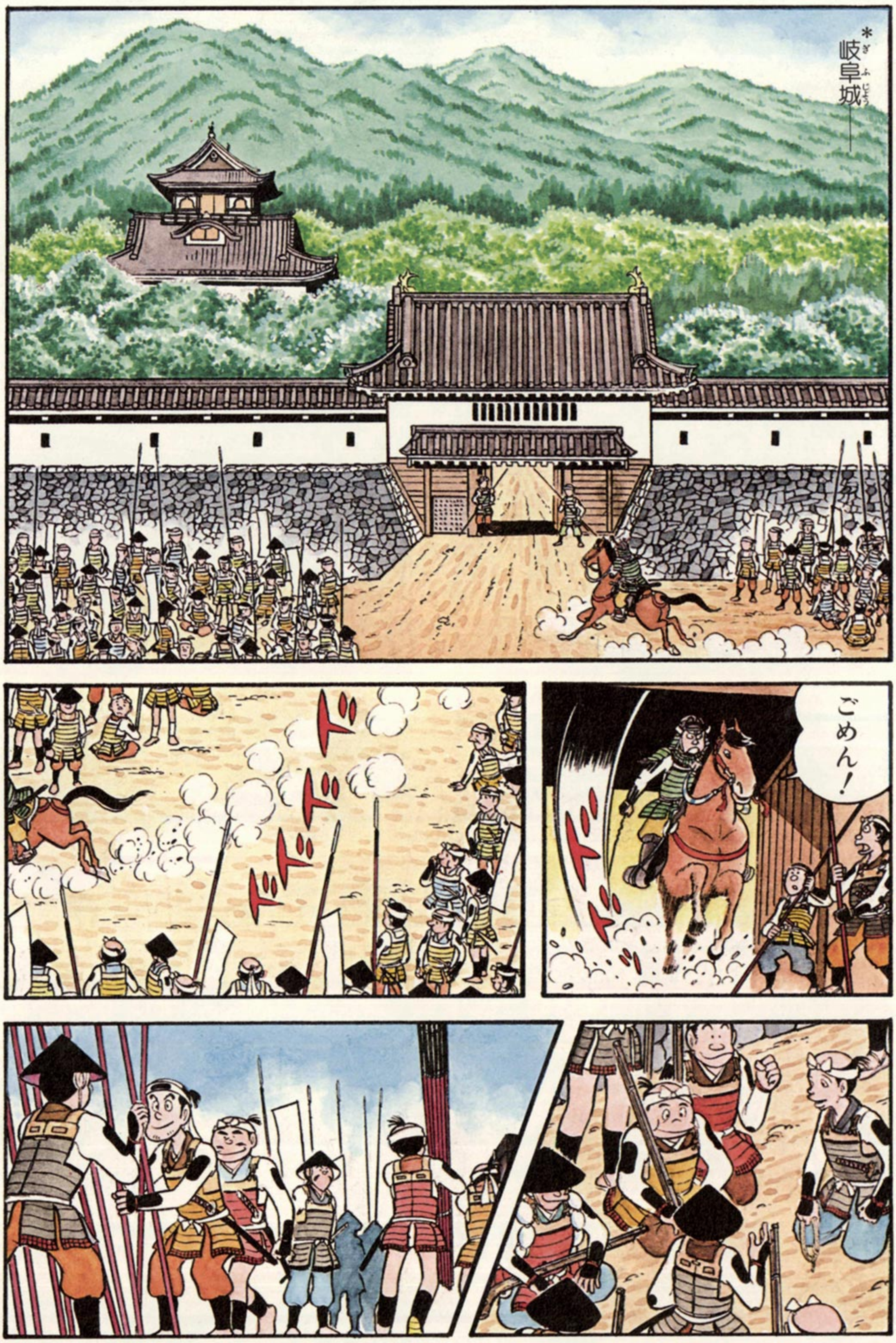
小学館 eBooks

第一章

安土山の城

——安土桃山時代——

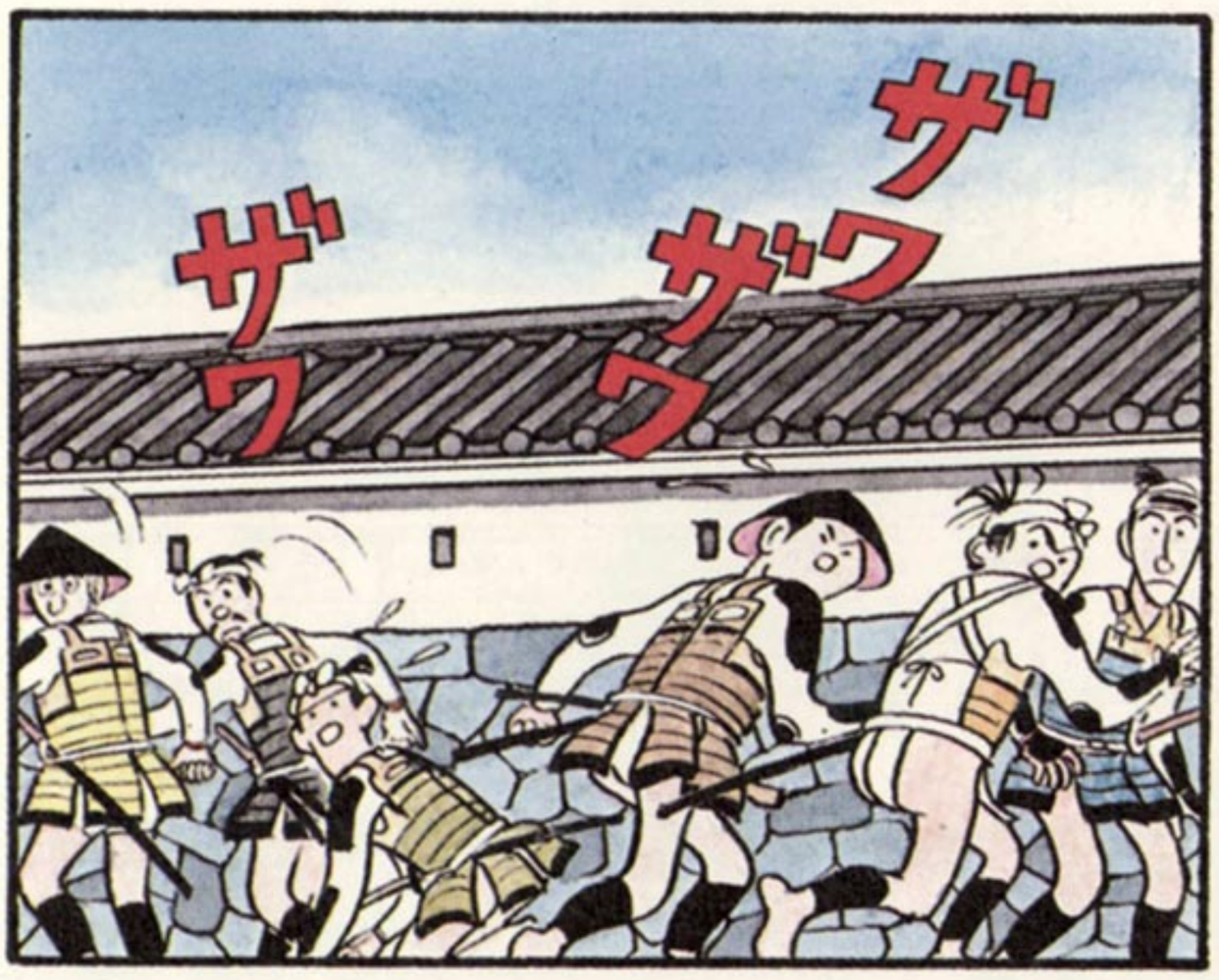
*岐阜城……岐阜県岐阜市の金華山にあった山城。はじめ稲葉山城とよばれた。

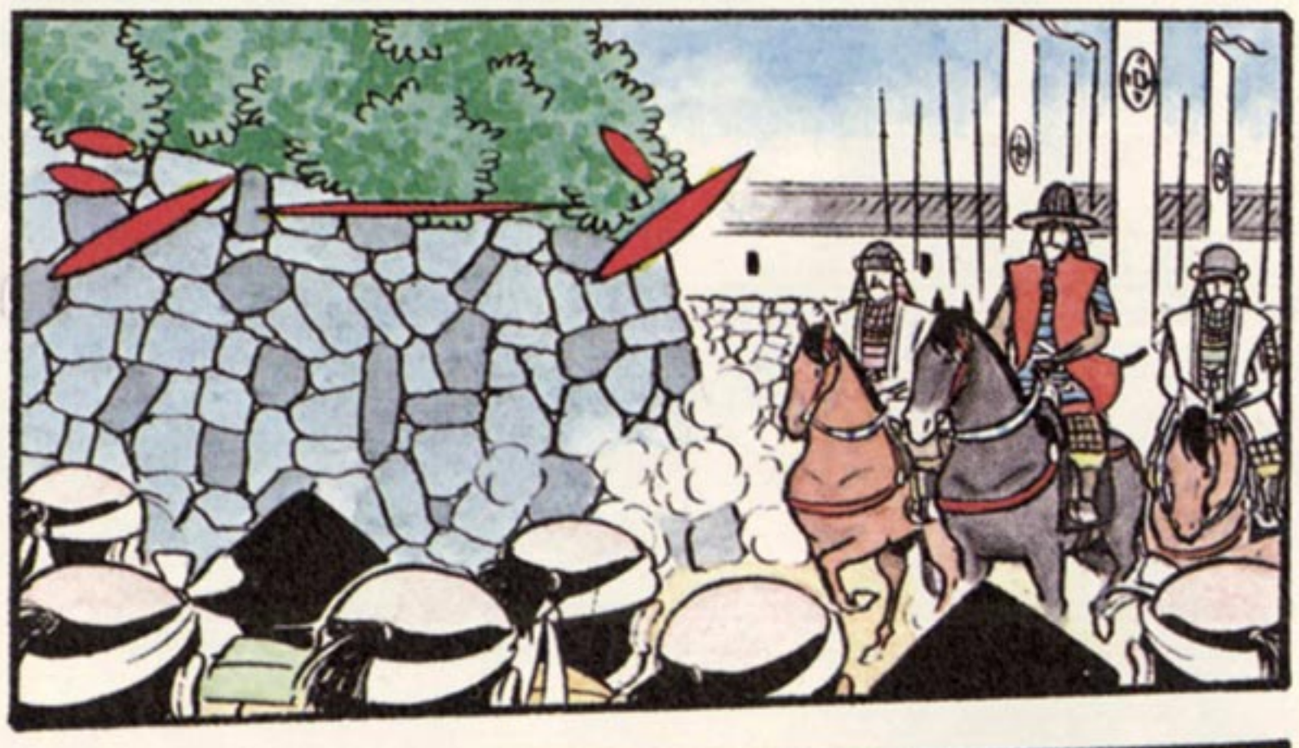

*岐阜城
ごめん！
ドドド

ガヤガヤ
ワアワア

うるさいぞ!!
なんだと!!

ゲロ


ザワ
ザワザワ



オ
オ
オ
オ
出陣!!
織田信長

一五六八年九月七日、織田信長は、六万の軍勢をひきいて岐阜城を出発しました。

バシャ バシャ バシャ

*上洛…地方から京へ行くこと。*足利将軍家…足利尊氏が一三三八年にひらいた室町幕府の将軍家。第八巻参照。

それに東国へのそなえは、織田家の同盟者徳川家康どのが*岡崎城に…。

*岡崎城…愛知県岡崎市康生町にあった城。

北近江の浅井長政どのも同盟者だ。*

*近江…滋賀県

だから、わが領国が敵にせめられることはない。

浅井長政

お市（信長の妹）

越中

加賀

越前

朝倉義景

飛騨

丹後

若狭

美濃

信濃

武蔵

丹波

岐阜

織田信長

甲斐

武田信玄

京

尾張

近江

摂津

山城

三河

相模

駿河

淡路

河内

伊賀

岡崎

遠江

讃岐

和泉

伊勢

伊豆

阿波

大和

志摩

三好氏

紀伊

松永久秀

徳川家康

うむ、それなら安心だ。

しかし、京までの道すじには敵がまちかまえているぞ。

なあに、国にいる子どもに危険がないとわかった以上、このおれさまがふみつぶしてやる！

こいつ！

ヘヘヘ

いずれにせよ、この数万の大軍が相手では、敵はひとたまりもあるまい！

まったくだ。

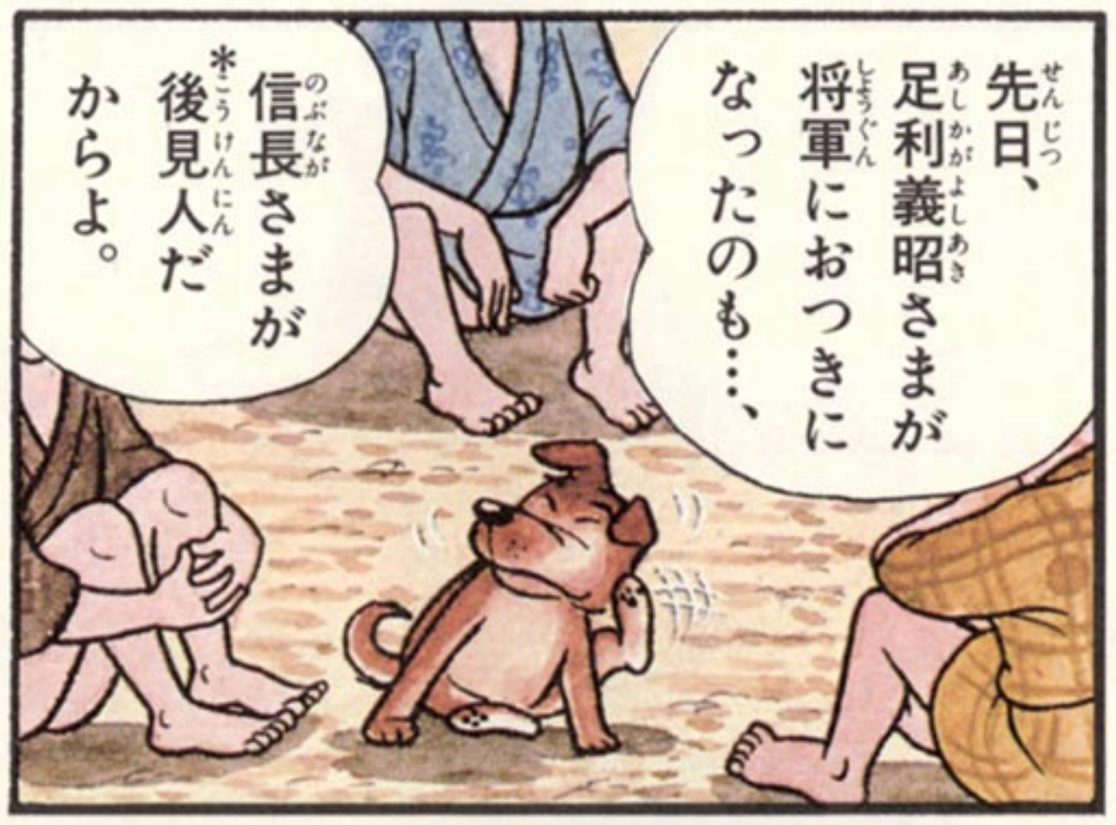
数日後、信長の軍勢は、南近江で六角承禎の軍勢と合戦し、大勝利をおさめ、その後も*山城、*摂津、*河内などの国ぐにを攻撃しました。

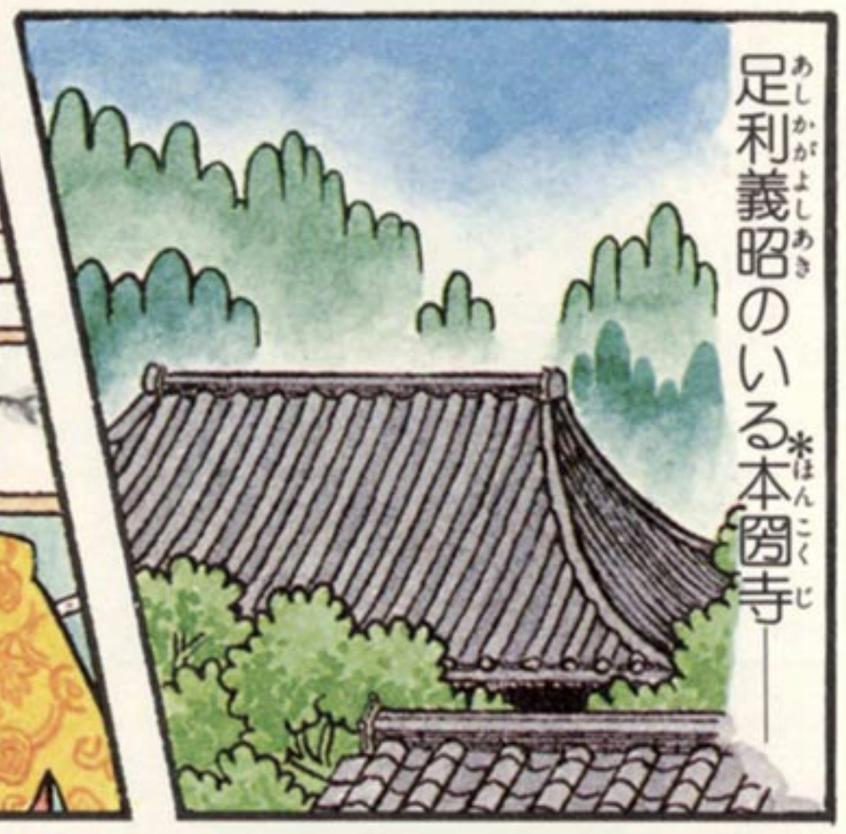
そのため、京にいた松永久秀や三好勢らは、信長の進撃をおそれて京からにげてしまいました。

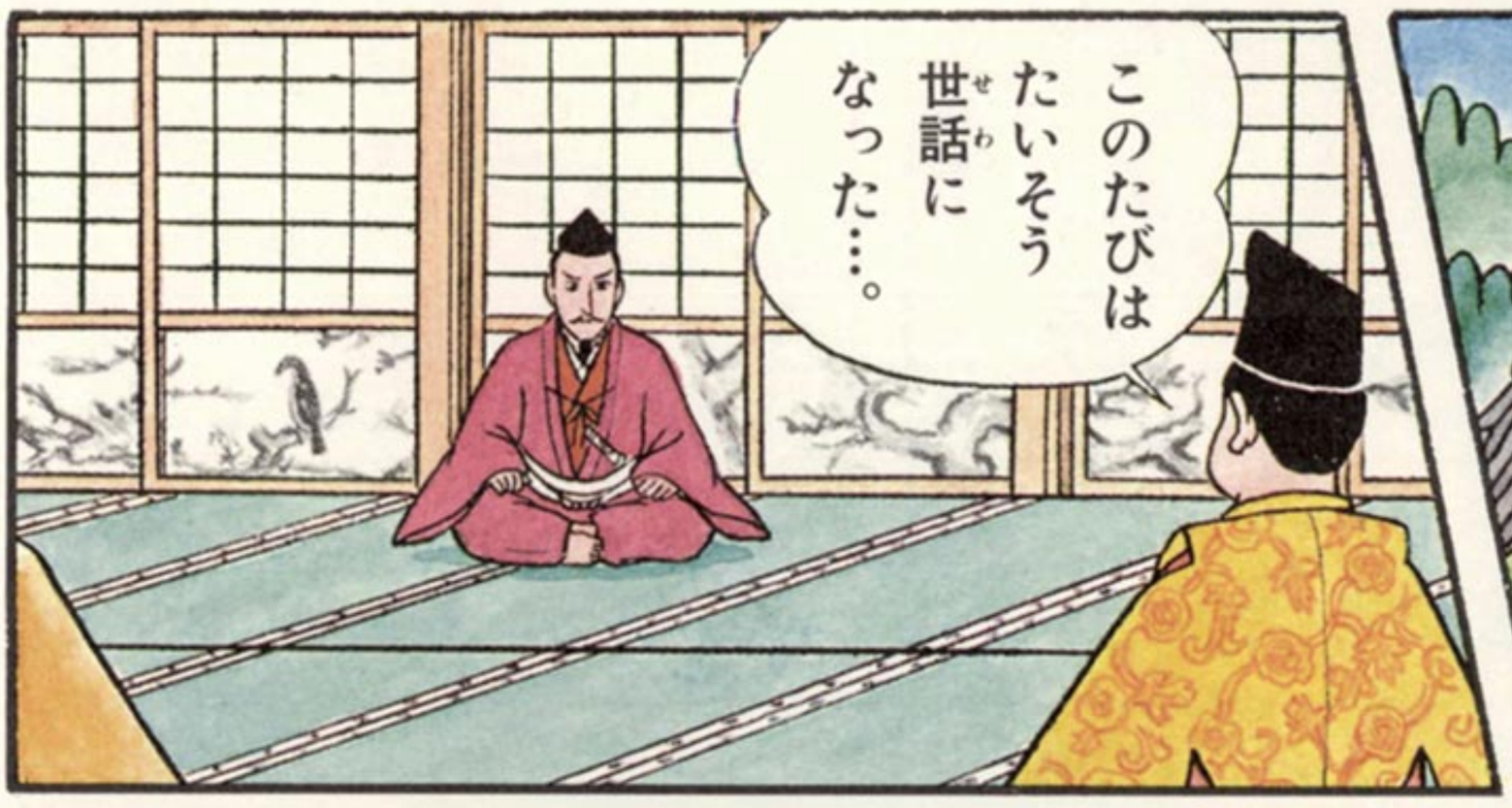
そして九月二十六日、ついに信長は足利義昭をともなって入京しました。

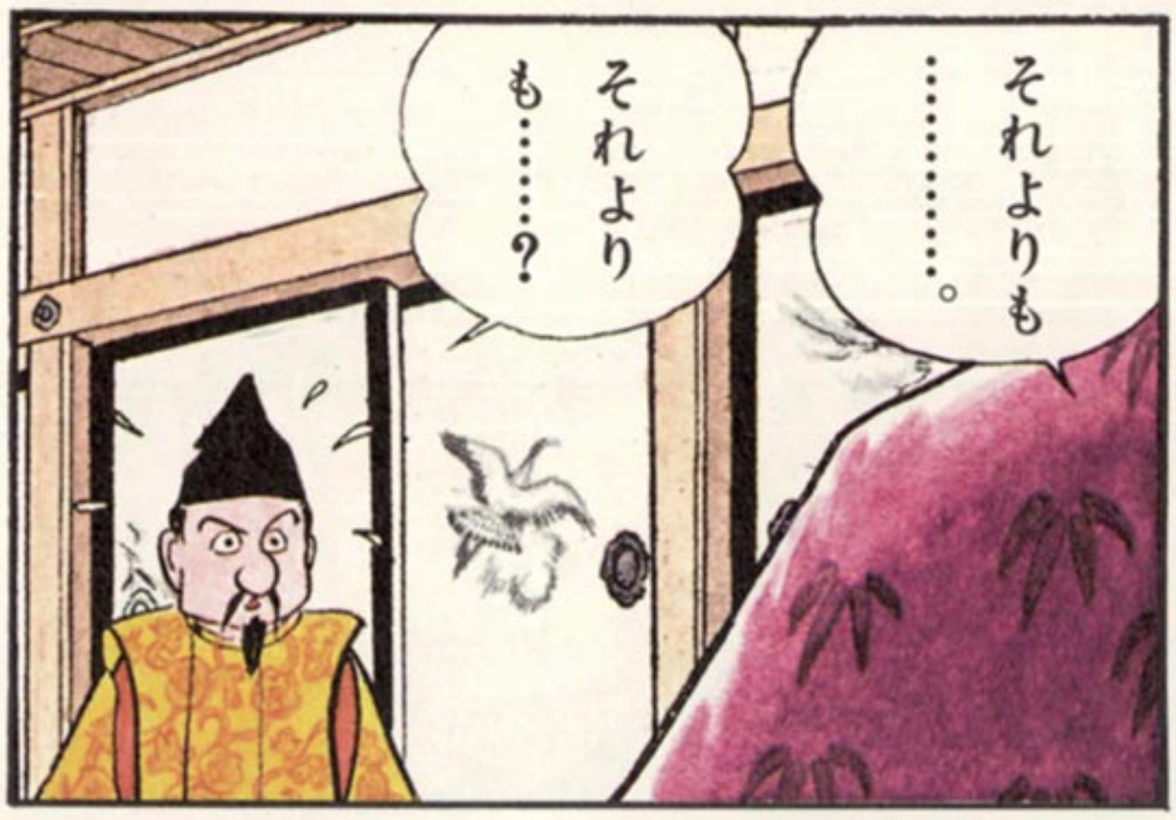
一か月後――

*山城…京都府南東部
*摂津…大阪府北西部と兵庫県南東部
*河内…大阪府南東部





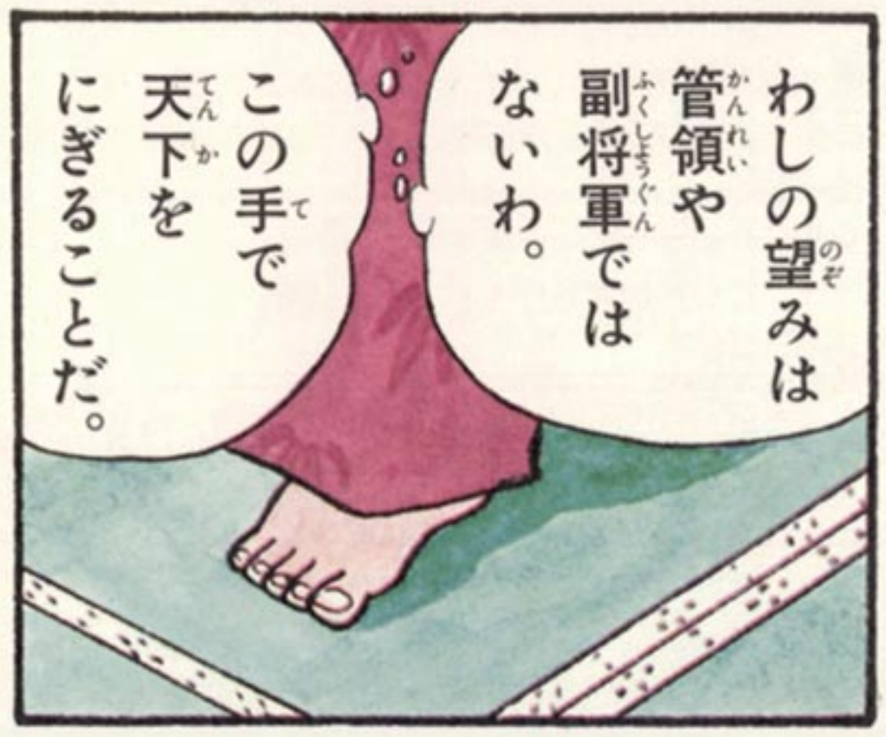




*後見人…かげでたすけ、補佐、応援する人。

*本圀寺…京都府京都市下京区にあった法華宗の寺。

*管領…室町幕府の職名。将軍をたすけて政治を行った。



*堺…大阪府堺市。港町としてさかえた。*大津…滋賀県大津市

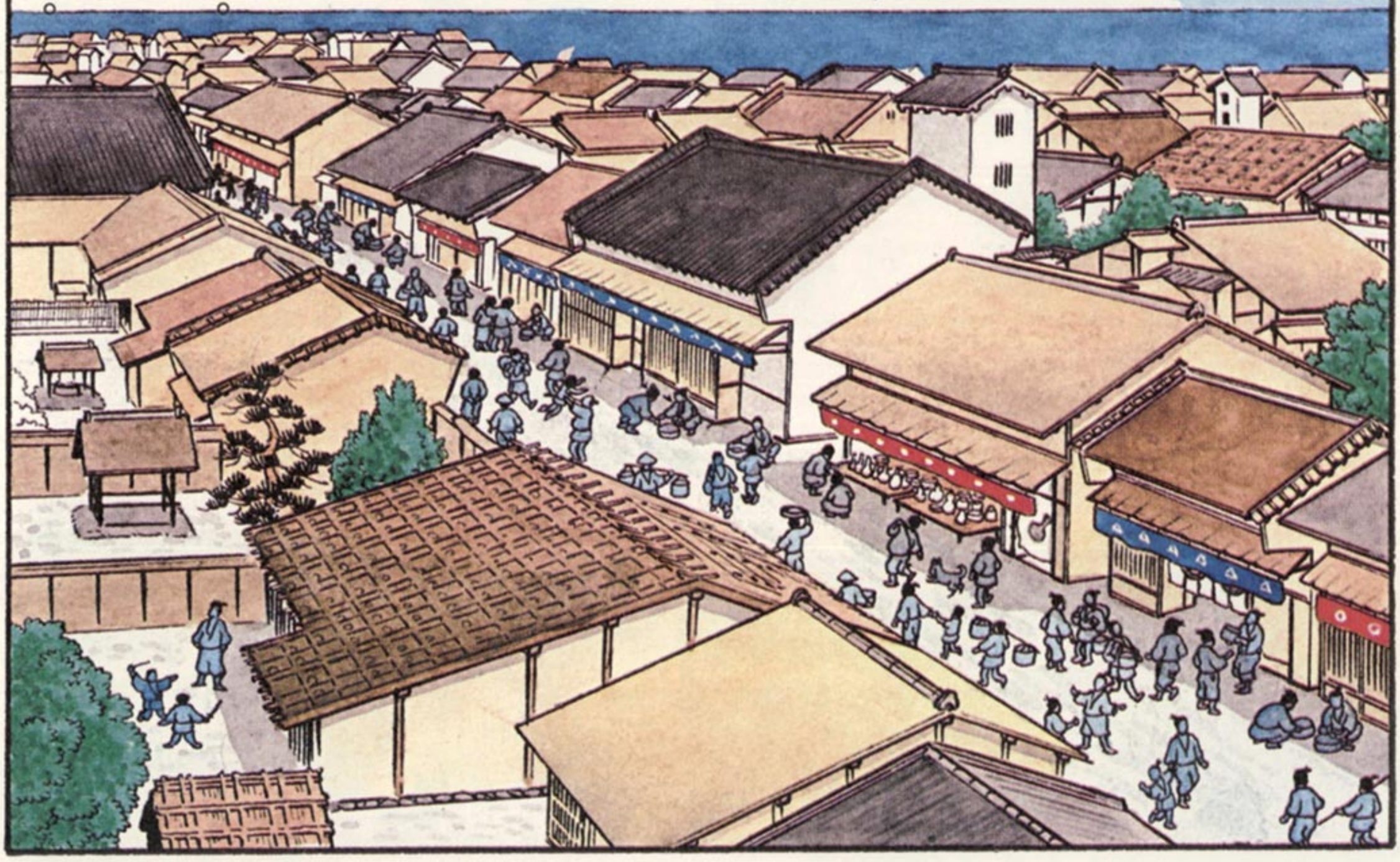
*直轄地…代官をおき、直接おさめた土地。

*矢銭…戦国時代、幕府や大名が負担させた軍用金。

一方、堺の町では——

堺の町は、鎌倉時代から商業都市としてさかえていました。当時、町は「会合衆」とよばれる大商人たちによって運営され、町の周囲に堀をめぐらしたり、武士をやとって外敵にそなえたりしていました。

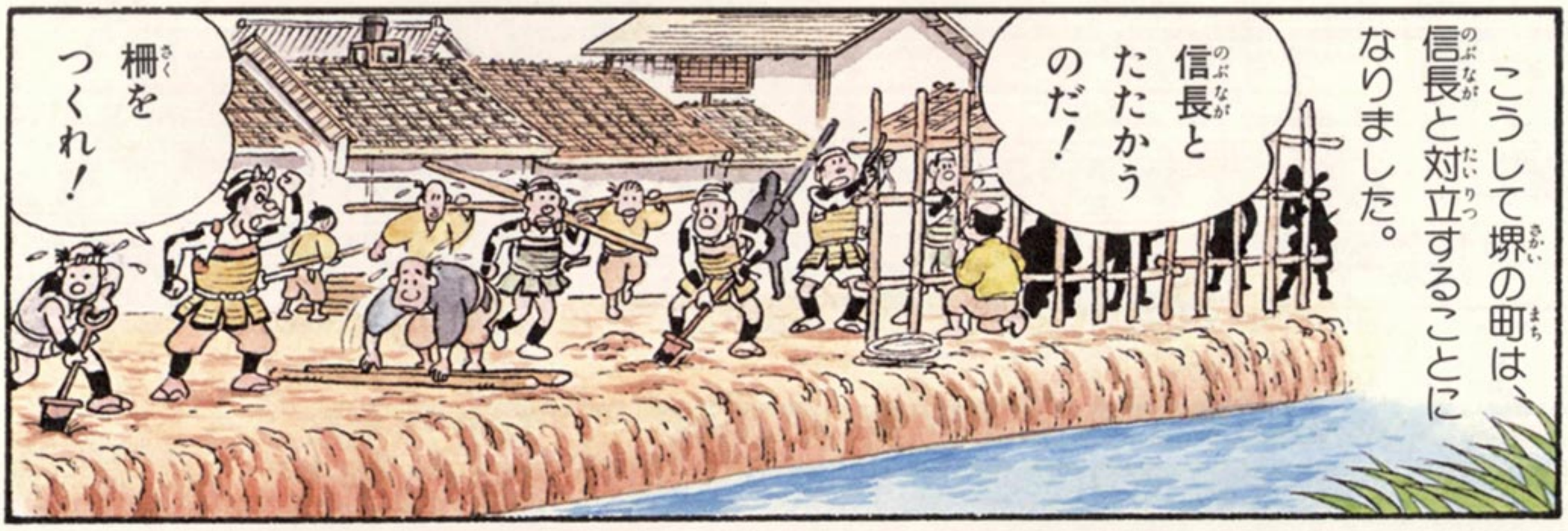
また、鉄砲の生産地としても有名な町でした。

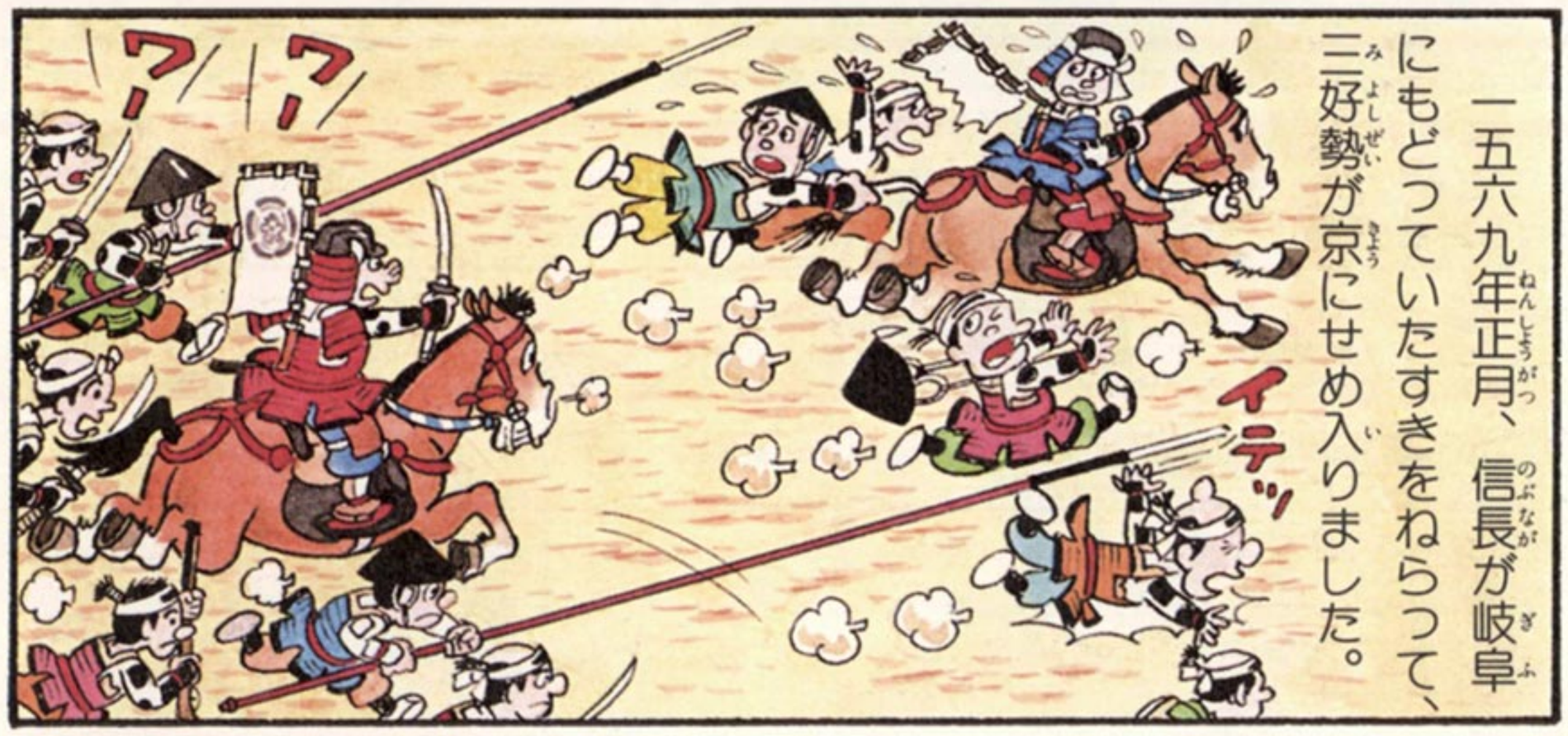


*貫…昔の金銭の単位。

*石山本願寺…大阪府大阪市にあった浄土真宗の寺。

＊阿波…徳島県





ところが、堺の町がたのみにしていた三好衆は、信長の軍に完敗してしまいました。

この年、信長は義昭のために将軍の城（*二条城）をつくりました。この工事には信長がみずから監督にあたり、十数カ国の武士や農民を動員して行われました。

京の町を復興させるのだ！

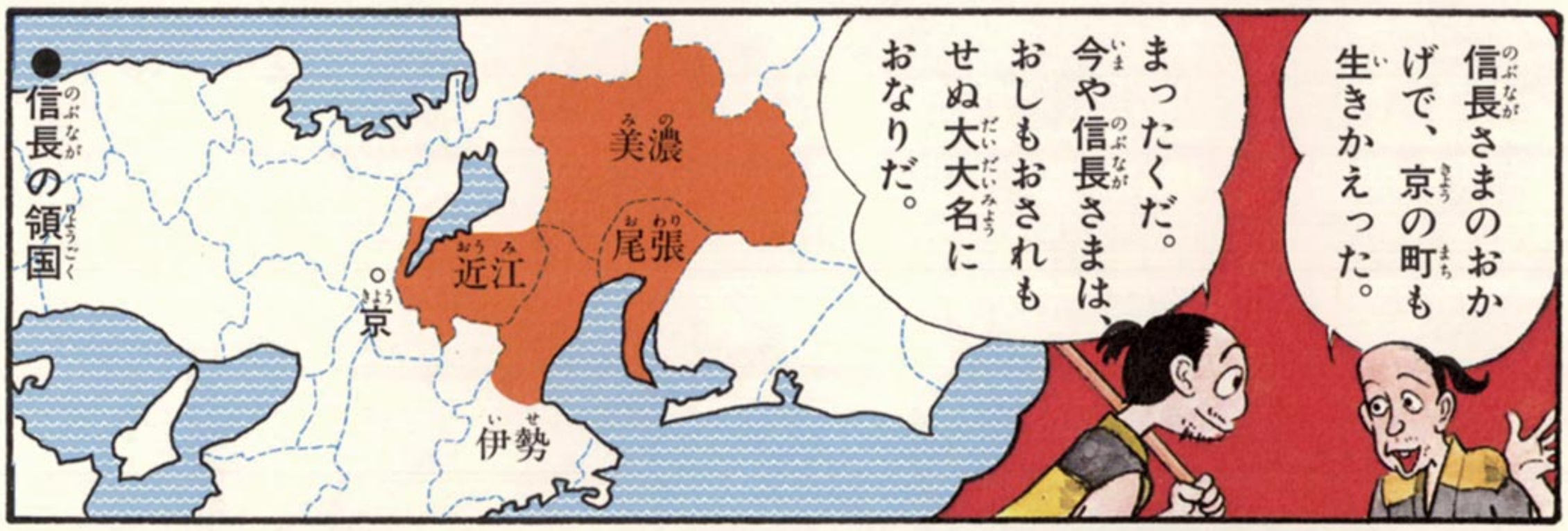
それ！

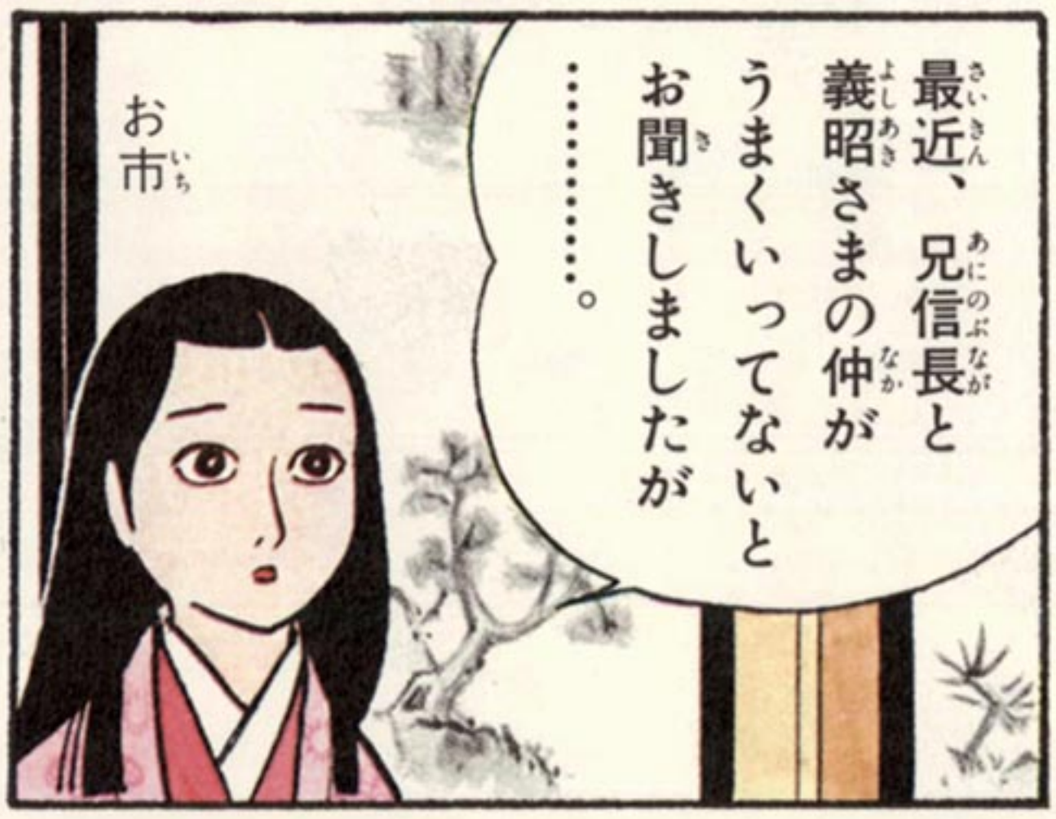
きた！

ヨイショ！コラショ！

フーフー

*二条城…京都府京都市上京区にあった将軍の城。今日の二条城とは場所がことなる。





*小谷城…滋賀県東浅井郡湖北町にあった山城で、浅井氏三代の居城。

*越前…福井県の東半分

では、兄と義景どのの戦いになったら……。
いやいや、心配いらぬ。
もし信長どのが越前をせめるときは、わたしに相談する約束になっておる。
何事だ!?
ドドド
長政！信長が越前に兵をすすめたぞ!!
ガラッ
え、えっ！
浅井久政（長政の父）
長政！信長から朝倉ぜめの相談はあったのか？
い、いいえ……。
信長は信用できぬ男よ。
いつまたわれらをうらぎるかもしれぬ。
このさい、浅井家の立場をはっきりさせねば……。
重臣たちに、相談しよう。
信長どの…。
……。

越前に乱入した信長の陣では――

うわっははは。朝倉の支城、*金ケ崎城も落城した。

もうじき、朝倉もおしまいよ。

*先鋒の徳川家康どのが、快進撃をつづけております。

そろそろ、良い知らせがとどくころです。

うむ…。

おっ、どうやら知らせが来たようです。

たいへんです。浅井長政どのがうらぎりました！

なにっ！

浅井が後ろからせめてきたら、われわれは、ふくろのネズミじゃぞ!!

やむをえん！すぐに退却だっ！

こうして信長軍は、ちりぢりになって越前を脱出し、京へにげ帰りました。

*金ケ崎城…福井県敦賀市の北東にあった山城。

*先鋒…部隊などの先頭に立つ者。

その後軍勢をたてなおした信長は、六月、家康の力をかりて、近江の*姉川付近で浅井・朝倉連合軍をうちやぶりました。

この戦いを「姉川の戦い」といいます。

この年(一五七〇年)、信長は反対勢力と、めまぐるしい戦いをつづけました。

九月、石山本願寺が信長打倒に立ちあがりました。

顕如

信長に反抗しない宗徒は破門じゃ！

ズドド！

「さっ!!

どいつもこいつも、さからいおって！

勢いをもりかえした浅井・朝倉攻撃しました。

*延暦寺も、浅井・朝倉に味方するぞ！

十一月には、*長島の*一向一揆が信長の弟の信興をせめころしてしまいました。

南無阿弥

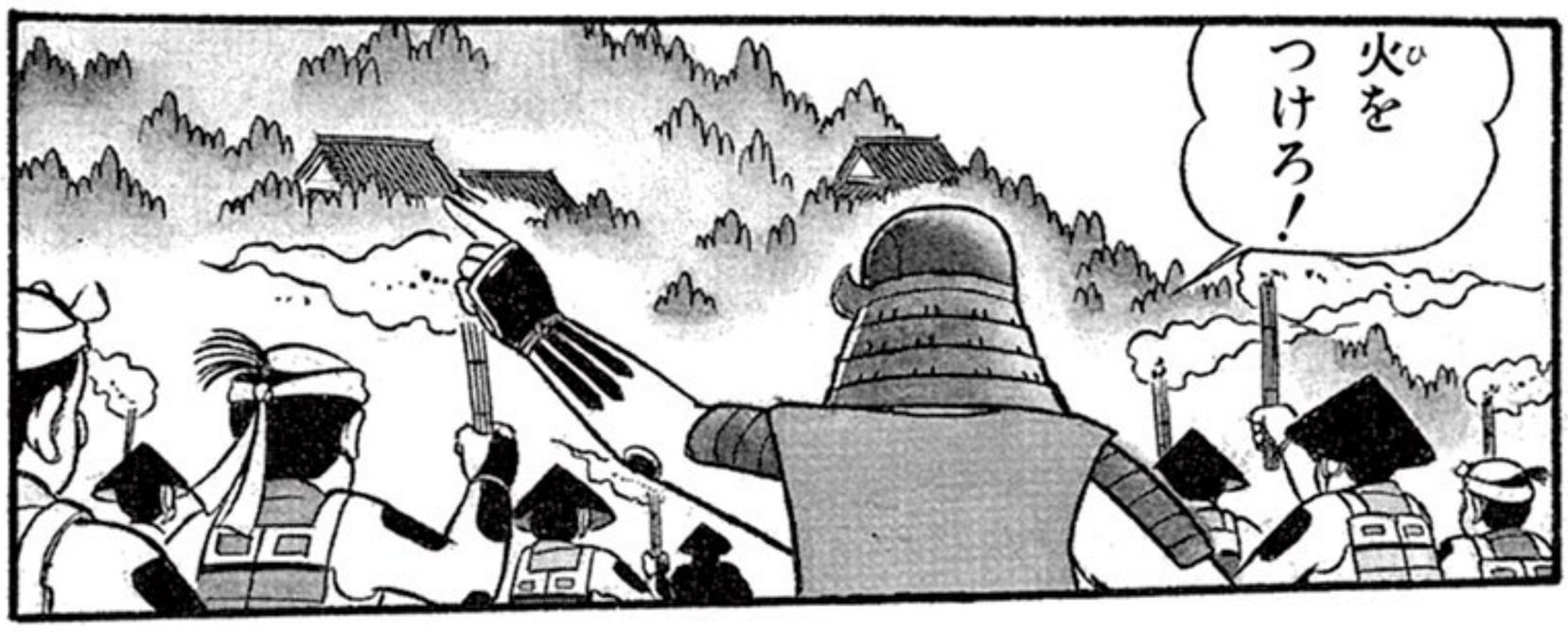
*姉川…滋賀県東浅井郡浅井町をながれる川。

*延暦寺…滋賀県大津市にある天台宗の総本山。

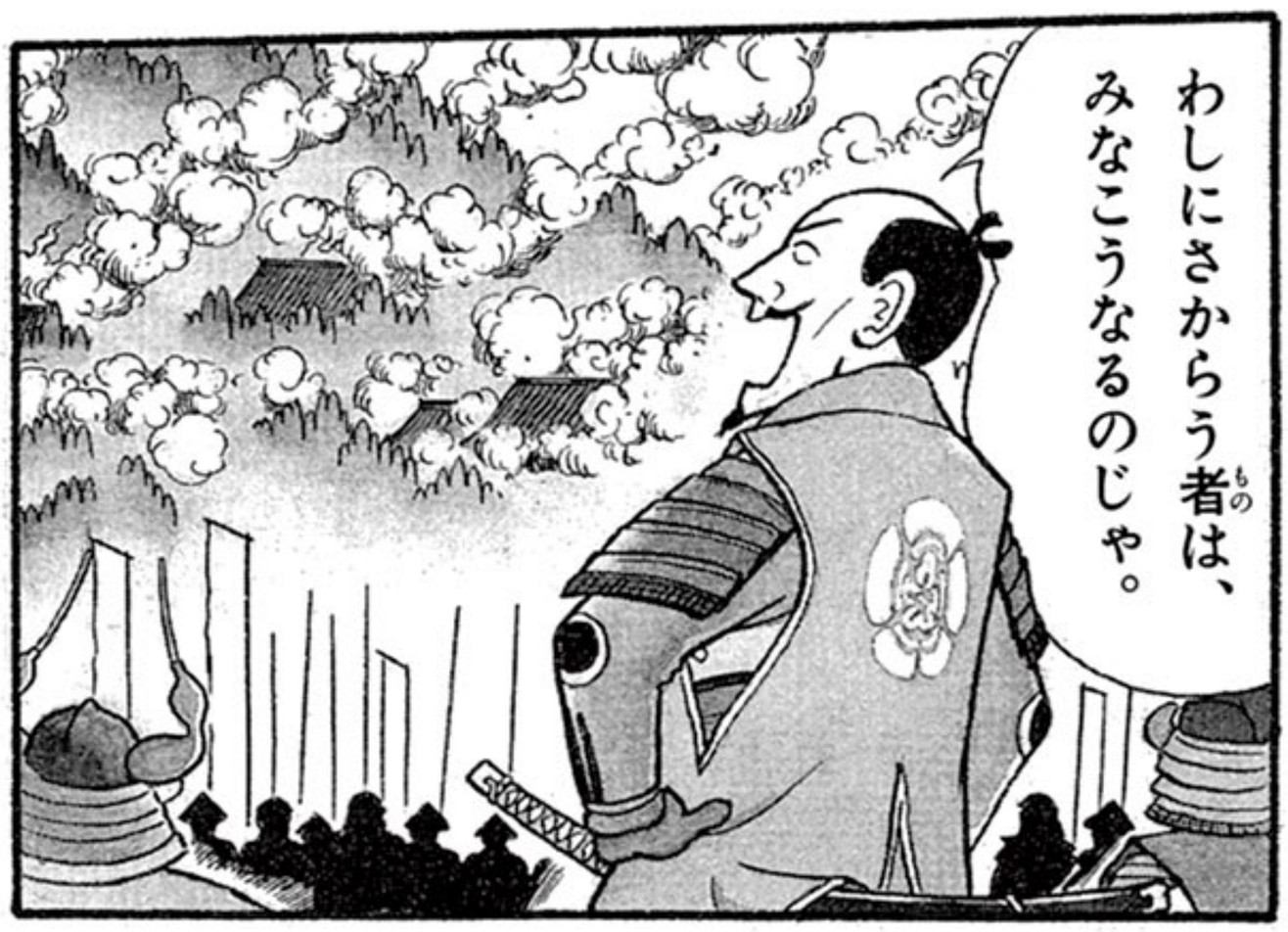
*長島…三重県桑名市長島町。

*一向一揆…一向宗(浄土真宗)の僧や、門徒の農民がおこした一揆。

*僧兵…武器をもってたたかう僧。*比叡山…延暦寺のこと。



九月十二日、比叡山の焼き討ちが行われました。火は三日間にわたってもえつづけ、にげまどう僧や庶民の男女は、すべてころされました。



＊伝教大師…天台宗をひらいた最澄（七六六―八二二年）のこと。第四巻第二章参照。

＊鎮護国家…仏の力で国をまもること。

＊坂本…滋賀県大津市の地名。

そちは＊坂本に城をきずき、この地を支配するのじゃ。

えっ……。

ははっ。ありがたきしあわせ……。

うむ。

な、なんと！

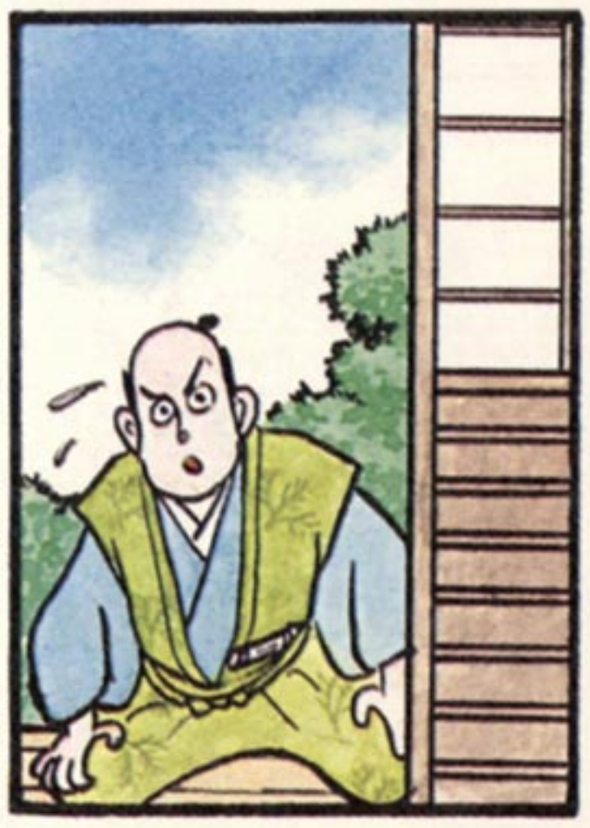
最近の光秀どのの活やくからして、当然かもしれぬなあ。

うらやましいかぎりだ。

ザワザワ

*甲斐…山梨県　*浜松城…静岡県浜松市にあった城。

*甲府…山梨県甲府市。国府の所在地。



*遠江…静岡県の西半分　*籠城…敵にかこまれた城にたてこもること。

一五七二年十月に甲府を出発した武田軍二万七千は、*遠江にせめ入り、つぎつぎと家康の支城をせめおとし、浜松城にせまりました。

勢いにのった武田軍は、翌一五七三年正月、ついに*三河へせめ入りました。

*三方ケ原…静岡県浜松市の北方にある台地。*三河…愛知県の東半分　*尾張…愛知県の西半分　*美濃…岐阜県南部

しかし、家康の支城野田城*を包囲していた武田軍は、一か月ほどすると、甲府へ引きあげていきました。武田信玄が陣中でたおれたためといわれています。

甲府に帰るとちゅうの四月十二日、信玄は五十三歳でなくなりました。

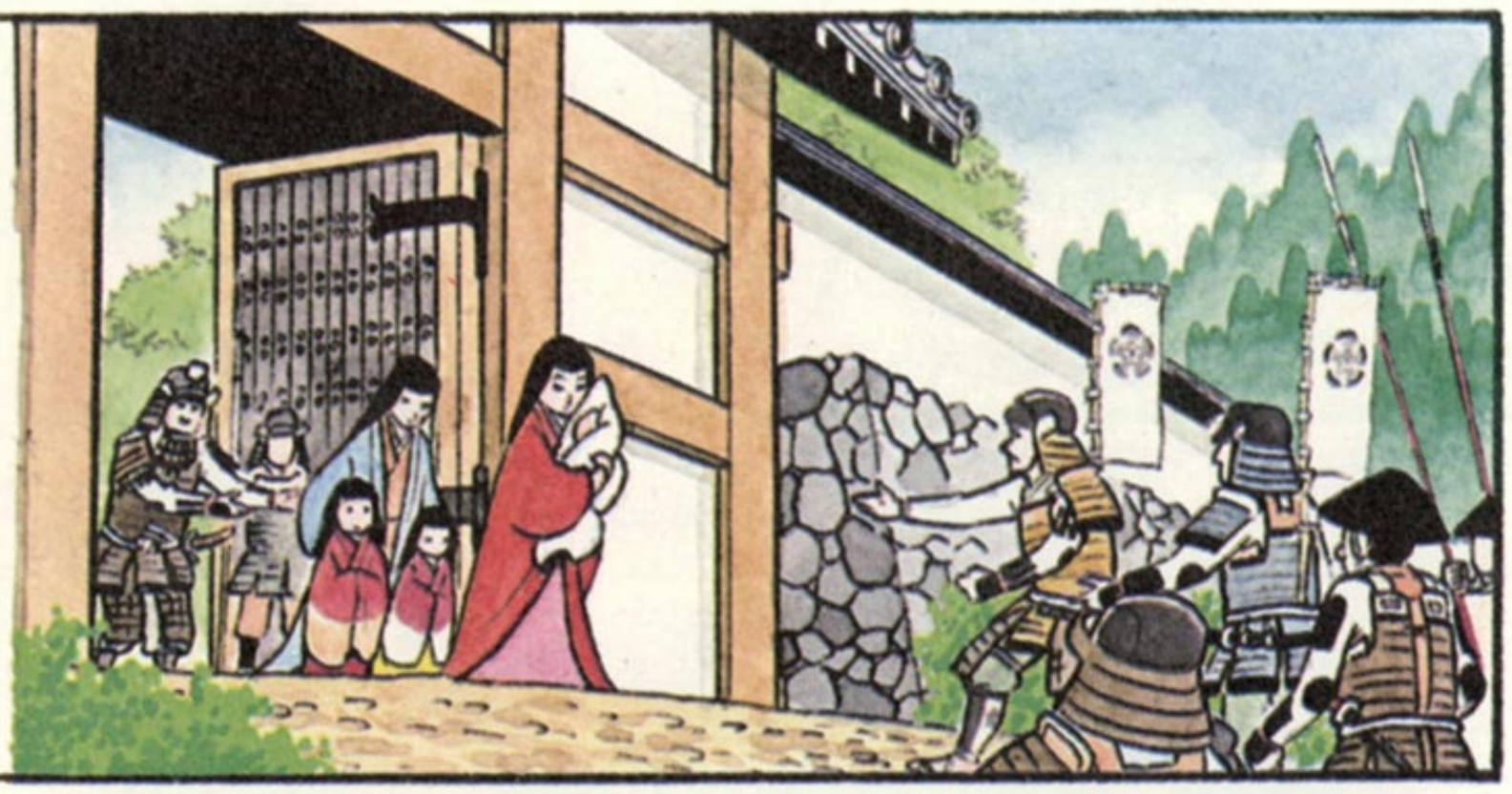
*野田城…愛知県新城市にあった城。

将軍義昭が追放されたため、二百三十年以上つづいた室町幕府もついにほろびました。義昭は河内へのがれたあと、各地を転てんとしますが、力をもりかえせないまま、一五九七年になくなりました。

この年の八月、信長は越前の*一乗谷城を攻撃し、朝倉義景をせめほろぼしました。

ついに朝倉をほろぼしたぞ！

*一乗谷城…福井県福井市にあった山城。



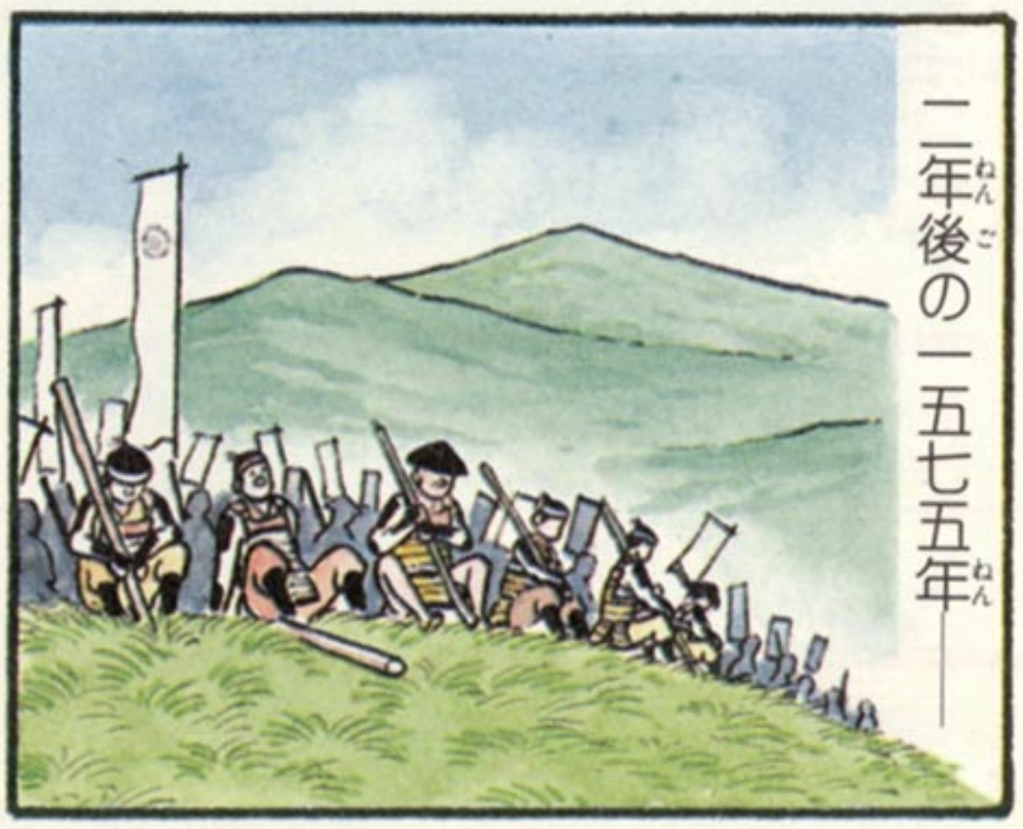
城をおちのびたお市と三人のむすめは、信長のもとへおくりとどけられました。

後年、茶々は豊臣秀吉の*側室の淀殿に、初は京極高次夫人に、小督は家康の子秀忠の夫人になります。

八月末、小谷城を本城とした浅井久政、長政親子は、信長にほろぼされました。

この戦いで活やくした羽柴秀吉は、信長から浅井の旧領をあたえられました。

秀吉は、近江*長浜に城をきずき、ついに大名となりました。



一二年後の一五七五年――

*側室…身分の高い人の正室（第一夫人）以外の妻。当時、身分の高い人は、何人もの妻をもった。

*長浜…滋賀県長浜市

信玄は死んだが、あとをついだ子の勝頼も勇将だと聞く。

武田勝頼

おい、武田の騎馬隊はすごいって話だが…。

うん、荒武者ぞろいよ。

やつらの突進ときたら…。

ドドドドドド

なあに、だいじょうぶ。信長さまはそのための作戦を考えておられる。

何です、その作戦とは？

それはな…。鉄砲というものは火薬を入れたり弾をこめたりで、最低三十秒はかかる。

ズドーン

だから、一発うってうまく相手をたおせればよいが、うちそんじたら次の弾をこめている間にやられてしまう。

五月二十一日早朝、三河の*長篠近くの設楽原で、武田の騎馬隊は、信長・家康の連合軍めがけて、突撃を開始しました。「長篠の戦い」のはじまりです。

*長篠…愛知県新城市長篠

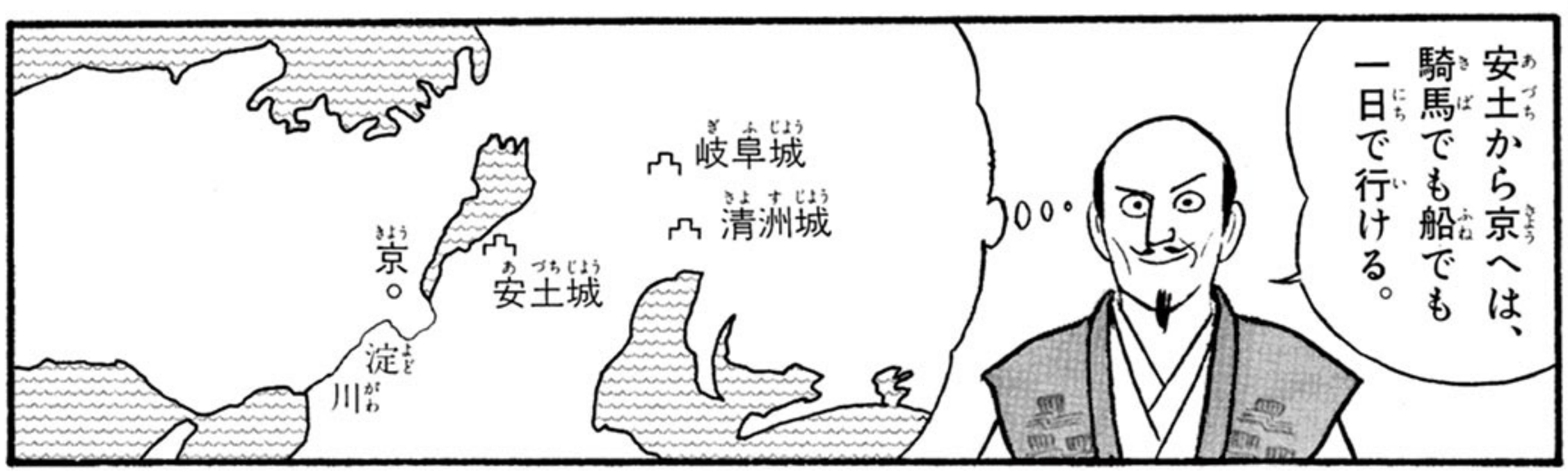
ドドド

ひるむなっ!!

無敵といわれた武田の騎馬隊も、鉄砲をつかった信長の戦術によって、みごとにうちくだかれてしまいました。

この長篠の戦いから七年後の一五八二年、信長は家康らと手を組んで、ふたたび武田軍と対決しました。戦いは信長側の大勝利におわり、甲斐に追いつめられた武田勝頼は、ついに自殺してしまいました。

一五七六年、信長は琵琶湖*に
のぞむ近江の安土山*に大規模な
城をきずき、ここを政治の中心
とすることにしました。



＊琵琶湖…滋賀県中央部にあるわが国最大の湖。

＊安土山…滋賀県近江八幡市安土町、琵琶湖の東岸にある山。

京までの交通路も道幅を広くし、平たんでまっすぐな道路をつくっています。

道路の両側には木をうえるのだ。夏には旅人が木かげで休めるようにな…。

翌年六月、安土の町では――

クイクイ

ガヤガヤ

何だ、何だ!?

城下の市は楽市・楽座にするという、信長さまのご命令よ。

何だ、その楽市・楽座とは？

うむ。安土の城下では、だれでもが自由に商売ができ、税をとられないということらしい。

えっ！他国者のわしでも、商売ができるのか？

そういうこと。

わしの国では、*座に入らないと商売ができない。

いっそのこと、引っこしてきたらいかがかな？

ハハハ

さっそく!!

*座…平安時代末期から室町時代にかけて、公家や社寺の保護をうけ、同じ職業の者が結成した組合。

＊狩野永徳…安土桃山時代の代表的画家（1543～90）。

一五七九年五月、安土城は完成しました。

城の中心には、高さ約三十メートル（石垣上の高さ）の天主（天守）がきずかれて、その内部には、*狩野永徳らによってえがかれた*障屏画や、数かずの宝物や名器があつめられ、かざられていました。

また、信長は、城の中腹からふもとにかけて、家臣たちの屋敷をつくり、ここにすまわせました。

あれが天主だよ。信長さまのおられる所さ。

りっぱなものだニャン。

ガヤガヤ

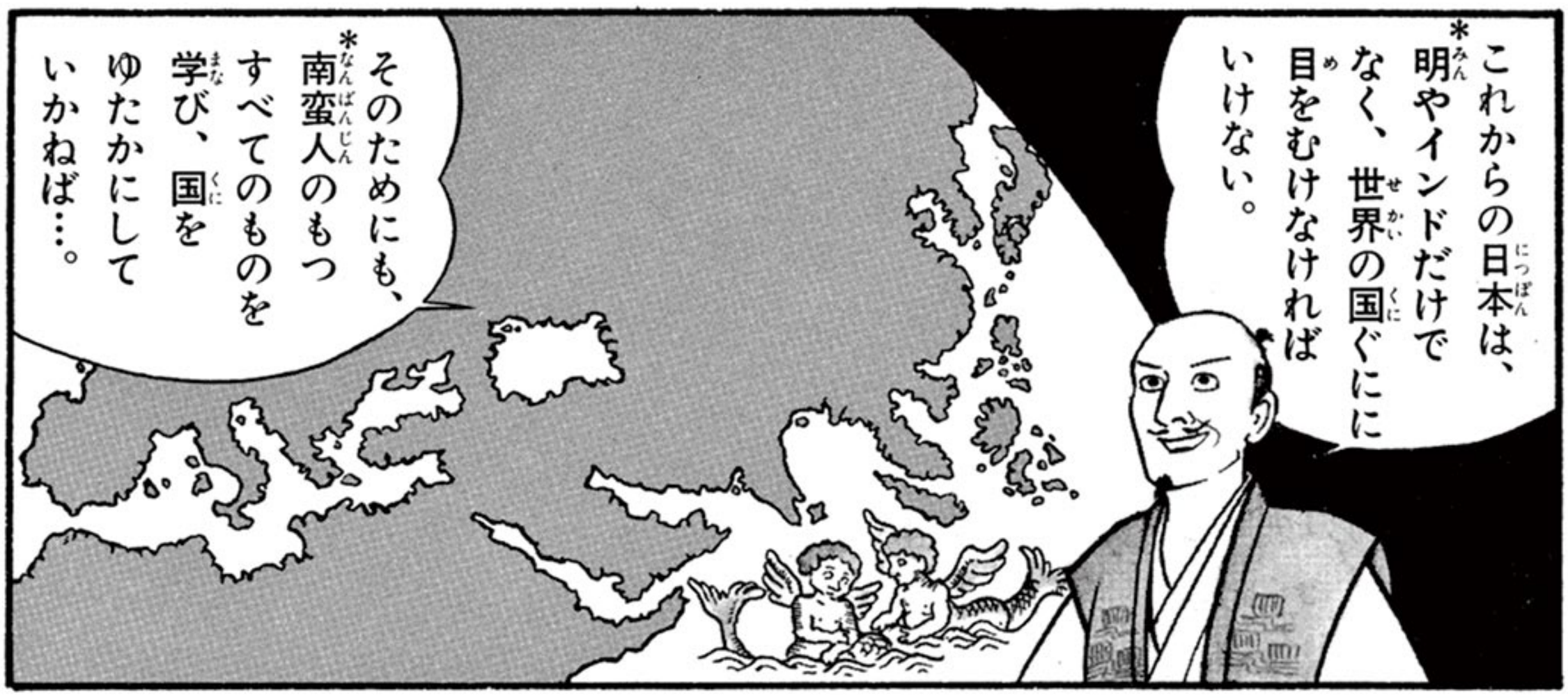
ワイワイ

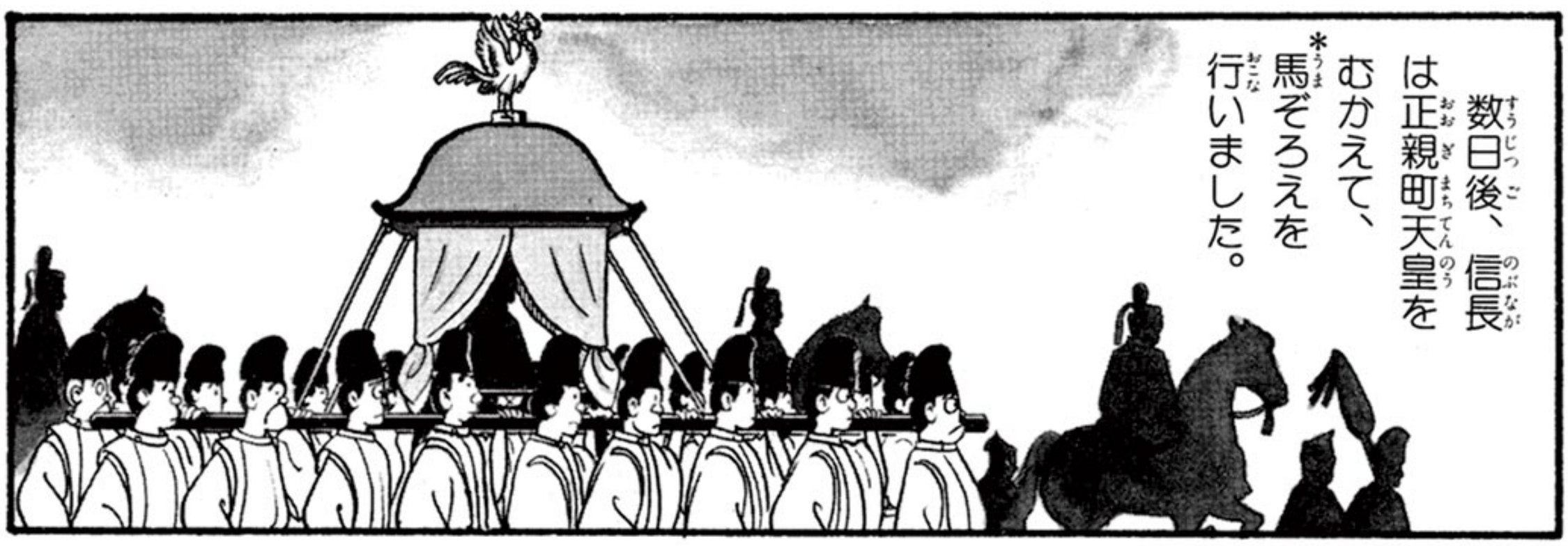
*障屏画…ふすま・屏風・障子などにえがかれた絵画。

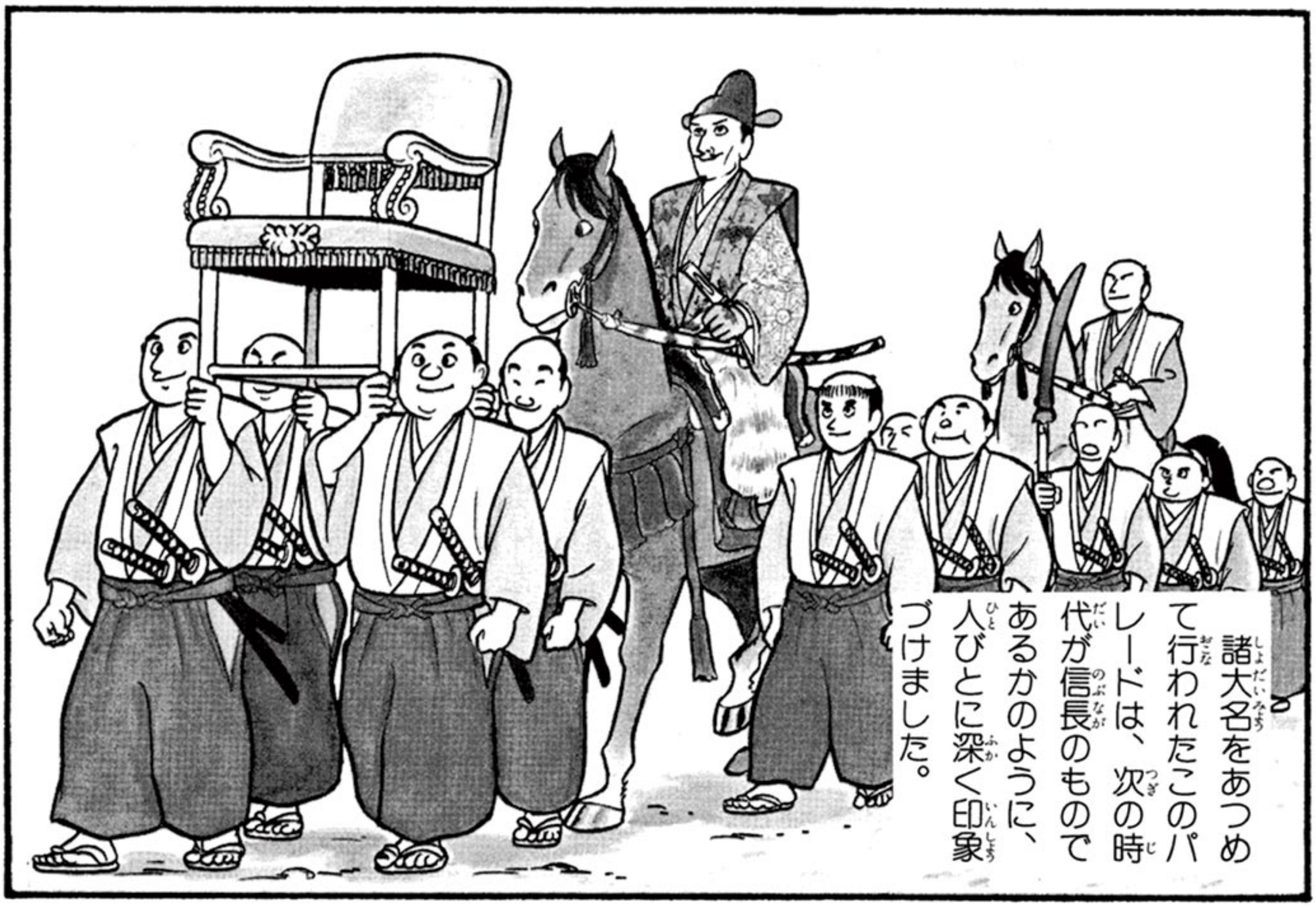
*本能寺…京都府京都市中京区にあった法華宗の寺。信長の京での宿所となっていた。

*イエズス会…スペイン人のイグナチウス=デ=ロヨラによって創立されたカトリックの修道会。耶蘇会ともいう。

*巡察師…イエズス会総長の代理としてつかわされた司祭(神父)のこと。

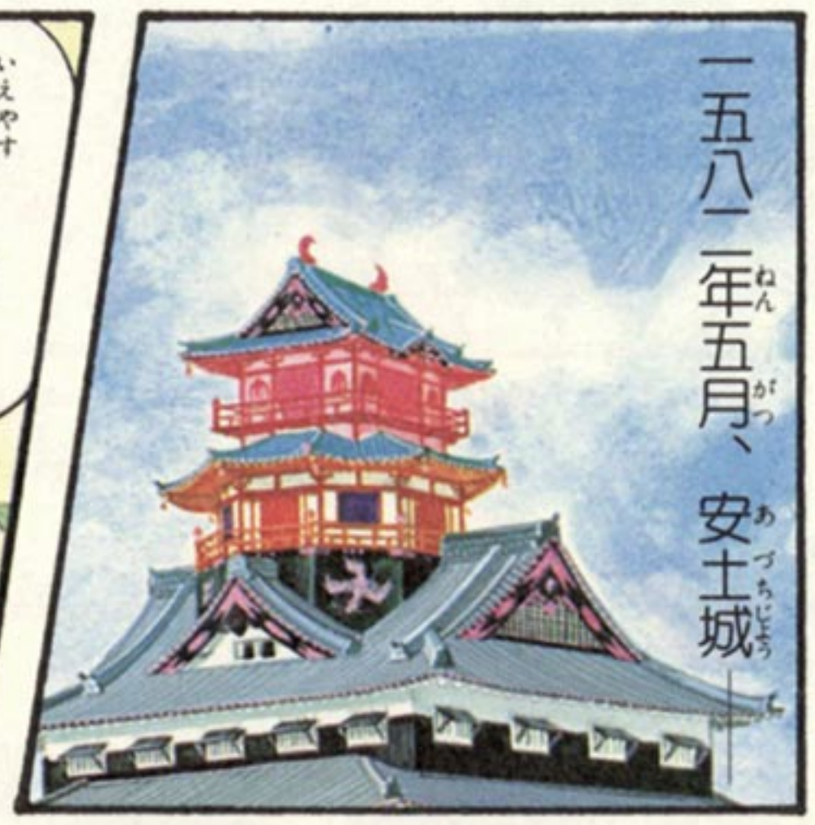


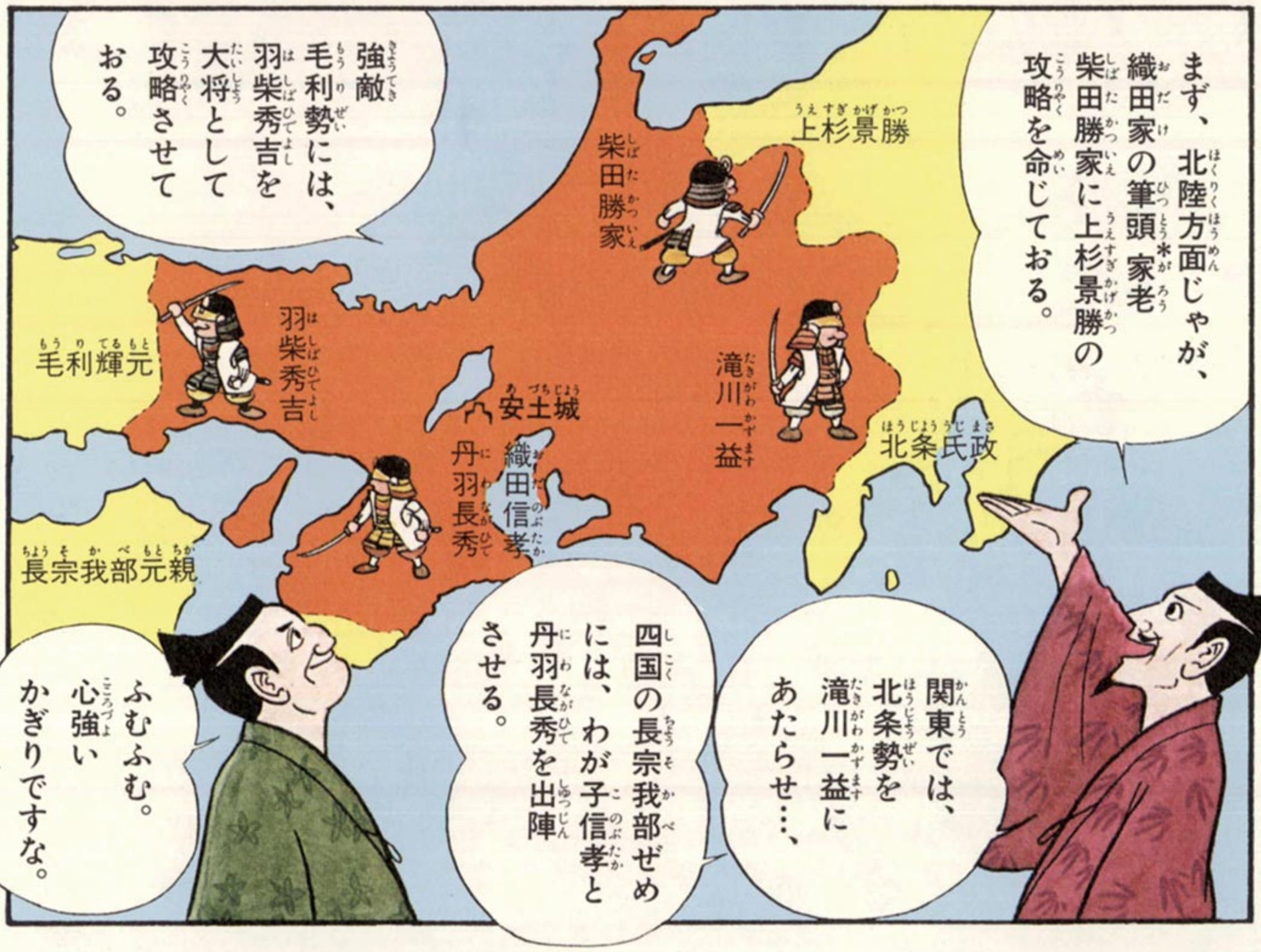




＊明…一三六八年から一六四四年までつづいた中国の統一国家。＊馬ぞろえ…各地のすぐれた軍馬をあつめ、出陣のときのようにパレードすること。

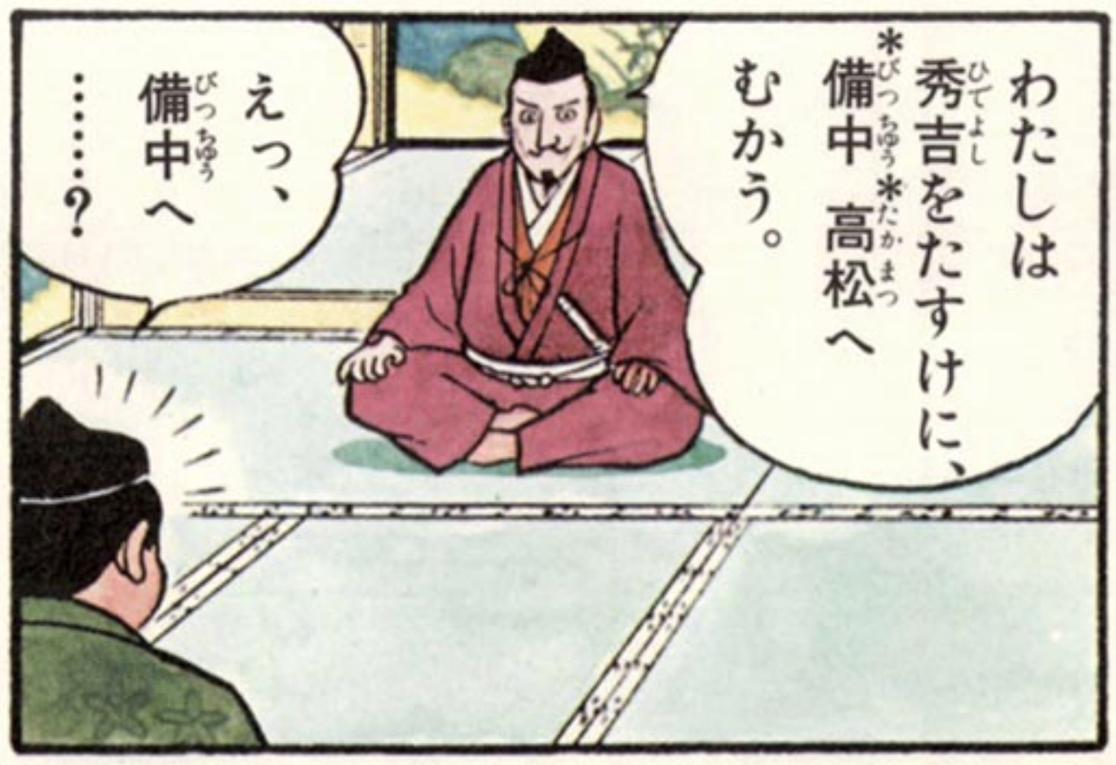
＊南蛮人…はじめは東南アジアの人をさしていたが、後には南方を経由して来航した西洋人（ポルトガル人・スペイン人など）をさす。



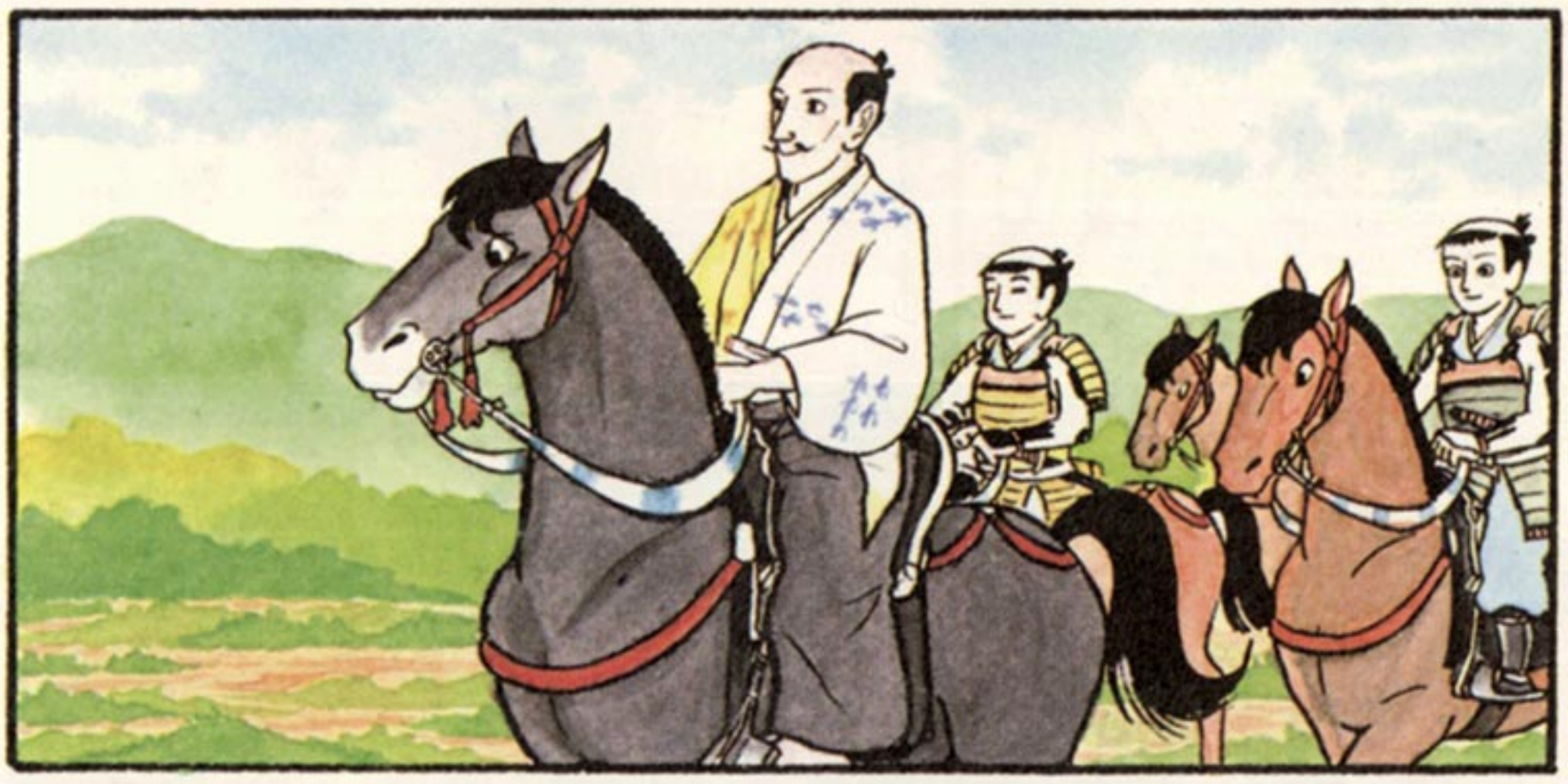


*駿河…静岡県中央部

*家老…大名の重臣で、政務をまとめた者。筆頭家老はその長。

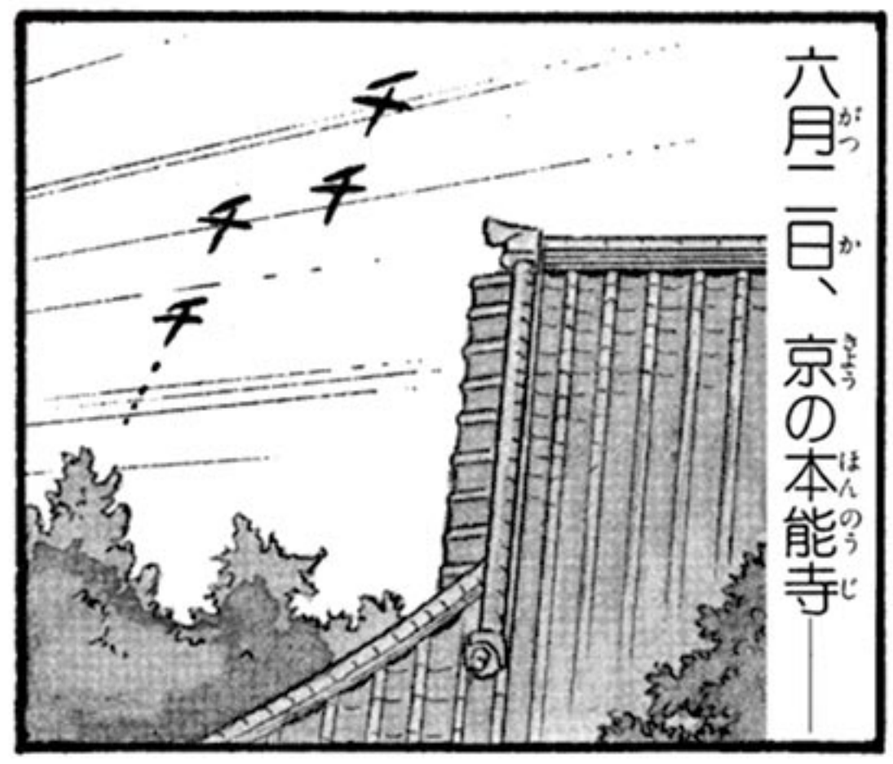


*備中…岡山県西部　*高松…岡山県岡山市高松



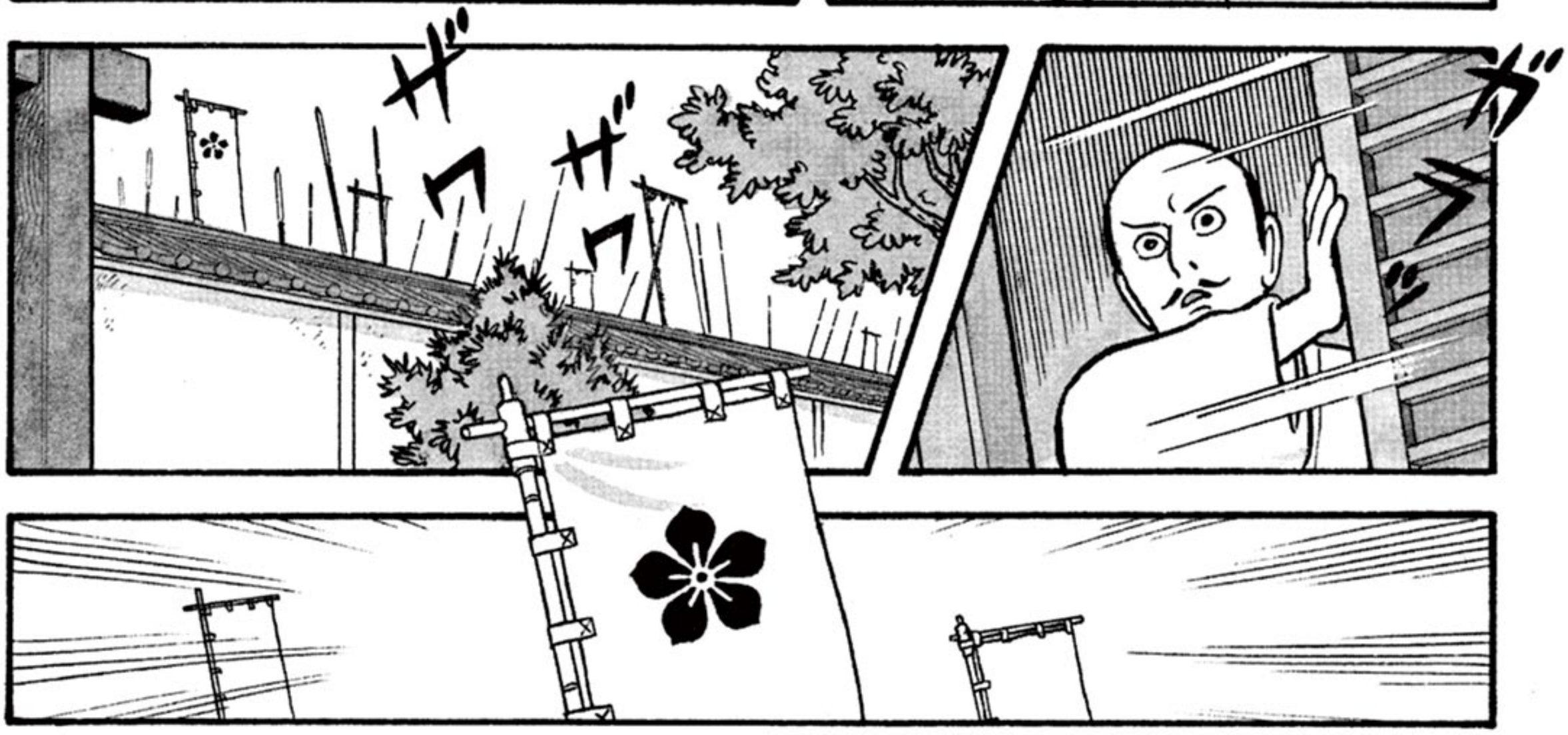
家康は、安土で信長の手あついもてなしをうけたあと、京、堺へむかいました。

数日後、信長は明智光秀らに備中高松出陣を命じ、自分も京へ出発しました。

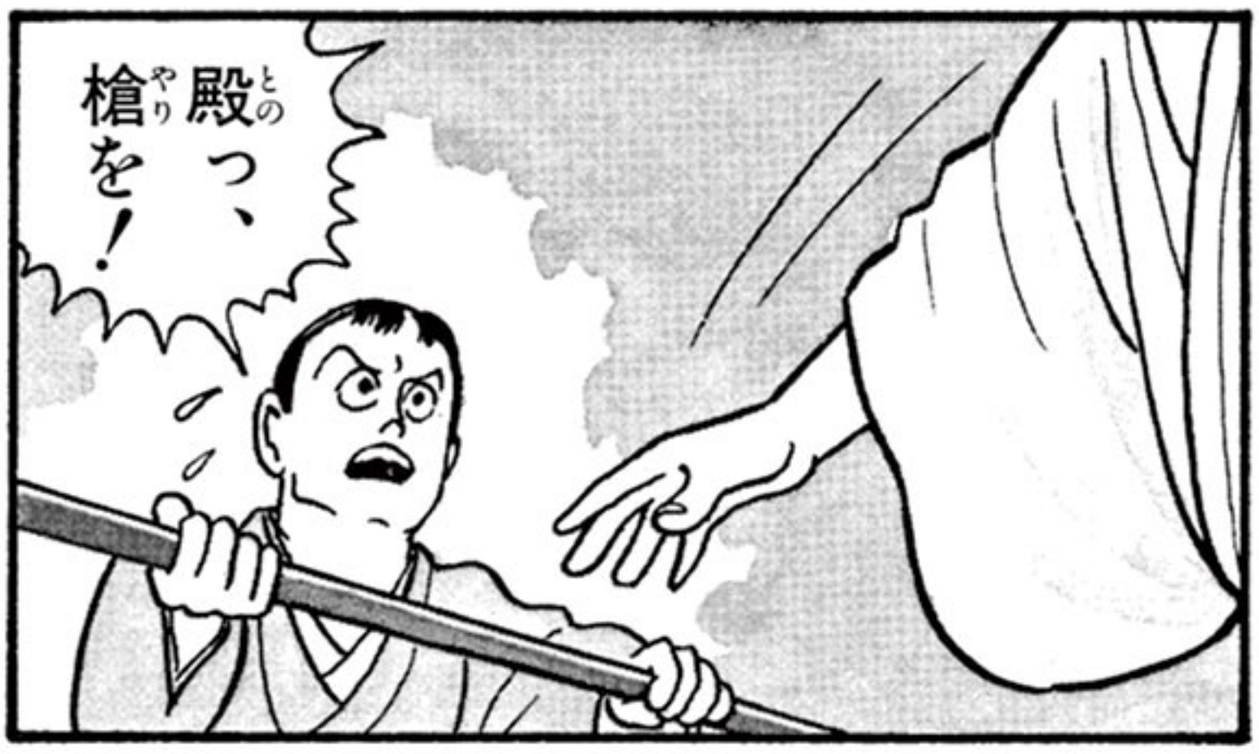

六月二日、京の本能寺――

ザワザワ
んっ？

殿っ、むほんです！
むほん!?


ザワ
ザワ
ザッ

明智光秀……。
なぜ……。


殿っ、槍を！

戦国争乱の世に天下統一をめざした織田信長は、こうしてあえない最期をとげました。これを「本能寺の変」とよんでいます。

信長は鉄砲という新しい武器をとり入れ、大胆な戦術をつかって、統一への道を切りひらいていきました。その間、安土城築城や楽市・楽座の制定、関所の廃止などの政治を行い、新しい世の中を実現しようとしました。

天下統一の夢なかばで、信長はたおれてしまいましたが、かれの夢は、家臣の秀吉によって引きつがれていきます。

小学館 eBooks

第二章

天下統一をめざす

——安土桃山時代——

本能寺の変の翌日、一五八二年六月三日の夕方、ここは備中高松城を包囲する秀吉の陣――

昨日、本能寺で信長さまが、光秀によってあえない最期を……。
えっ！
なんと！

このことが毛利方に知れたら、たいへんなことになる。

さっそく、毛利の使者をおよびなされ。
和議をむすぶのです。

一日も早く京へもどり、光秀をうつのです。
うむ。

よしっ、すぐに使者をよべ!!

その夜、同じ陣中で――
高松城も、あと二、三日で落城ということになろうのう。
もし、城主が切腹して城をあけわたせば、兵の命はおたすけしよう。
……。説得してみましょう。
安国寺恵瓊
信長さまのかたきは、この手でうつのだ!!
翌六月四日、城主の清水宗治が切腹し、和議が成立しました。
そのあと秀吉は、軍をひきいて一路、京をめざしました。
安土
京
姫路城
兵庫
岡山
高松城
秀吉の軍は、風雨をついて、昼夜休みなしに走りつづけました。これが有名な「中国大返し」です。

*尾張中村…愛知県名古屋市の地名。

*小者…武家の雑役につかわれる者。小人ともいい、中間より下位。

*清洲城……愛知県清須市にあった城。

*お禰…小説などで「ねね」とされているが、本人の署名では「禰」一字である。親しみをこめて、お禰とよばれていたらしい。

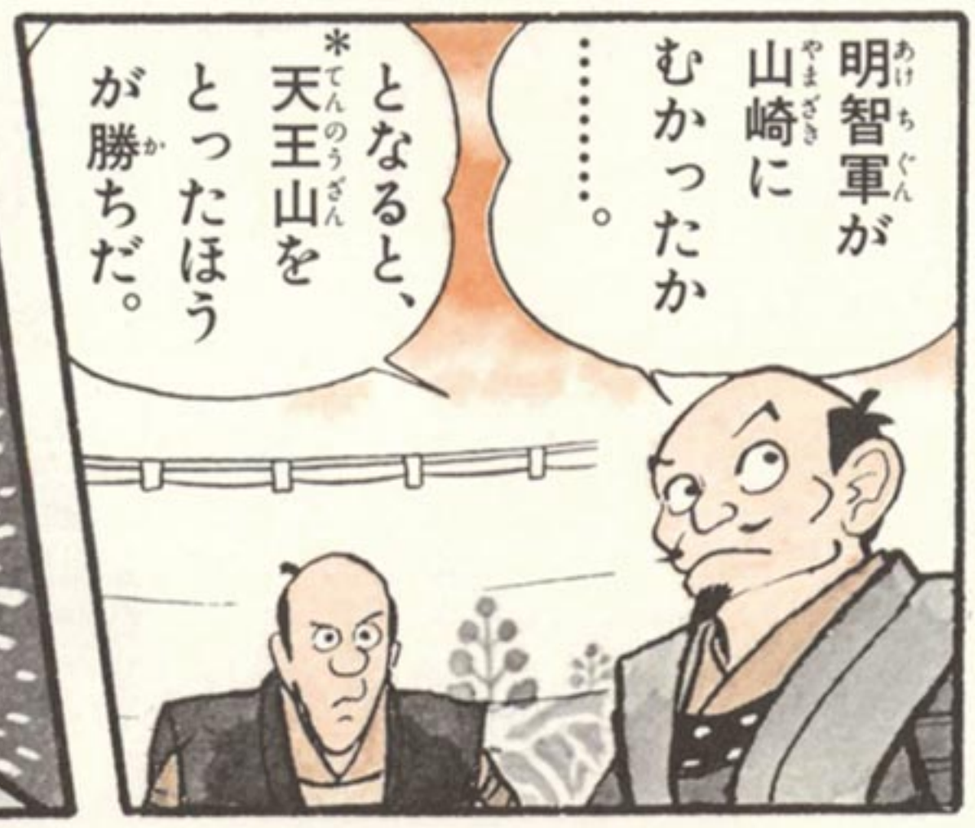
*足軽…ふだんは雑役につとめ、いくさのときは歩兵となった最下層の武士。

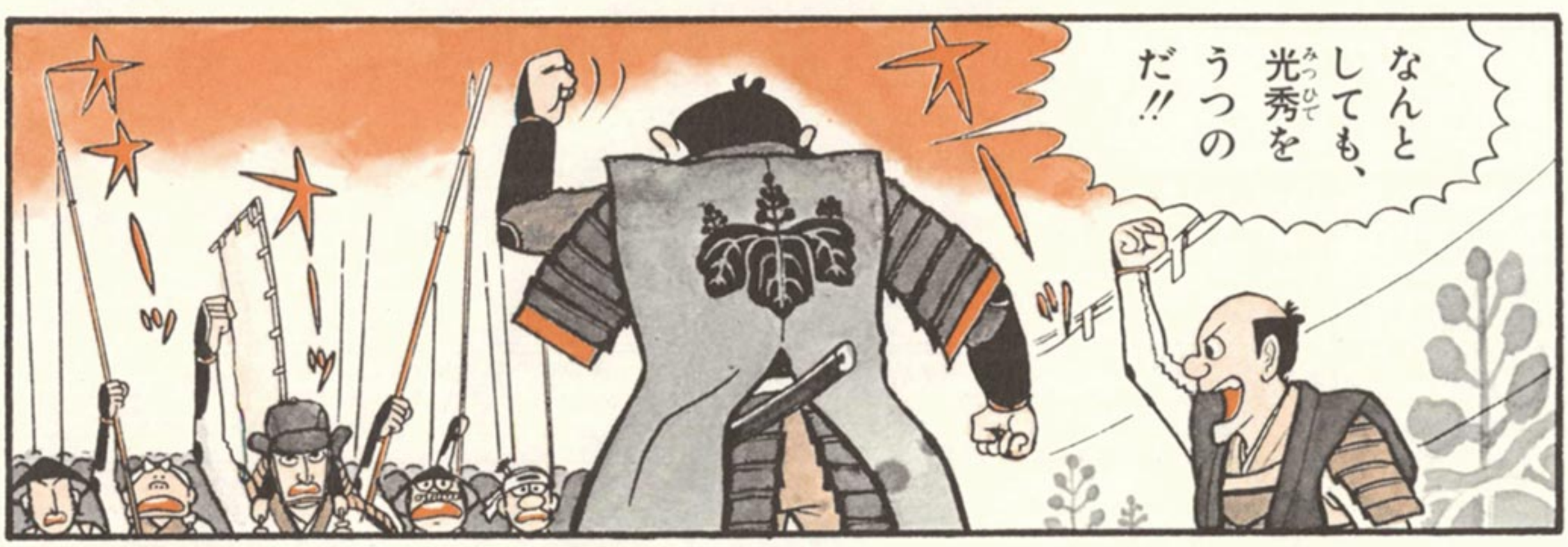
*墨俣…岐阜県大垣市墨俣町

*長浜城…滋賀県長浜市にあった城。はじめは今浜城とよばれた。

*姫路…兵庫県姫路市　*兵庫…兵庫県神戸市　*富田…大阪府高槻市富田町

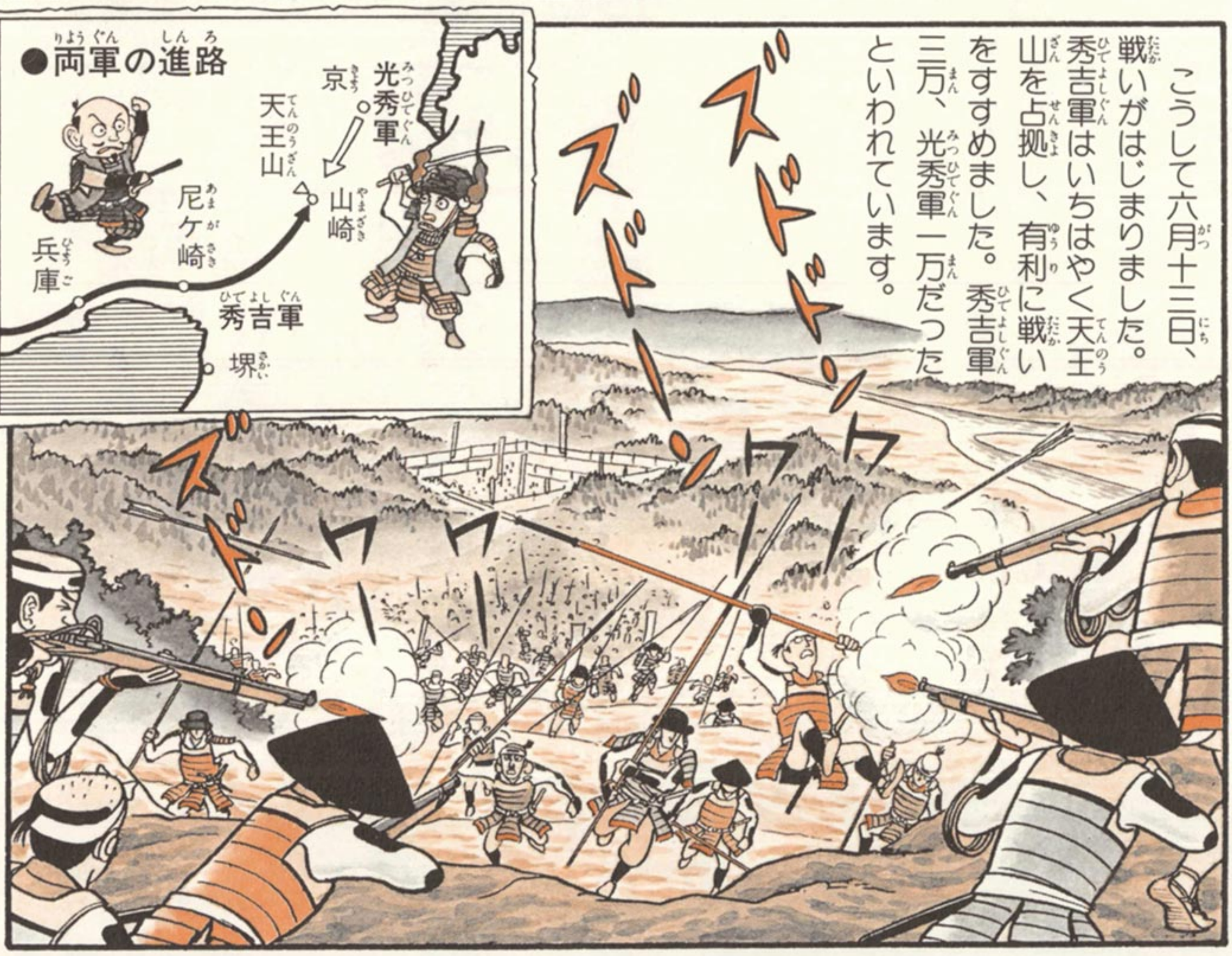
*山崎…京都府乙訓郡大山崎町。大阪府との境の地。





*天王山…京都府乙訓郡大山崎町にある山。

こうして六月十三日、戦いがはじまりました。秀吉軍はいちはやく天王山を占拠し、有利に戦いをすすめました。秀吉軍三万、光秀軍一万だったといわれています。


●両軍の進路
光秀軍
京
天王山
山崎
尼ケ崎
兵庫
秀吉軍
堺
ズドドド

ドドドドドド
ドドドドドド
ドドドドドド

一方、
越中にいた*柴田勝家は、
本能寺の変の知らせをうけて、京をめざしていましたが……。

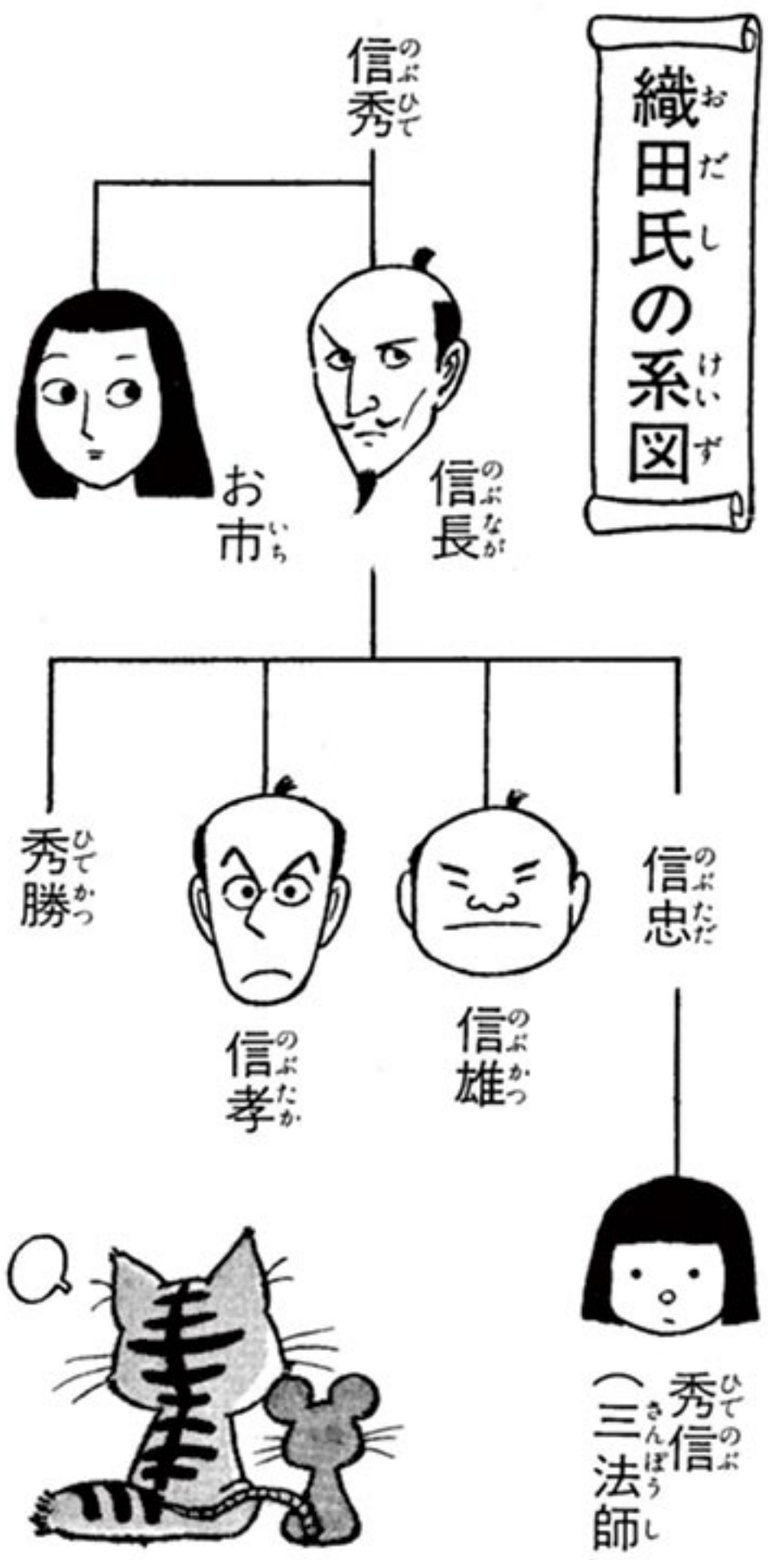
*越中……富山県

秀吉が光秀をうちとったと!?

ううむ。秀吉に出しぬかれた。
筆頭家老の殿をさしおいて、出すぎたことを!
柴田勝家

よし。ともかくおもだった者へ、清洲城にあつまるように命じよ。
信長さまなきあとのことを、相談するのじゃ。

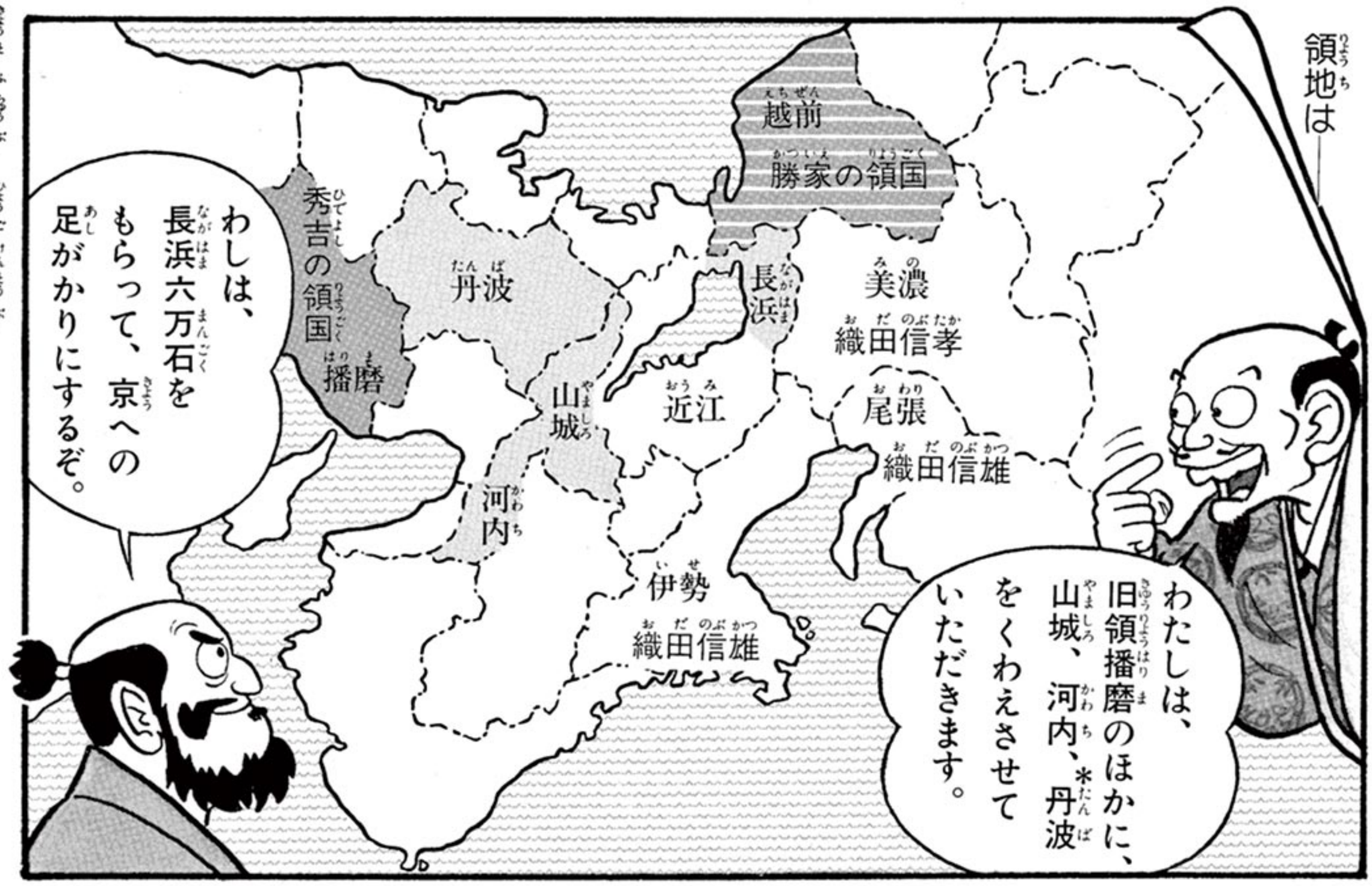
そして六月二十七日、なき信長の重臣たちが尾張清洲城にあつまりました。
この話し合いは、清洲会議の名でよばれています。
今日相談することは、信長さまの領土の分配と…、
あとつぎを、だれにするかということじゃ。
池田恒興
丹羽長秀


織田氏の系図
信秀
お市
信長
秀勝
信孝
信雄
信忠
秀信（三法師）

その結果――

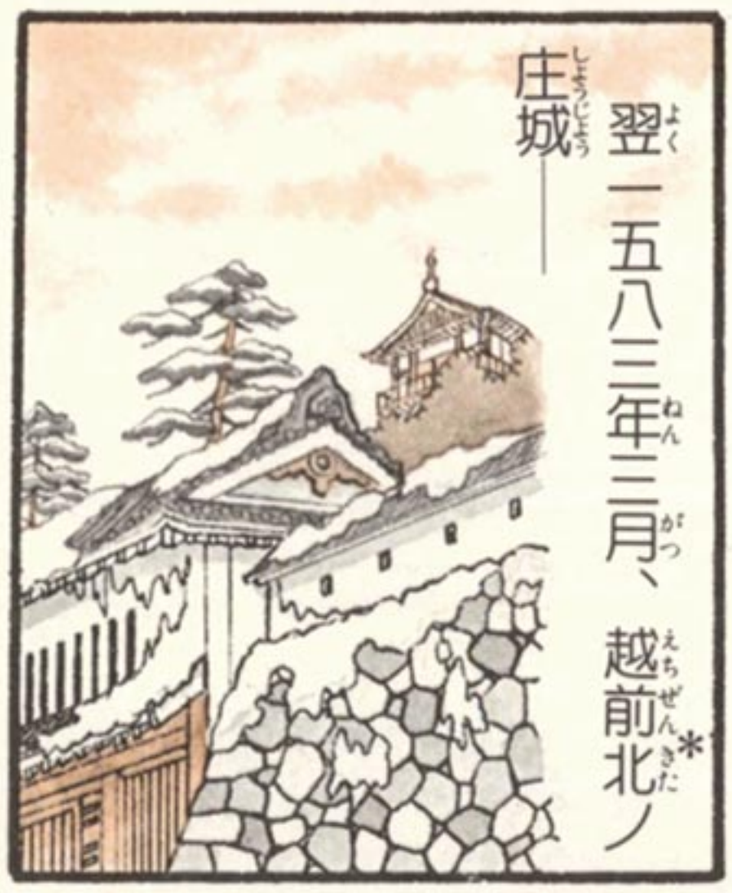
＊嫡孫…一家のあとつぎに生まれた子。＊丹波…京都府中部と兵庫県東部。

領地は――



また、この会議のあと、織田信孝のはたらきかけで、信長の妹お市（浅井長政未亡人）と柴田勝家との再婚がとりきめられています。

こうして、信長なきあとの天下をめぐって、勝家と秀吉との対立は、しだいに高まっていきました。



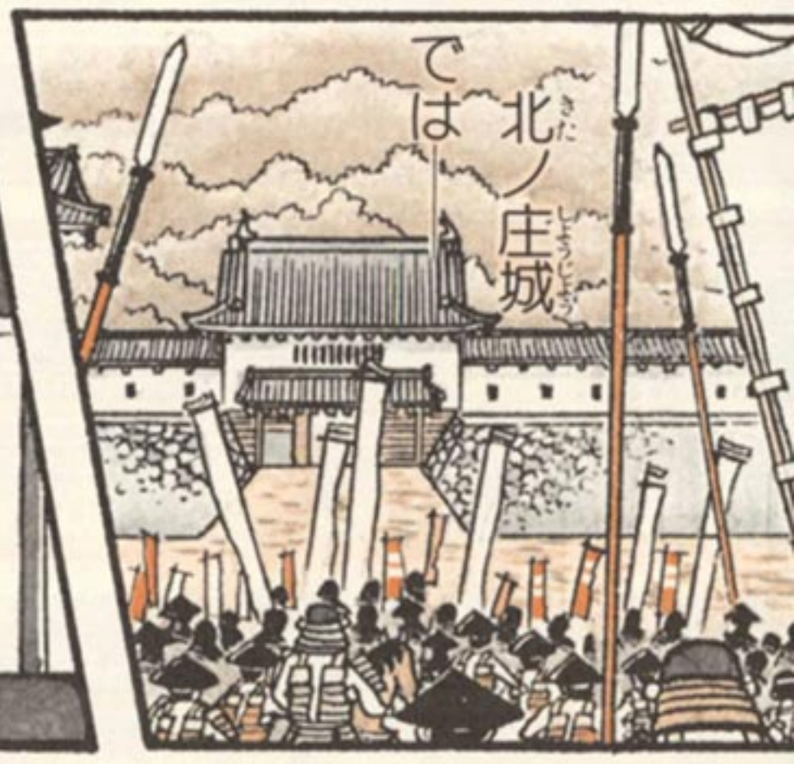
勝家挙兵の知らせをうけた秀吉は、さっそく近江に兵をすすめ、四月二十一日、勝家軍と琵琶湖北岸の*賤ケ岳で対決しました。

*北ノ庄城…福井県福井市にあった城。

*賤ケ岳…滋賀県伊香郡木之本町と余呉町との境、琵琶湖の北岸にある山。

この賤ケ岳の戦いで、とくに活やくのめざましかった加藤清正、福島正則ら七人の武将を、「賤ケ岳の七本槍」とよびます。

秀吉は、北へのがれる勝家軍を追って越前に入り、敵の前田利家を味方にし、北ノ庄城に勝家を追いつめました。



四月二十四日、北ノ庄城は落城し、お市は勝家とともに自害しました。

お市の三人のむすめは、勝家のはからいで秀吉のもとへおくられ、たすけられました。

その年の九月、*大坂城本丸の石垣の*普請が開始されました。

ヨイショ！
ガラガラ
ドド
エイホ

柴田勝家をほろぼし、勝家に味方した織田信孝を切腹させた。

信長さまの後継者は、秀吉さまときまったな。

いよいよ、天下をとるおつもりらしい。

そのための本拠地がこの大坂よ。

どっこいしょ！

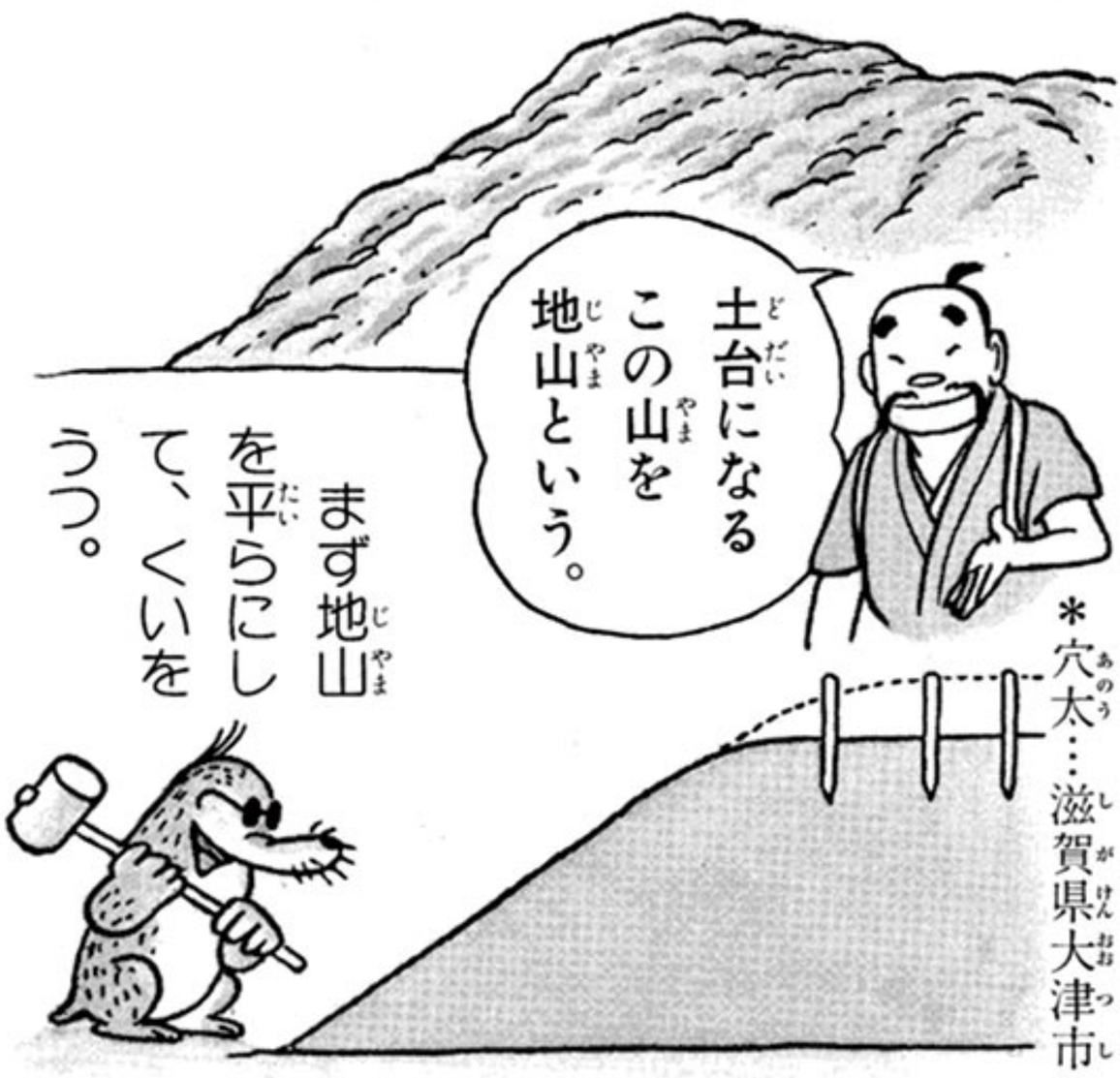
それにしても、たくさんの石だなあ！

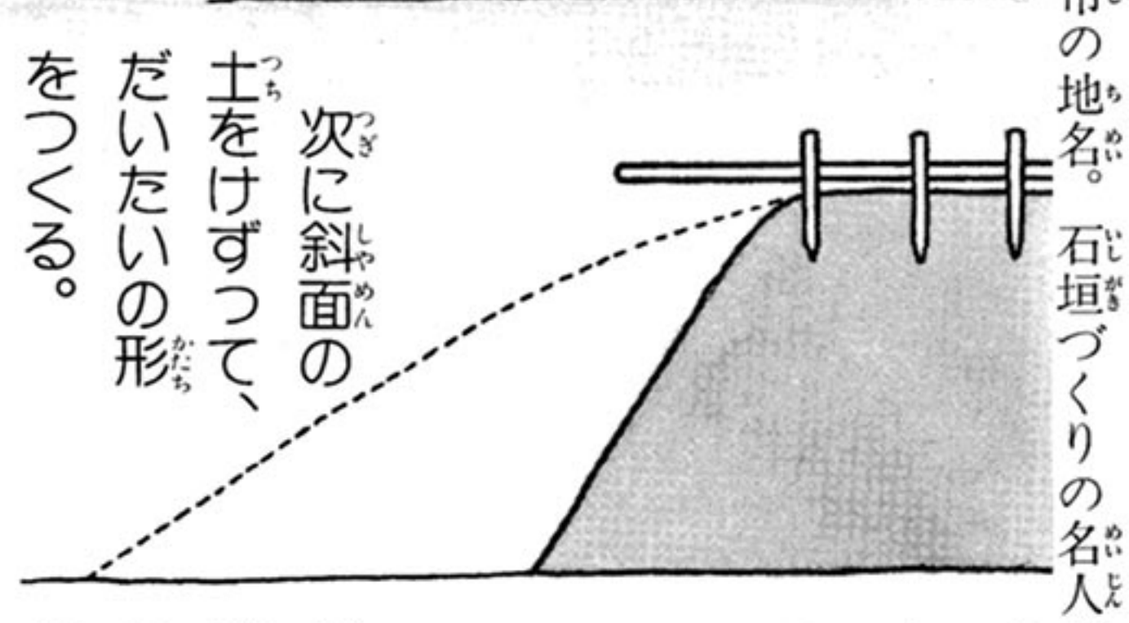
ずるずる

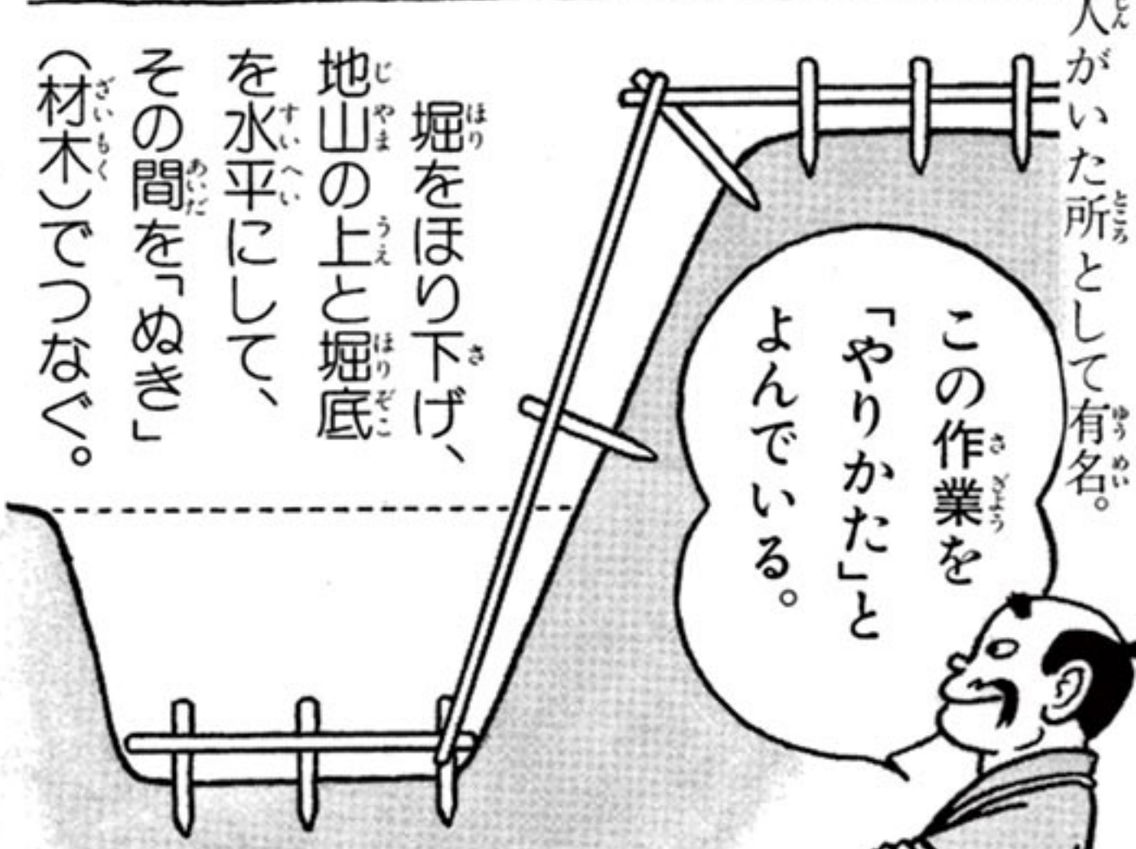
*大坂城…大阪府大阪市東区にあった広大な城。大坂夏の陣で炎上。「大阪」の地名は、江戸時代まで「大坂」と書いた。

*本丸…城のもっとも重要な所で、城主がすみ、政治を行う役所があった。

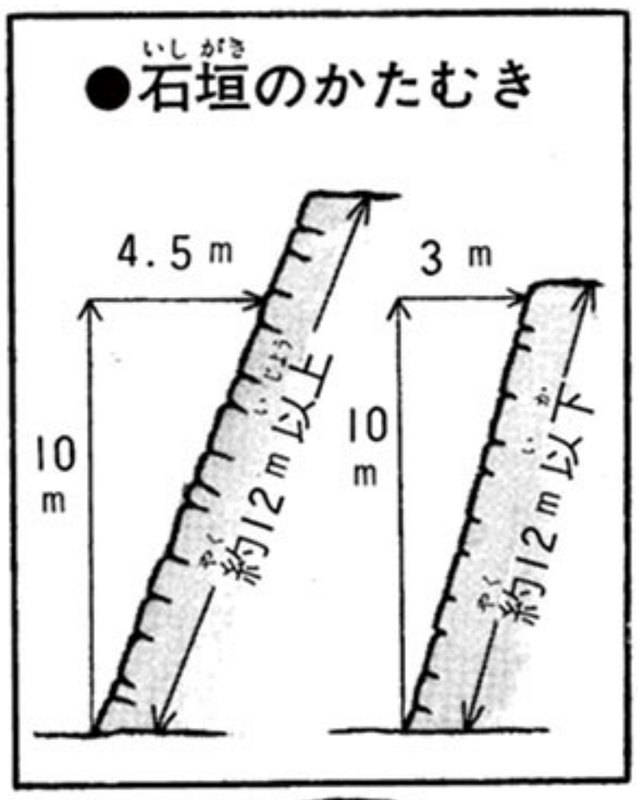
*普請…土木工事のこと。

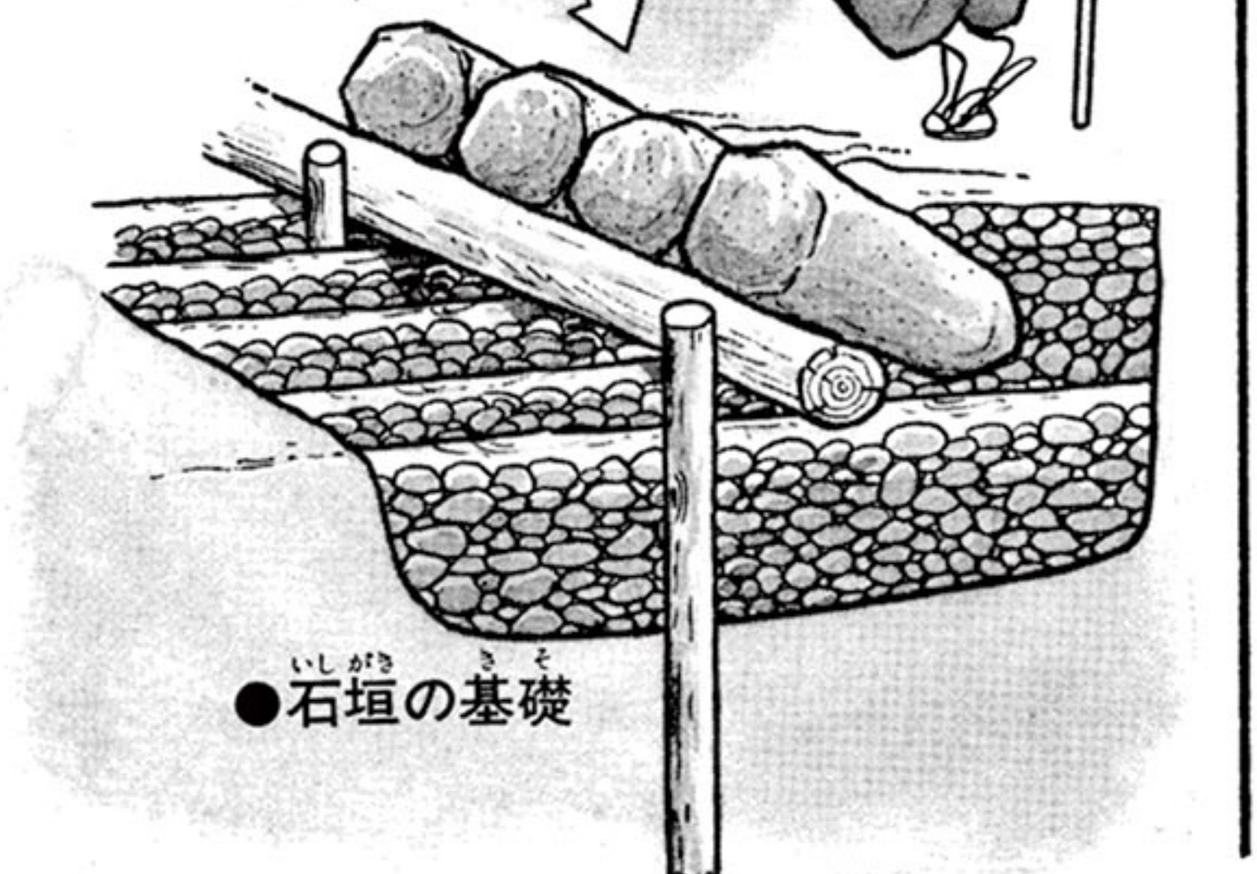






*穴太…滋賀県大津市の地名。石垣づくりの名人がいた所として有名。





当時の普請の様子を想像してえがいてあります。

工事番小屋

木馬道

石置場にあつめられた石は、いったん地山にはこび上げてから、切通しや木馬道を通って、石づみの現場まではこんできます。

両はしの綱で方向をかえる。

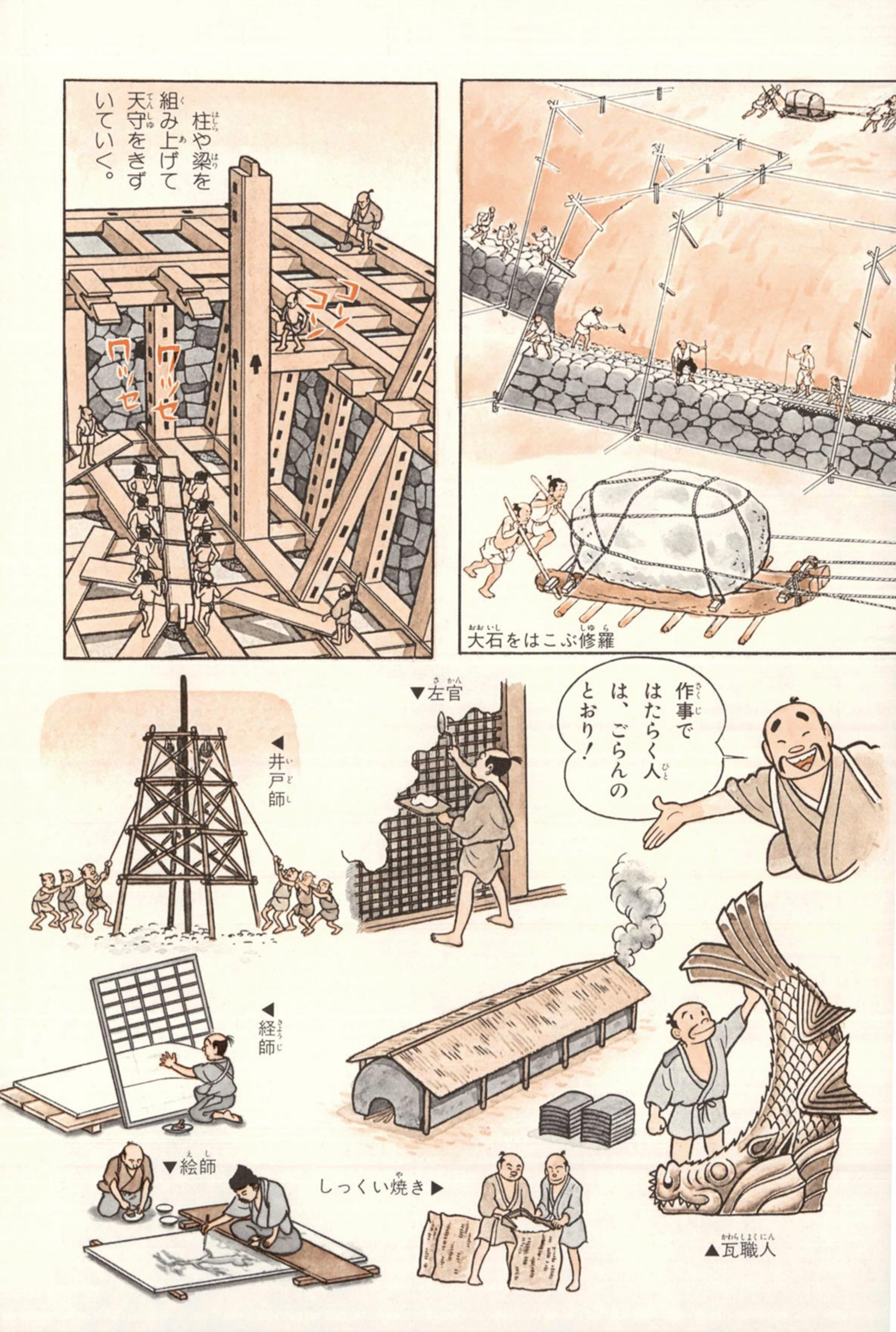
石垣の高さに合わせて、この盛土も高くする。

次は天守台だ。石垣のつみ方はこんなぐあいだ。

くたびれた！だが、四か月で全石垣が完成じゃ!!

次は*作事で、わしら大工の出番だよ！

*作事…建築工事のこと。


大石をはこぶ修羅
柱や梁を組み上げて天守をきずいていく。
ワッセ
ワッセ
コ
コ
作事ではたらく人は、ごらんのとおり！
▼左官
◀井戸師
◀経師
▼絵師
しっくい焼き▶
▲瓦職人

一五八四年正月、遠江の浜松城

殿、織田信雄どのからお手紙です。

徳川家康

うむ。

ふむ……。

これまでは、秀吉のいいなりになってきたが……、

ヒッ ヒッ

もうこれ以上は、がまんできぬ……とある。

信雄どのと徳川家とは同盟国。お味方しましょう。

本多正信

……。

……。

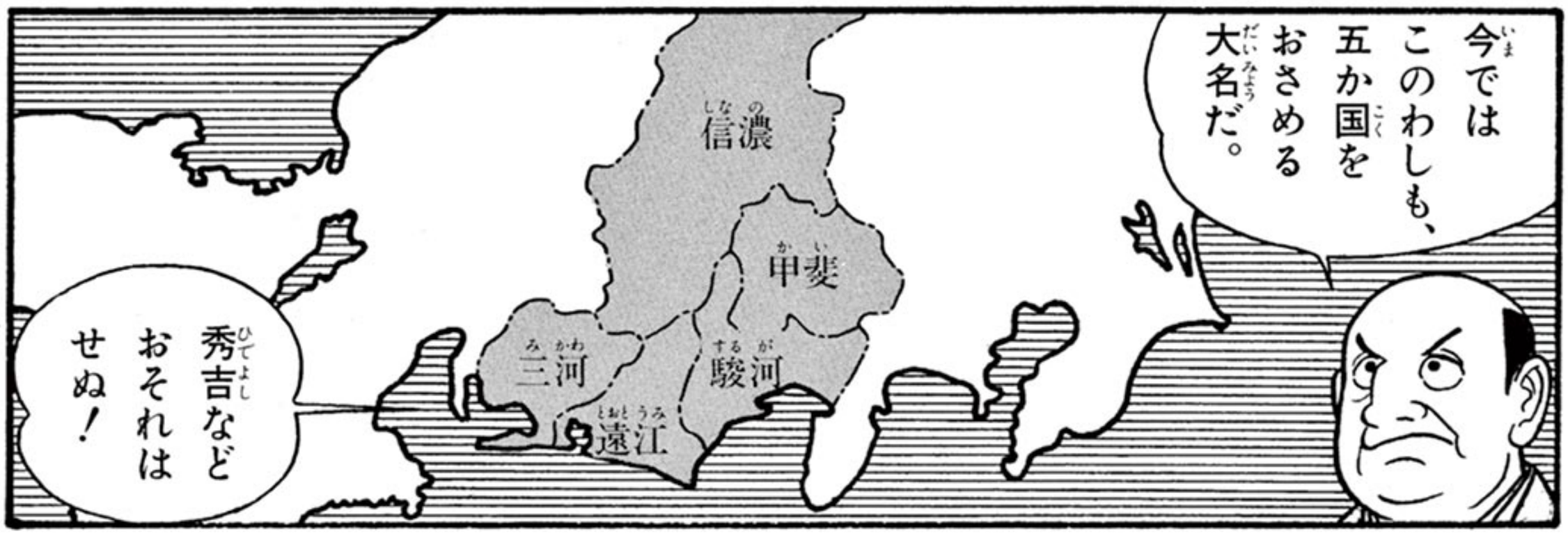
これを機会に秀吉をたたき、殿が天下を……!!

……。

本能寺の変以来、秀吉は天下取りをすすめています。

……うむ。あのとき、わしは堺の町を見物中だった。

もし三河におれば、わしが光秀をうったのに……!!



三月七日、家康は浜松城から八千の兵をひきいて出陣、六日後には、清洲城で信雄と合流しました。

*小牧山…愛知県小牧市にある山。

小牧山の家康の陣

ここで秀吉をむかえうつ！

岐阜城
美濃
秀吉軍
犬山城
小牧山
清洲城
家康
信雄軍
尾張
長久手
三河
伊勢
岡崎城

一方、秀吉軍は犬山城*を足がかりに、小牧山近くまで進軍してきました。

あの山が家康の本陣です。

家康め、なかなかやるのう。

秀吉め、うかつにうごけまい。

両軍は、二キロメートルほどはなれてにらみ合いをつづけ、相手の出方をうかがう持久戦になりました。これを「小牧の戦い」といいます。

ううむ…。なんとかせねば。

*犬山城…愛知県犬山市にあった城。

四月八日、家康の陣

なにっ！秀吉軍の一隊が、三河にむかったと!?

はっ、われらの本国をたたこうというのでは……。

*長久手…愛知県愛知郡長久手町

この戦いで三河ぜめの軍勢は完敗し、池田恒興は戦死、羽柴秀次（秀吉のおい）は、かろうじてのがれました。これを「長久手の戦い」といいます。

この戦いのあと、家康はふたたび小牧山にもどり、両軍はにらみ合いをつづけました。しかし、戦いが長びくのをきらった秀吉が信雄と講和したため、家康もやむなくこれにしたがいました。

そして一五八五年春――

どうじゃな、
みごとな
できじゃろう。
気に入ったかな。

すばらしい
ことと……。
夢のようで
ございます。

秀吉がまちにまった大坂城本丸の工事が完了しました。

この本丸は高さ約三十メートルの天守をはじめ、大小さまざまな建物がたちならび、堀と石垣で、周囲をいくえにもかこった大規模なものでした。

一五八六年九月、大坂城――

りっぱな天守ができたが……。

イラ

イラ

秀吉さまのいらいらの原因は、徳川家康じゃ。

というと？

秀吉さまは、なんとかして家康と手をむすびたいのだろう。

さもないと、天下統一はできないからな。

ところが家康め、大坂までやってくるのがいやだという。

秀吉さまに頭を下げたくないのか。

家康さえ、秀吉さまにしたがえば……。

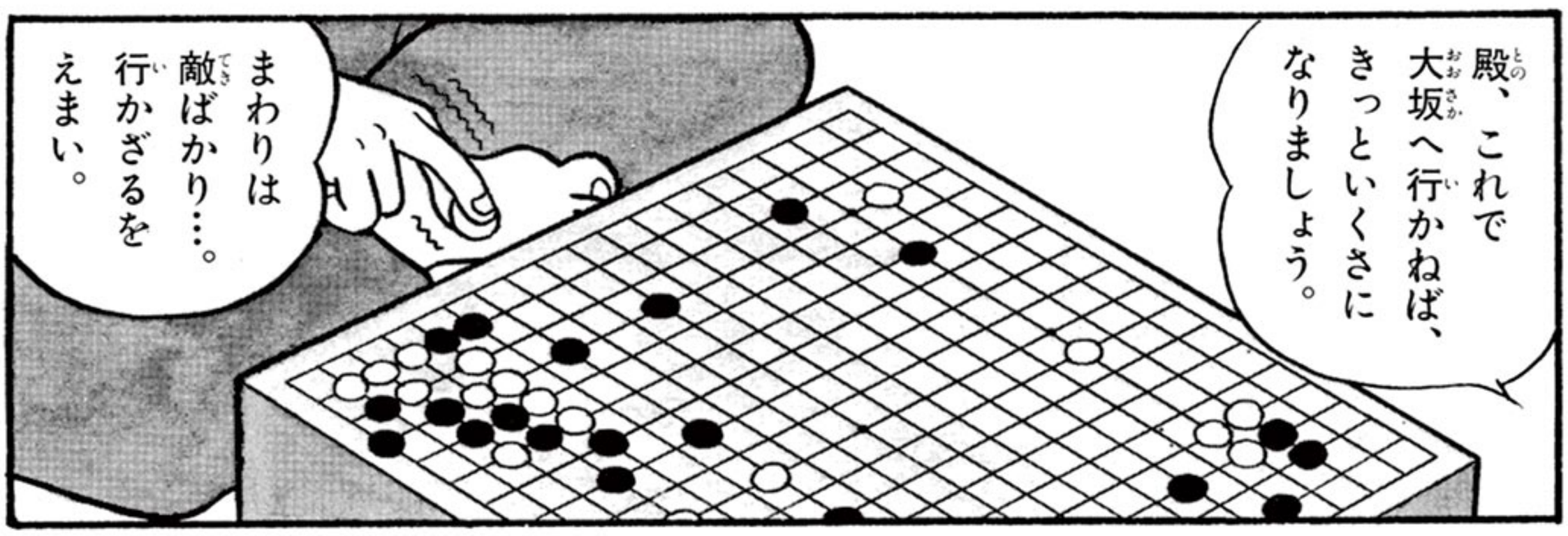
諸国の大名もそれになって、みな臣下になるだろう。

十月、岡崎城

これでは……。

パチッ

おぬし、なかなかやるな。

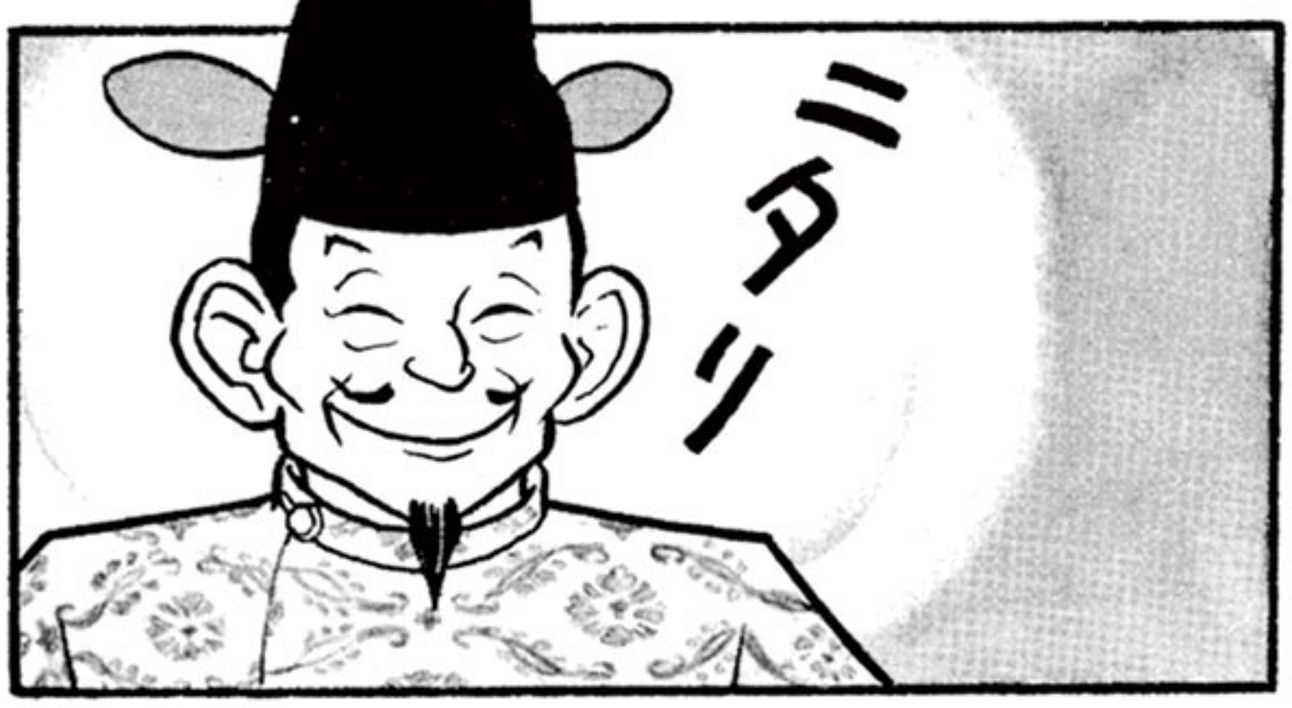


＊権中納言…右大臣・左大臣・大納言につぐ官職。

やっと重い腰をあげた家康は、十月二十六日大坂に到着、翌二十七日、大坂城対面所で秀吉と会見しました。

徳川三河守！大儀であった。

ははっ。



本能寺の変のあと、明智光秀を山崎の合戦でうちやぶった秀吉は、こうしてつぎつぎと諸大名を服従させ、信長の後継者として天下統一をめざしました。一五八五年七月には関白となった秀吉は、翌年、信長の盟友であった徳川家康をも臣下とするとともに、太政大臣となって後陽成天皇から豊臣の姓をうけました。

このように、豊臣秀吉の天下統一が間近にせまってきたのは、信長の死後わずか四年のことです。

小学館 eBooks

第三章

秀吉の政治

——安土桃山時代——

一五八七年九月、京の町

＊聚楽第…秀吉が京にたてた広大な城郭風の邸宅。「じゅらくてい」とも読む。

＊関白…天皇が成人した後に、天皇をたすけて政治を行う役職。

*北野…京都府京都市上京区にある北野の天満宮。

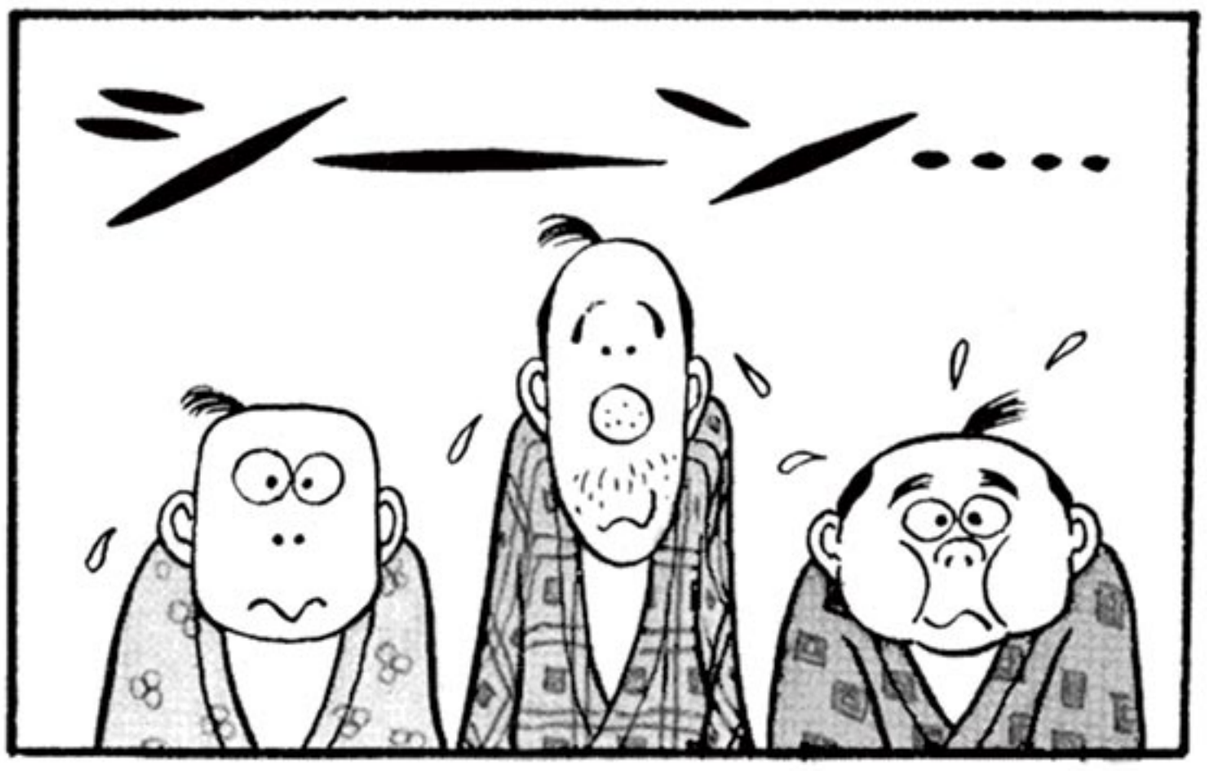
ここは北野の森です。

ピー

ピー

チチチチ

チチチチチ



*宇治…京都府宇治市。茶の名産地。

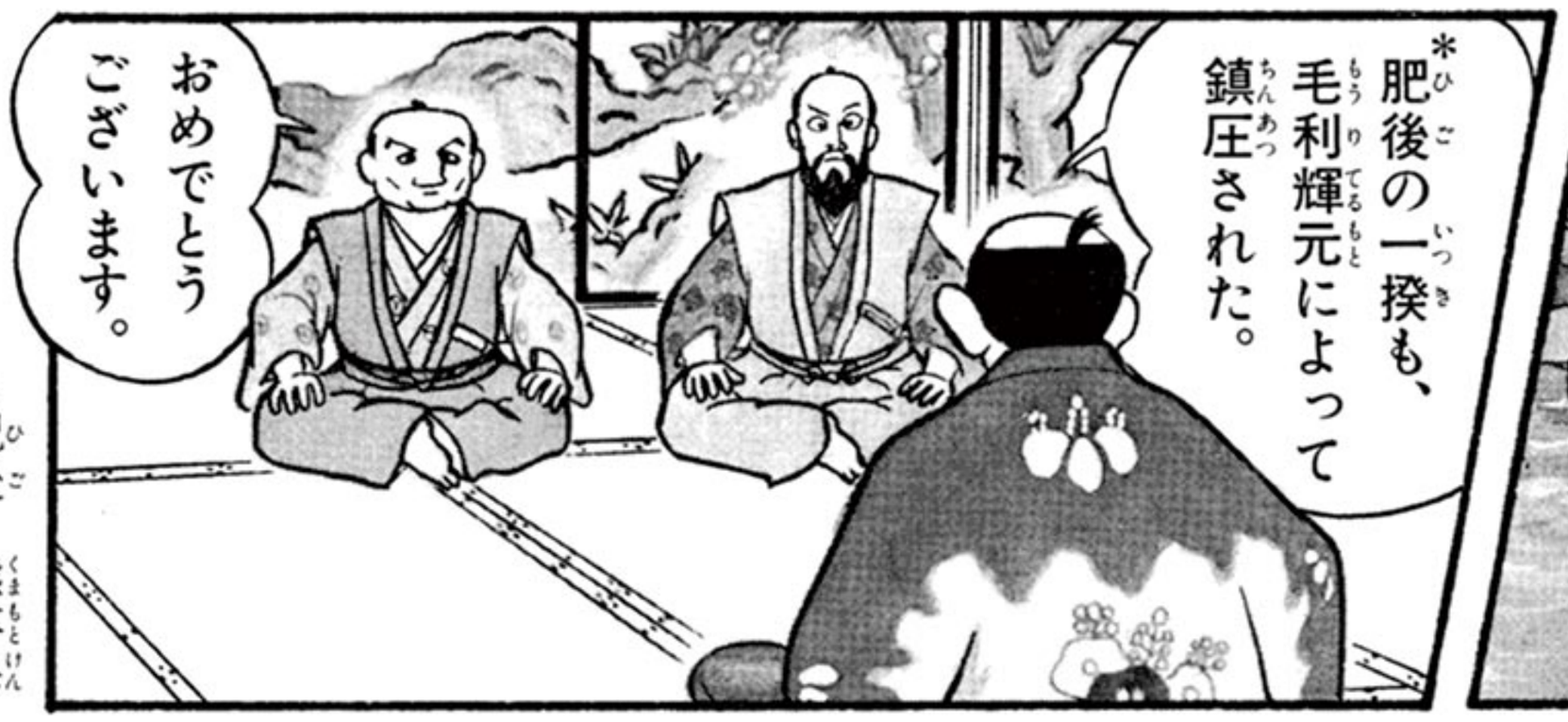
*町衆…室町時代から安土桃山時代に、都市にすみ、集団生活をいとなんでいた町人。

*村田珠光…室町時代中期から後期の茶人。わび茶の創始者。

*千利休…室町時代後期から安土桃山時代の茶道の大家。わび茶の完成者。

翌一五八八年四月、秀吉は、後陽成天皇を聚楽第にまねきました。そして五日間もの間、*舞楽や和歌の会をはじめ、数かずのもよおしを行い、秀吉の力を天下にしめしました。

*舞楽…雅楽（宮廷音楽）を伴奏として演じる舞踊。



*肥後…熊本県

*博多…福岡県福岡市の一部。港町としてさかえた。

そのとき、長崎から*バテレンの船も来ていた。関白さまは、その船を見学された。

これが、南蛮船とよばれる船か…。

いいえ、南蛮船はもっと巨大な船でございます。

長崎や*平戸に来ます。

長崎には、バテレンたちの領地があると聞いたが…。

ぜひ、南蛮船を見てみたい。博多へ寄港させよ！

はい、わかりました。

*バテレン…キリスト教の宣教師のこと。

*平戸…長崎県平戸市。港町としてさかえた。

そして数日後、平戸から南蛮船の司令官がやってきた。

関白さま、司令官が、博多への航海は危険なのでとりやめたいともうしております。

うむむ、やむをえん。

このあと、バテレンと関白さまは、なごやかに話し合われた。

ところが、翌日、バテレンを国外へ追放する命令を出された。

長崎の地もバテレンから没収して、先月、直轄地にされた。

南蛮貿易の重要な港を支配して、貿易の主導権をにぎろうとするお考えであろう。

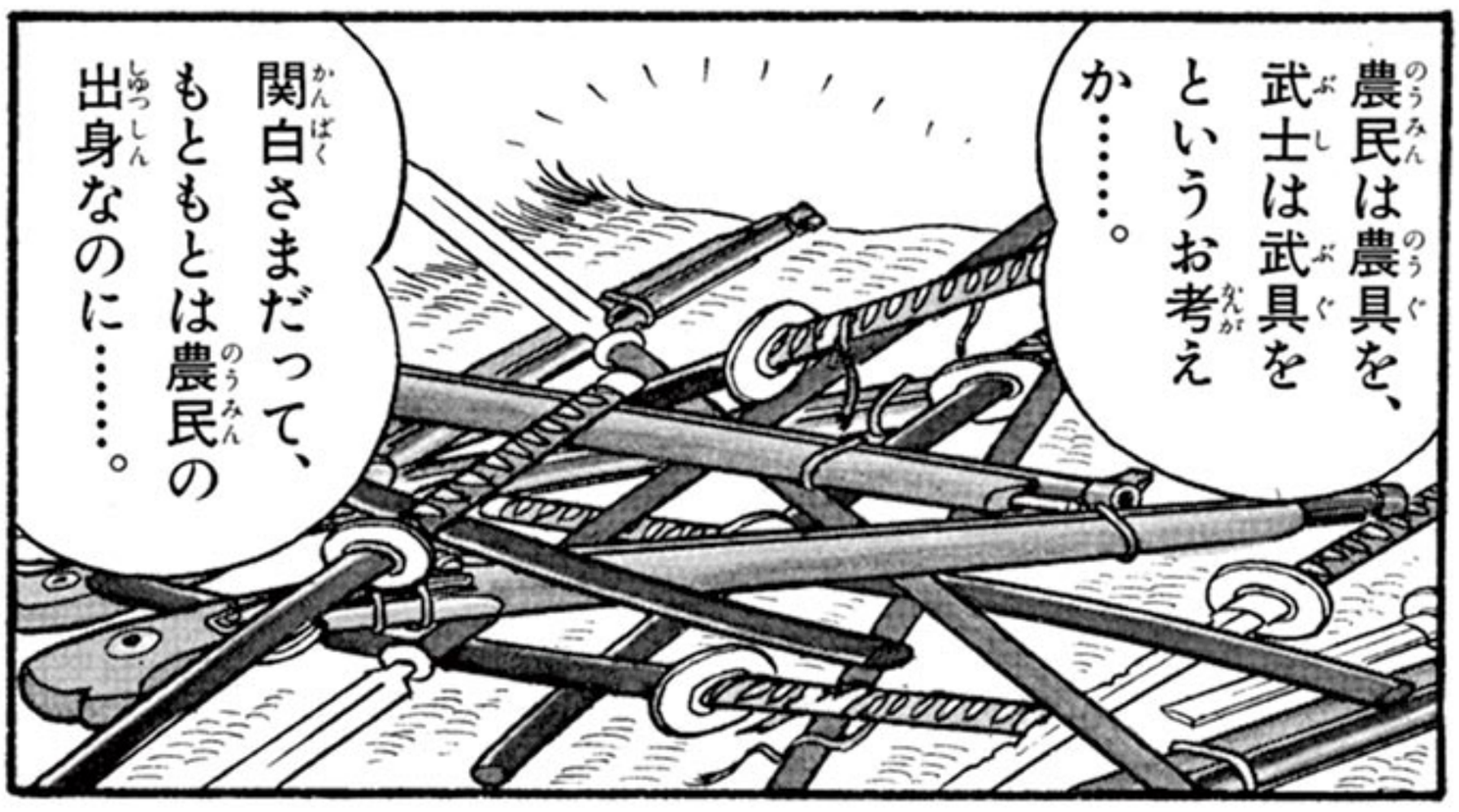
バテレンたちに寛大だった関白さまが、なぜ考えをかえられたのかな？

関白さまは、九州の地ではじめてキリシタンの団結力の強さをお知りになったからだろう。

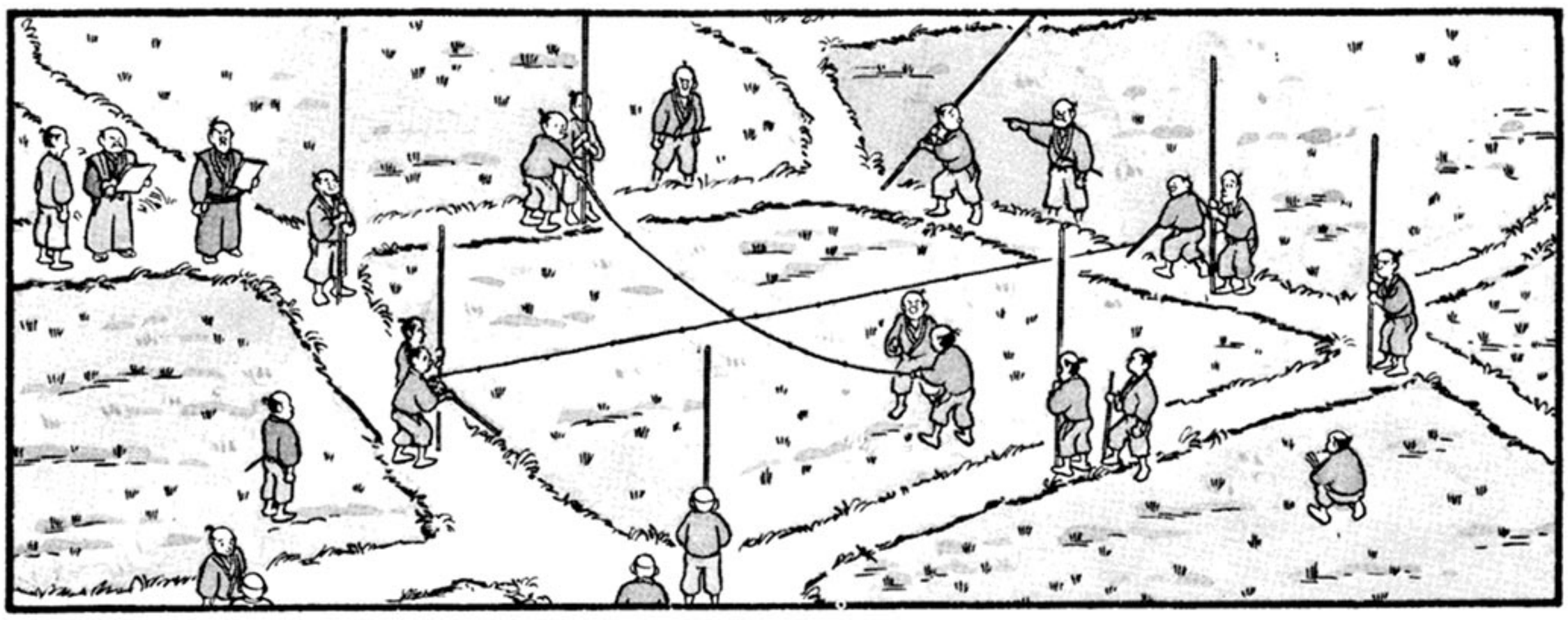
うむ、あの団結力は、信長さまが苦戦した一向一揆と同じよ。

豊臣秀吉が発令した日本最初のバテレン追放令（一五八七年）は、宣教師を国外に追放し、南蛮貿易だけは行うというものでした。

しかし追放令は徹底せず、宣教師は、各地でひそかに布教をつづけました。



*方広寺…京都府京都市東山区にある天台宗の寺。木像の大仏があった。*検地…田畑の境・広さ・良し悪しなどを測量・検査すること。



*京升…京で広くつかわれていた升。

これからはだまされんぞ！

おおい、この田んぼはだれがたがやしておるのだ！

はい、わたしです。

名は何ともうす。

やげじです。

やげじ？どう書くのだ？

ええと……。

なんだ、弥源次ではないか。

昔から、やげじとよばれていたのになあ…。

こちらの田は、だれがたがやしておる？

わたしです。平助です。

でも、そこはわたしの田ではなく、惣左衛門さまの田でございます。

今度の検地は、だれがその田をもっていようと、じっさいに田をたがやしている者を検地帳にのせる。

上田 九畝
中田 六畝
下田 一反十九
上畑 二反八畝廿ト 三石
畑 九畝十三ト 一石一升
十八升
弥源次

？

？

このようにして行われた秀吉の検地は、「太閤検地」とよばれています。年貢もすべて米でおさめるようにし、村の規模も*石高でしめされるようになりました。

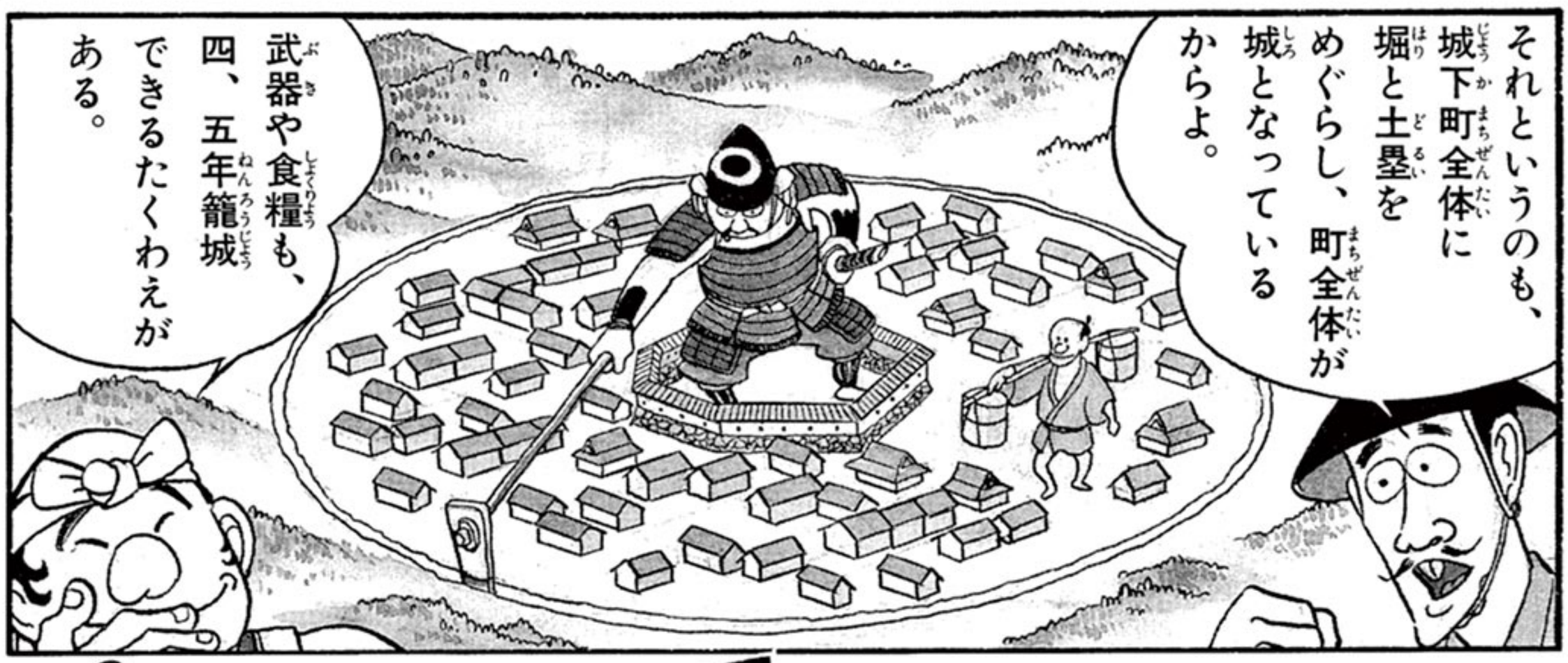
*作あい…農民が土地の持ち主にはらう小作料のこと。

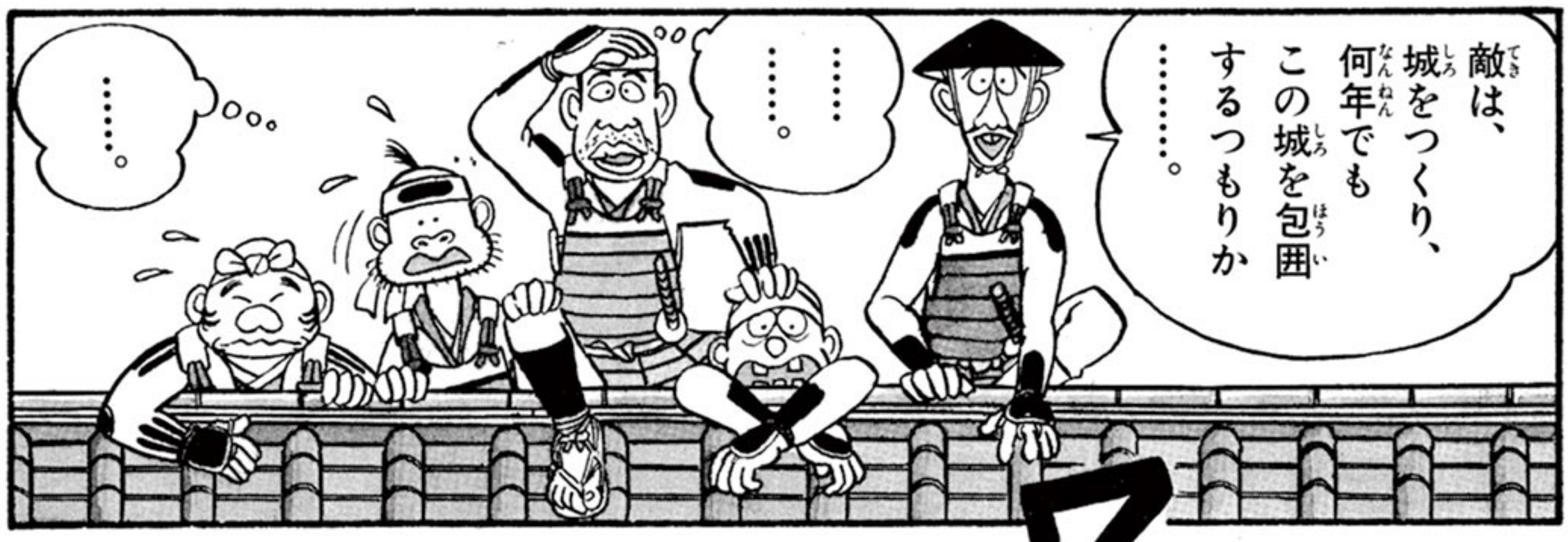
*石高…土地の生産高のあらわし方。年貢や諸役はこれを基準にしてきめられた。

一五九〇年春、秀吉は諸大名を総動員して、関東に勢力を広げていた北条氏の*小田原城をかこみました。

海も山も、わが軍勢じゃ。

*小田原城…神奈川県小田原市にあった城。





*笠懸山…神奈川県小田原市にある石垣山のこと。*部将…一部隊の大将。*田楽…田植えのときに、豊作をいのることからおこったおどりと音楽。

これからは、茶会や宴会をひらき、のんびりと敵が降伏するのをまつのじゃ。

関白さまは、心の大きいかたですこと。

ウハハハ

ところで、鶴松は元気か？

はい、関白さまのあとつぎとして、りっぱにそだっています。

そうか。奥州の伊達政宗も、もうじき降参してくるだろう……。そうなれば、日本国中みな鶴松のものじゃ。

こうして、戦いは持久戦となりました。

この間にも北条氏の支城は、秀吉軍の攻撃でつぎつぎと落城し、七月五日、ついに小田原城も秀吉の前に落城しました。

小田原城

家康どの。

はい。

あなたに関東をおさめていただきたい。

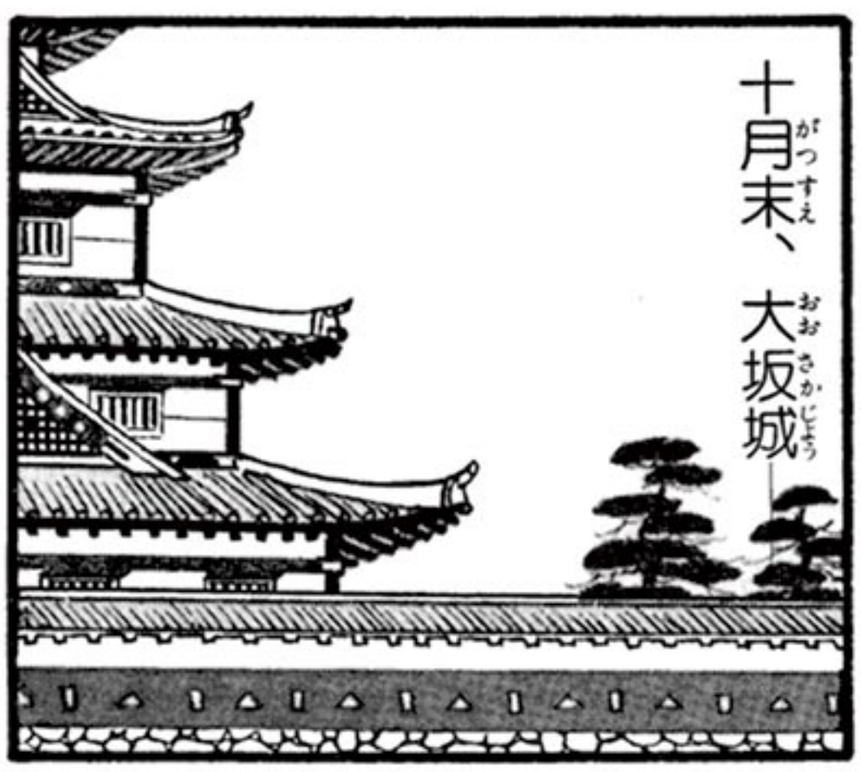
えっ！

*江戸…東京都の中央部

こうして、関東の地を平定した秀吉は、さらに奥州におもむき、小田原ぜめに参加しなかった奥州諸大名の領地を没収し、この地も手中におさめました。

これで秀吉の天下統一は、名実ともに完成しました。

*太田道灌…本名資長。江戸城をきずいた室町時代中期の武将。



●秀吉によるおもな大名配置(1590年～1595年)

伊達政宗

(その後 上杉景勝)

蒲生氏郷

上杉景勝

前田利家

徳川家康

羽柴秀次

宇喜多秀家

大坂

石田三成

毛利輝元

小早川秀秋

長宗我部元親

加藤清正

小西行長

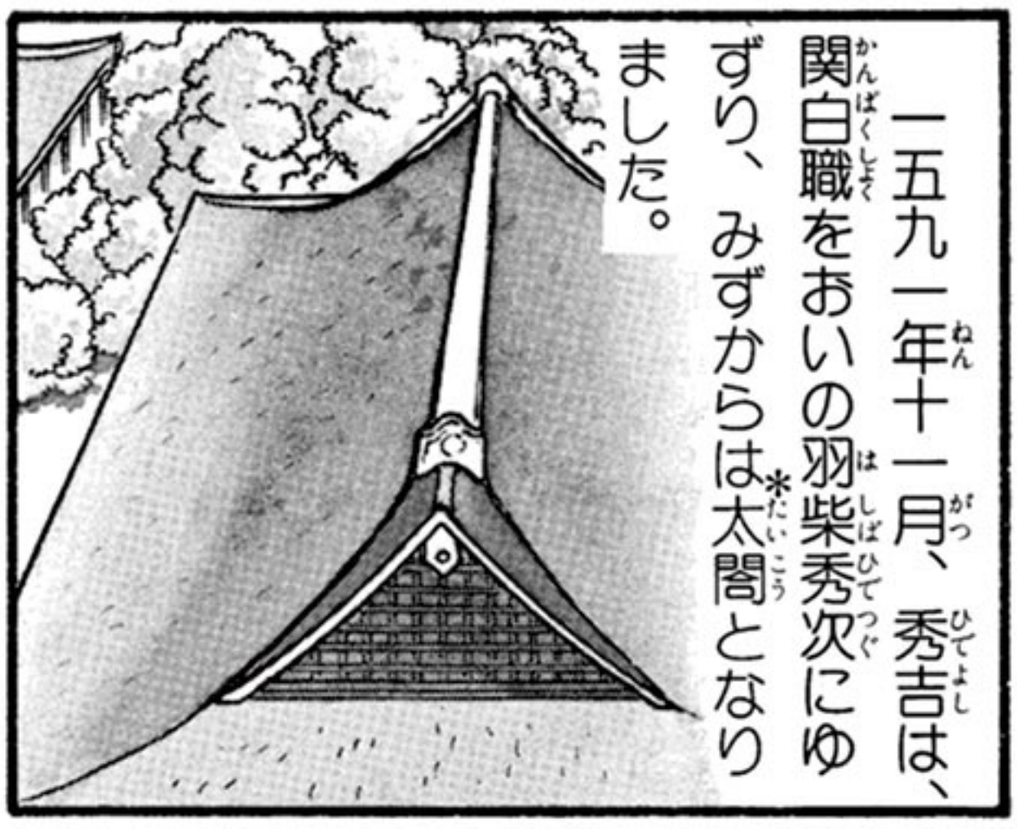
島津義弘

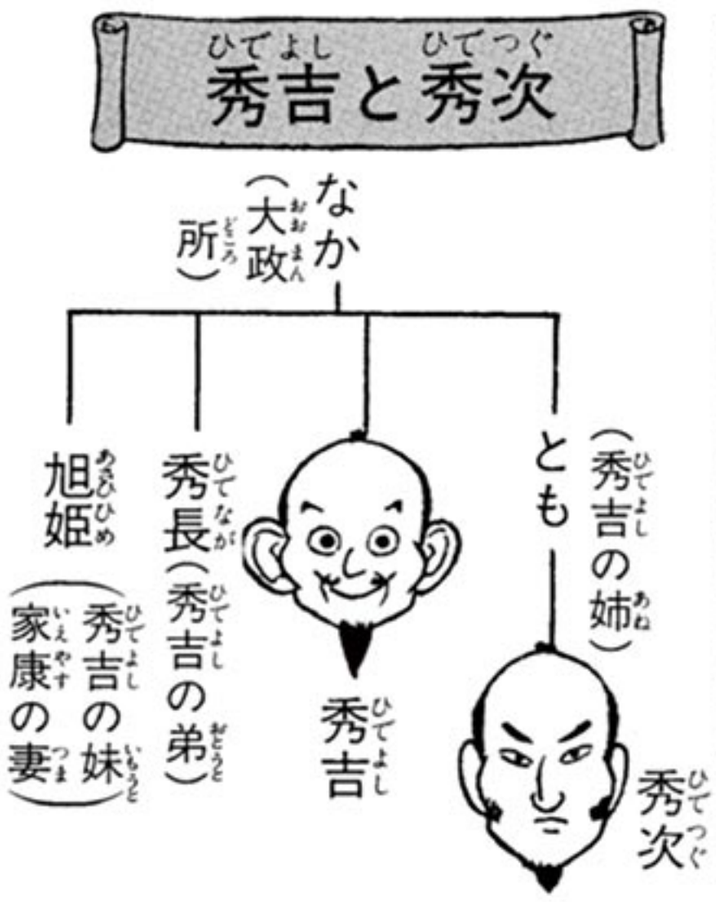
ついに、日本の統一をなしとげたぞ！

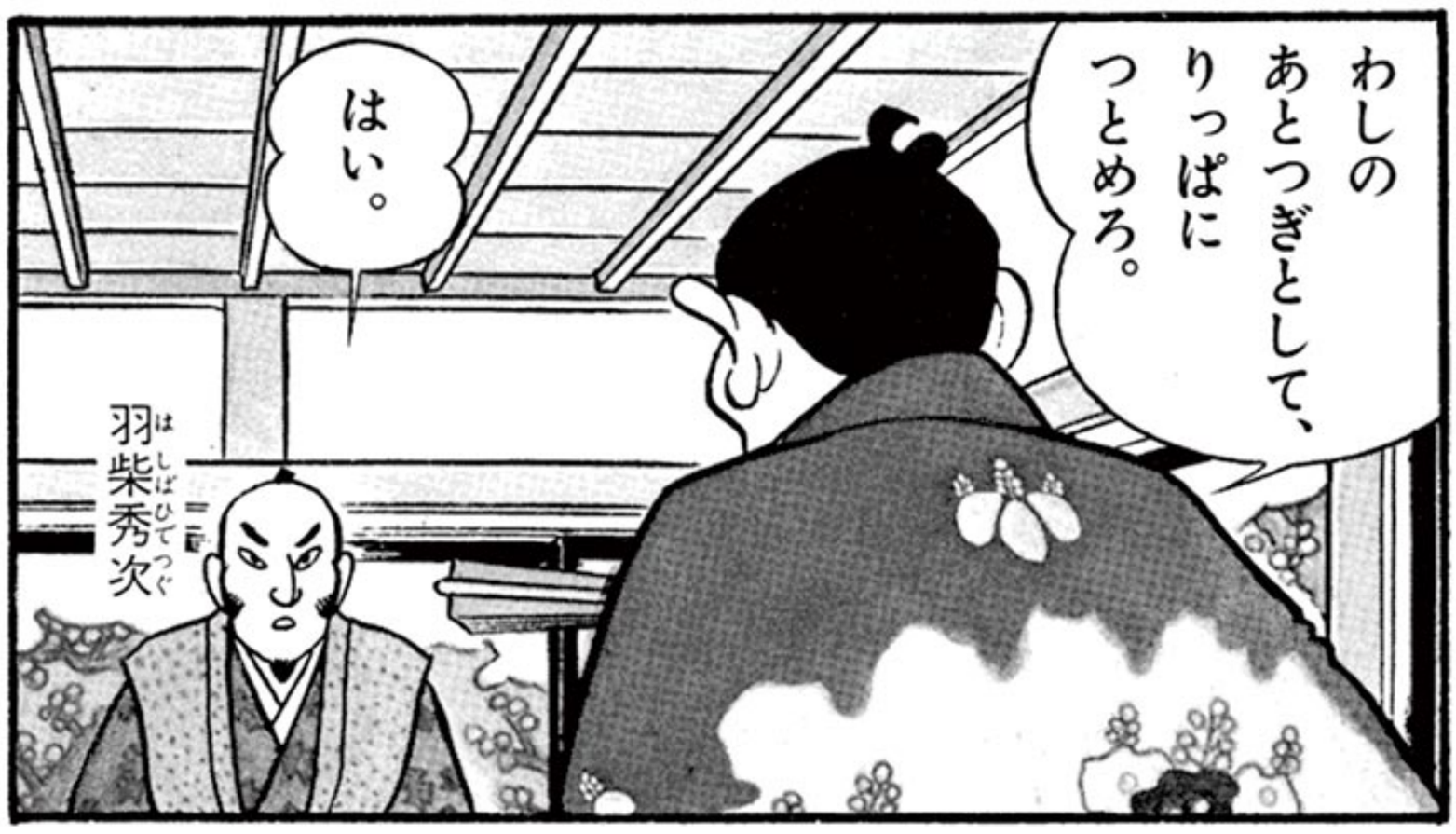
これで、豊臣家もばんばんざいじゃ。

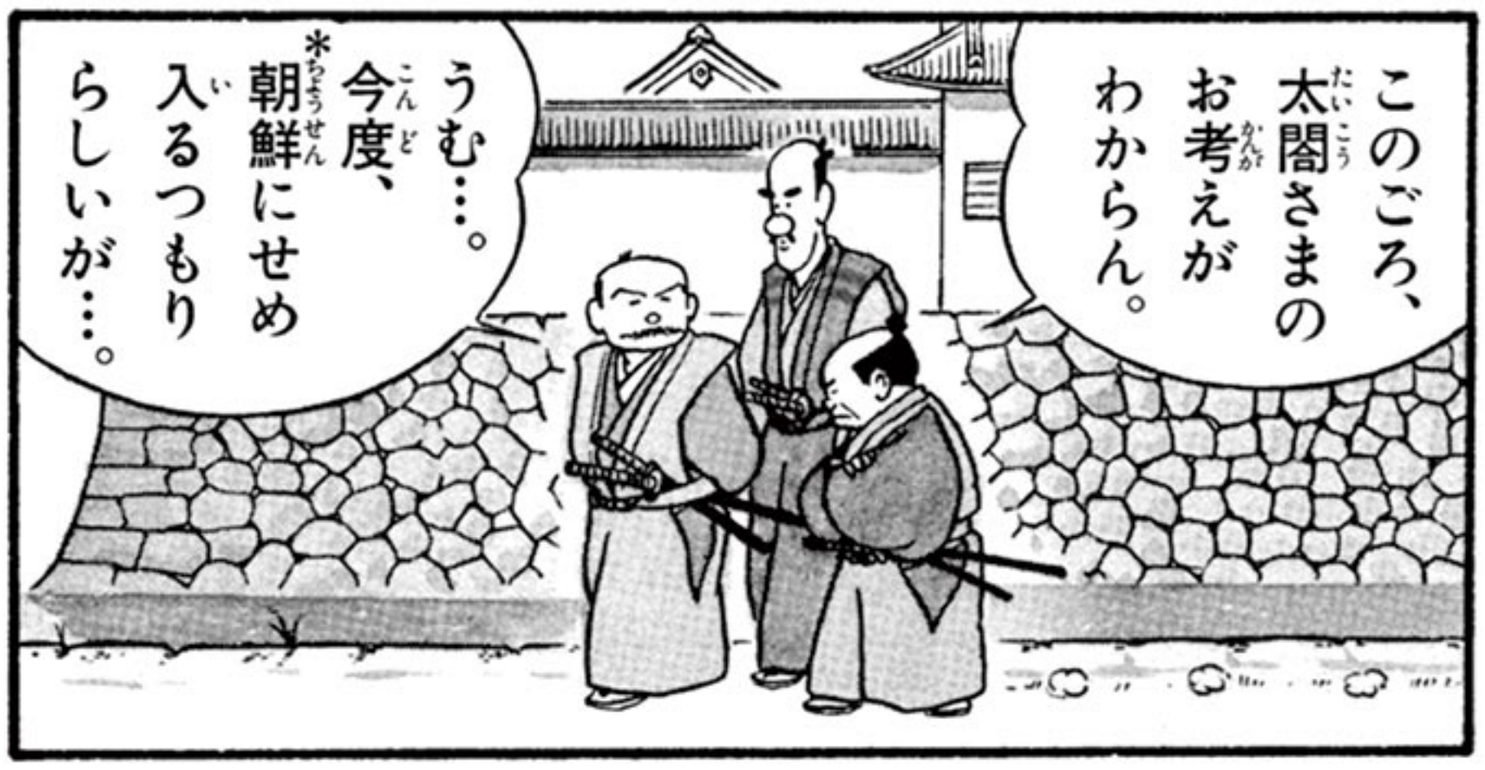
次は、明へせめ入ろう！

ところが一五九一年一月、山崎や賤ケ岳の戦い以来、ずっと秀吉につかえていた秀吉の弟羽柴秀長がなくなりました。ついで八月には、秀吉の愛児鶴松がわずか三歳で病死しました。









*太閤…関白をしりぞいた人をさす。

*朝鮮…李氏朝鮮のこと。一三九二年から一九一〇年までつづいた朝鮮の王朝。

一五九二年一月五日、秀吉は、諸大名に朝鮮への出陣命令を出しました。各軍勢は*肥前*名護屋城に集結し、その数は三十万にもふくれあがりました。そして四月十二日、小西行長らの一番隊一万八千が、朝鮮にむけて出兵しました。

これを「文禄の役」といいます。

*肥前…佐賀県と壱岐・対馬をのぞく長崎県。

*名護屋城…佐賀県唐津市鎮西町にあった城。朝鮮出兵の前線基地となった。

*ルソン総督…フィリピン群島北部のルソン島の長官。

日本軍は、第一軍から第六軍まで総勢十五万八千の軍勢で、朝鮮各地で戦いをくりひろげ、釜山、ソウルなどを占領して、平壌までせめ入りました。

●日本軍の進路

平壌
ソウル
釜山
名護屋
加藤清正軍
小西行長軍

ズドドドドー
ズドドー
ワー
ワー
ワー
ズー
ズー

日本軍の占領がすすむにつれ、各地で民衆が立ちあがり、朝鮮軍も反撃を開始しました。日本軍にとって、戦いは不利な方向へとすすんでいきました。

さらに、一五九三年一月、日本軍は朝鮮軍と救援の明の連合軍の攻撃をうけソウルに撤退しました。

一五九三年四月、ここは小西行長の陣――

はじめの勢いでは、簡単に明までせめ入ることができると思ったが…。

李舜臣という水軍の大将が、日本からの輸送船団に大打撃をあたえたそうだ。

朝鮮の民衆も、われらに抗戦するようになってきた。

無理もなかろう。

これでは、ますます苦しい戦いになるのう…。

そうじゃな。

まったく、太閤さまも無益な戦いをするものだ。

殿は、どのようなおつもりかなあ…。

小西行長

ようやく、明との間に講和をむすぶきっかけができたようだ。

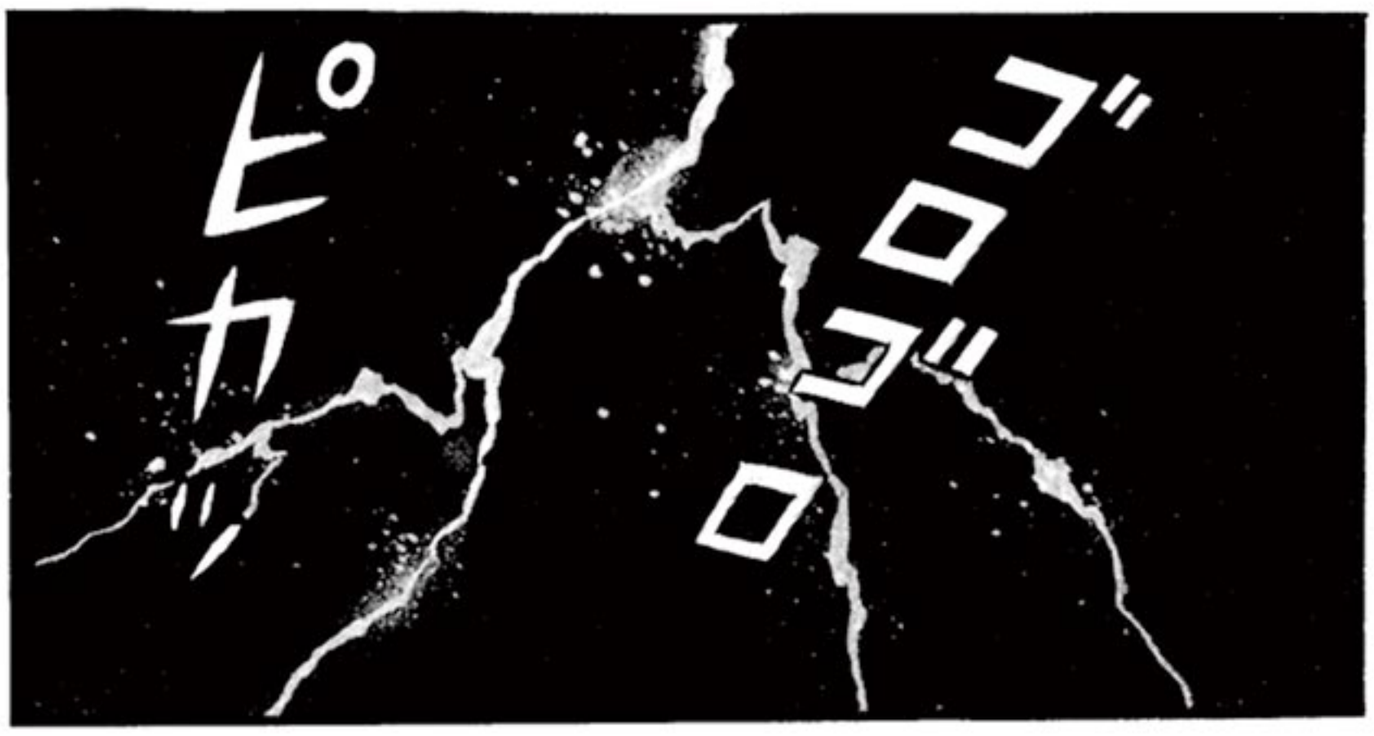
今度こそ、講和交渉を成功させるぞ！

これから明の使節とともに、名護屋城にむかう。

太閤さまが無理な条件を出されなければよいが…。

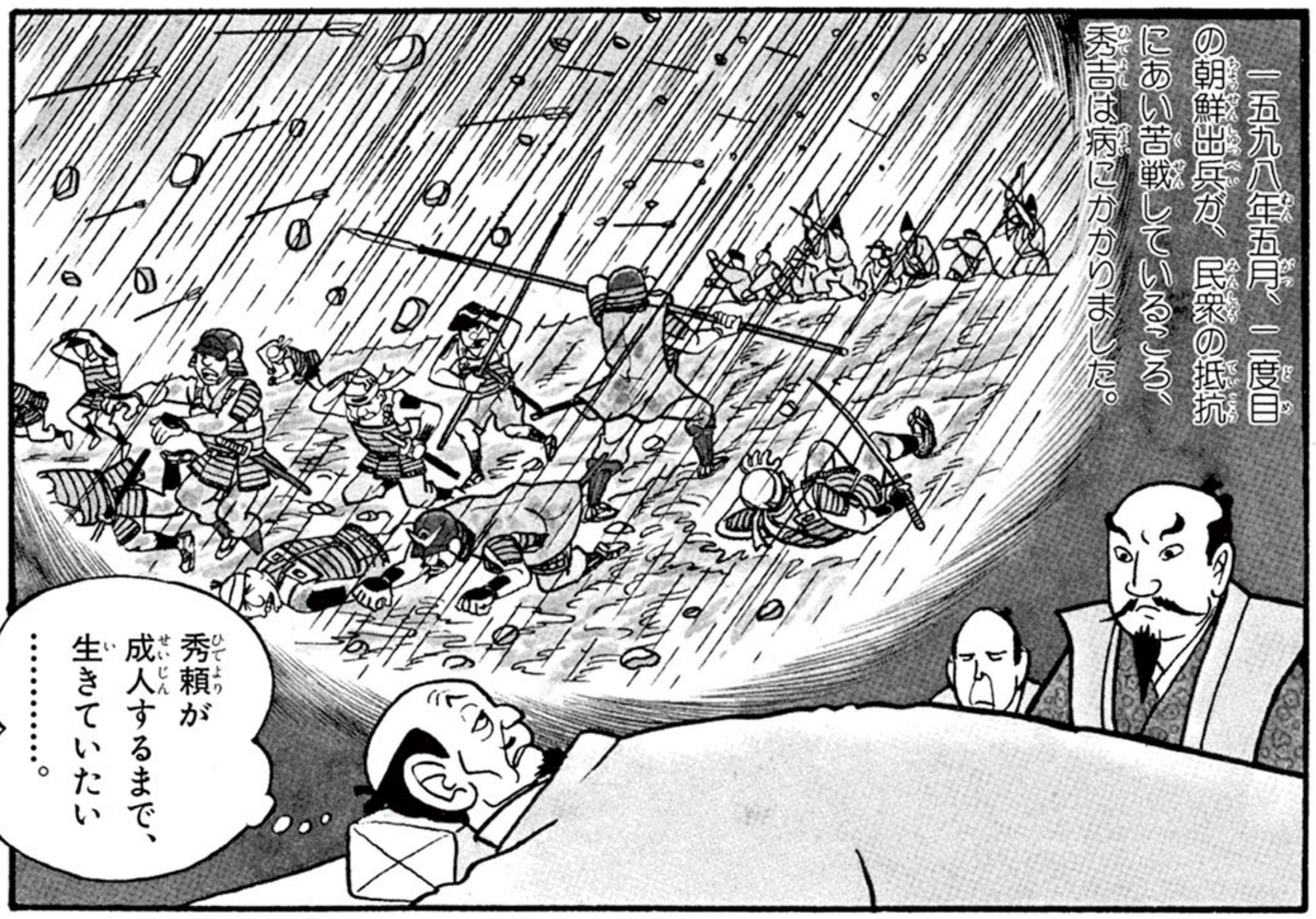
*勘合貿易…日明貿易のこと。その船が正式なものであることをしめす勘合符をつかった。

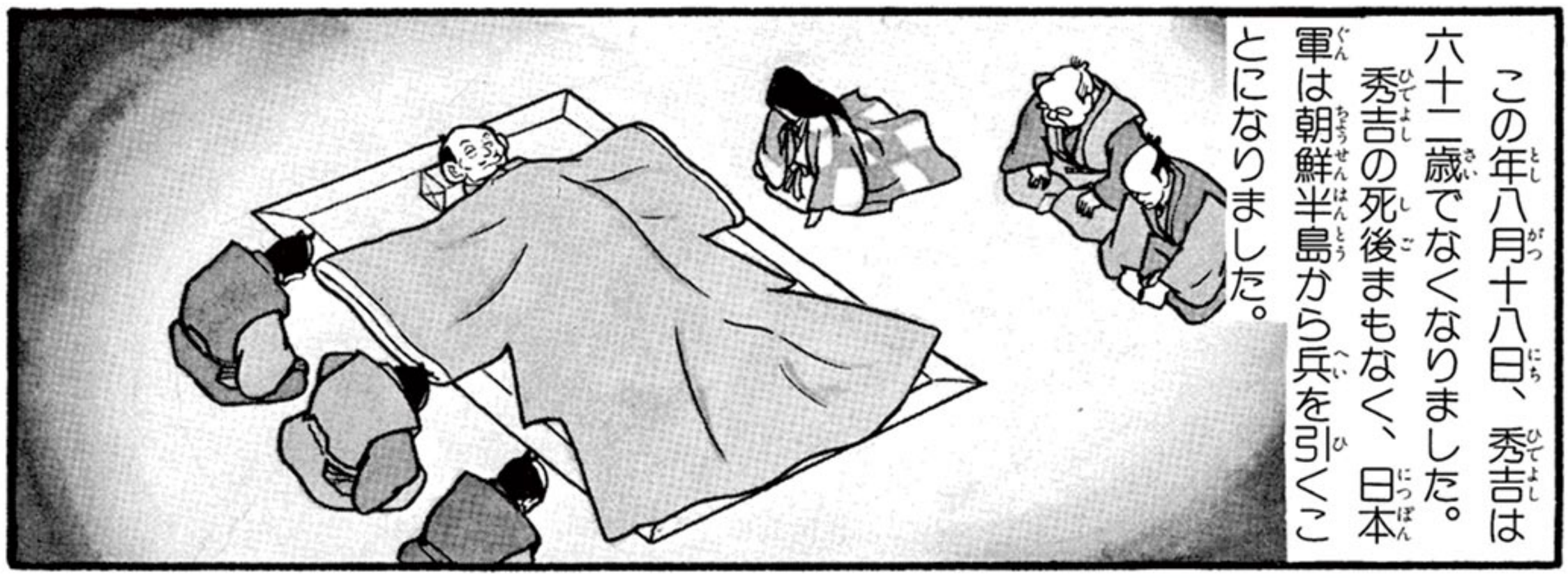
一五九五年七月、秀次はむほんのうたがいをかけられ、関白職をうばわれたうえ、*高野山に追放されました。そして七月十五日、無理やりに切腹させられました。これで、秀頼が秀吉のあとつぎとなりました。



*高野山…和歌山県伊都郡高野町にある寺。金剛峯寺のこと。高野山真言宗の本拠地。

こうして、秀吉はふたたび朝鮮出兵を命令しました。一五九七年二月、十四万におよぶ大軍がつぎつぎに出兵し、朝鮮各地で戦いをくりひろげました。この戦いを「慶長の役」といいます。





この年八月十八日、秀吉は六十二歳でなくなりました。

秀吉の死後まもなく、日本軍は朝鮮半島から兵を引くことになりました。

尾張の中村のまずしい家に生まれた秀吉は、天下人としてその生涯をおえました。

秀吉は、たんに天下統一をなしとげただけでなく、刀狩や検地などによって、武士が農民を支配するための新しいしくみをつくろうとしたのです。

秀吉の死とともに、時代は一つのまがり角をむかえました。天下のゆくえをめぐって、徳川家康、前田利家ら有力大名たちは、新たな動きを開始することになります。

小学館 eBooks

第四章

関ヶ原の戦い

——安土桃山時代——

一五九八年十一月
博多では――

だいじょうぶか！

おい、しっかりしろ！

よく帰ったな。

もうじき国へ帰れるぞ、がんばれ！

はい……。

加藤清正

ふうっ。

ご帰着、ご苦労でござる。

諸将のかたがたは、まず*伏見城にまいられ、秀頼さまにおくやみをもうされよ。

*伏見城…京都府京都市伏見区に秀吉がきずいた城。

そのあと領国へお帰りになり、戦場のあかをおとし…、

来秋にまたご上洛ください。

そのおりには茶会でももうけて、みなさんをおまねきいたしましょう……。

石田三成

くそっ！

ムカッ

三成どのは、茶会でも何でもするがよい！

わしらは、異国の戦場でうえに苦しみ、茶も酒もないありさまだった。

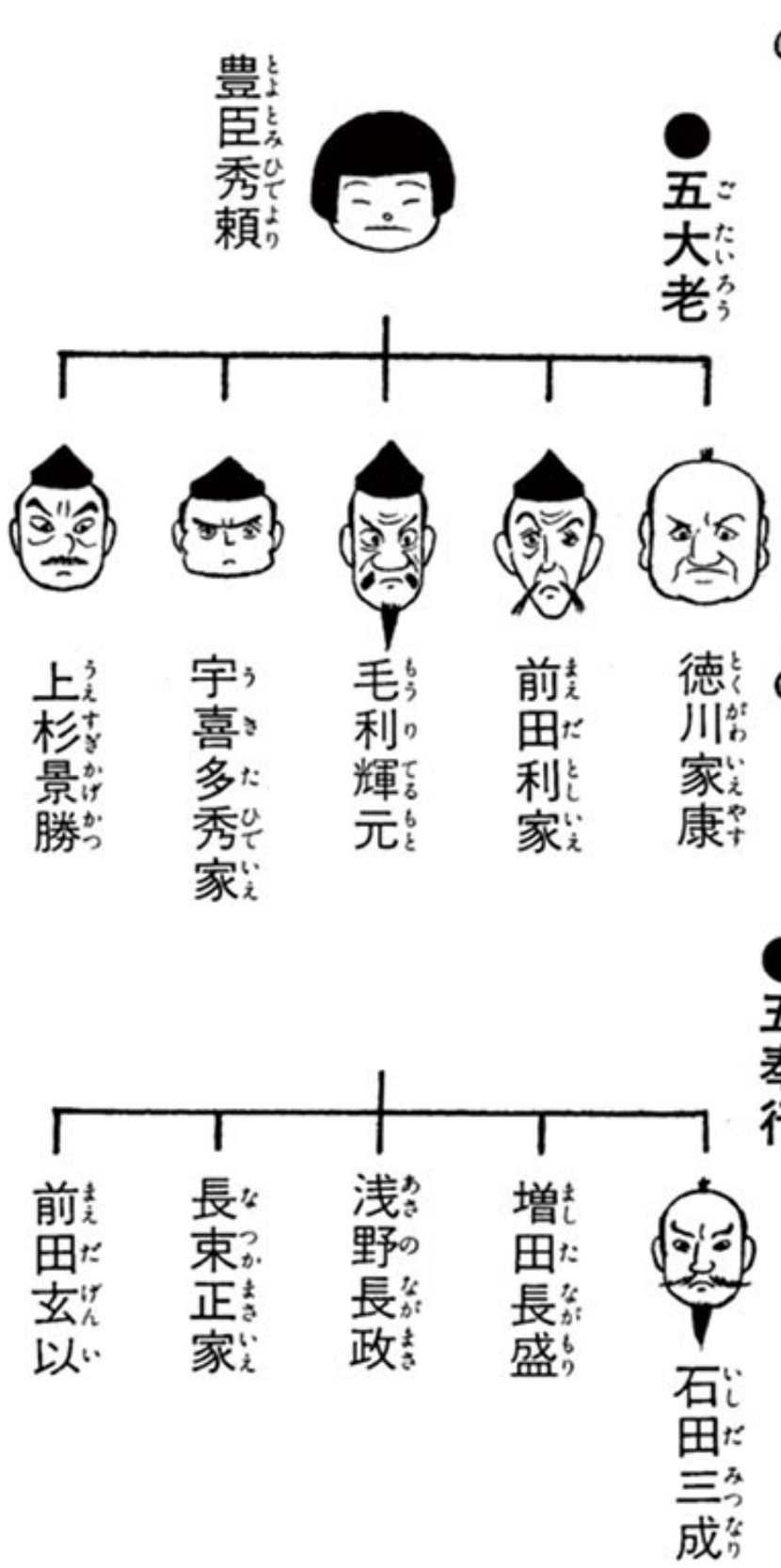
それを茶会とは……。今は腹いっぱいの米の飯がほしいわい！

国にいる連中は、わしらの苦労をわかっておらん！

清正どの…。

ともあれ、無益な戦いがおわって良かった。

五大老と五奉行



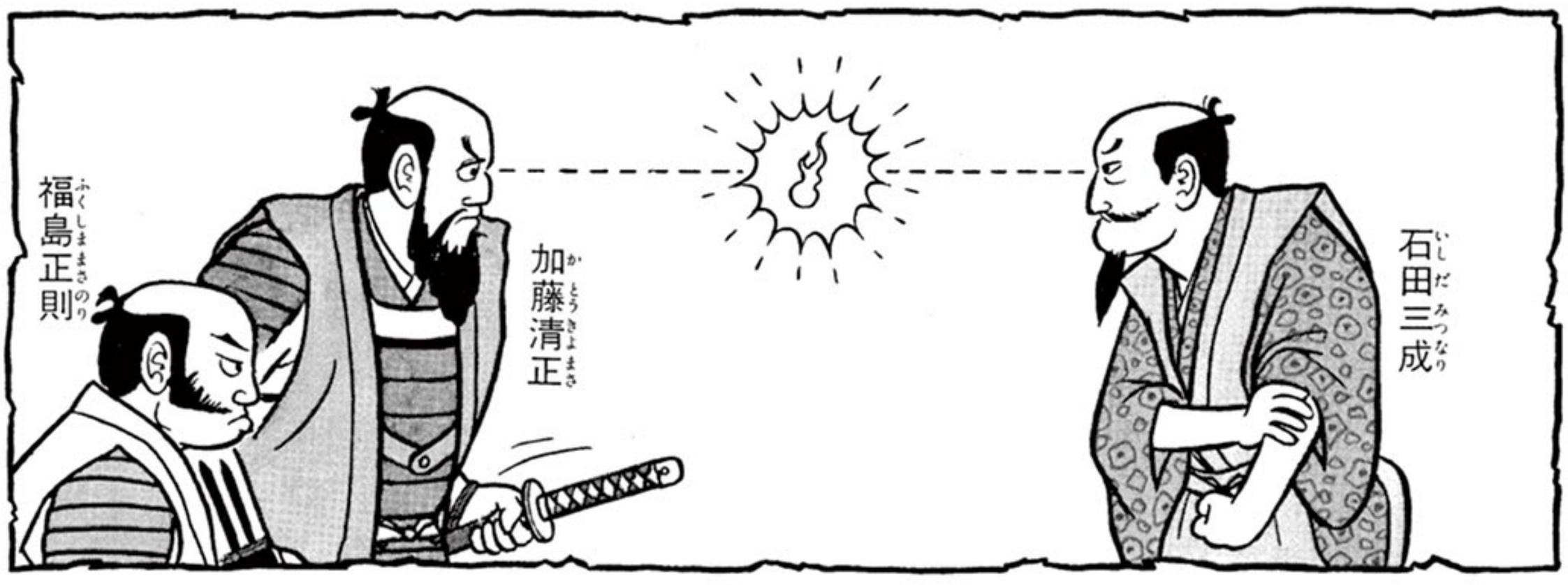
*五奉行…豊臣政権の政務を処理した機関。

*佐和山城…滋賀県彦根市佐和山町にあった城。

*五大老…秀吉が五奉行の上においた豊臣政権の最高機関。

当然、今の奉行に不満をもつ…。
「命をかけてたたかったのはおれたちだ！」と思うわけだな。

そのとおり。そういうわけで、二派にわかれて仲たがいしている。


福島正則
加藤清正
石田三成

朝鮮へせめ入ったときも、加藤清正どのと小西行長どのが、戦いのやり方や外交政策をめぐって対立した。

そのとき、三成どのが行長どのの意見を支持したので、清正どのをおこらせてしまった。
ますます仲が悪くなるなあ。

太閤さまがなくなられたというのに…。
五大老の徳川家康さまは、どうお思いなのかなあ。

もめごとはたくさんだ。

一五九九年正月、伏見の徳川家康邸

殿、太閤さまがなくなった以上、天下はだれのものでもございません。

うむ……。

秀頼さまはまだ七歳…、世のためにも殿が天下人となられるべきでございましょう。

うむ。

だが秀頼さまには、後見人に前田利家がおるし…。

石田三成ら五奉行もおる…。

先日も、前田利家ら四大老によばれたが……。

家康どの、よもや太閤さまの遺命をおわすれではあるまい。

ん？何のことかな…？

おとぼけなさるな！

毛利輝元

前田利家

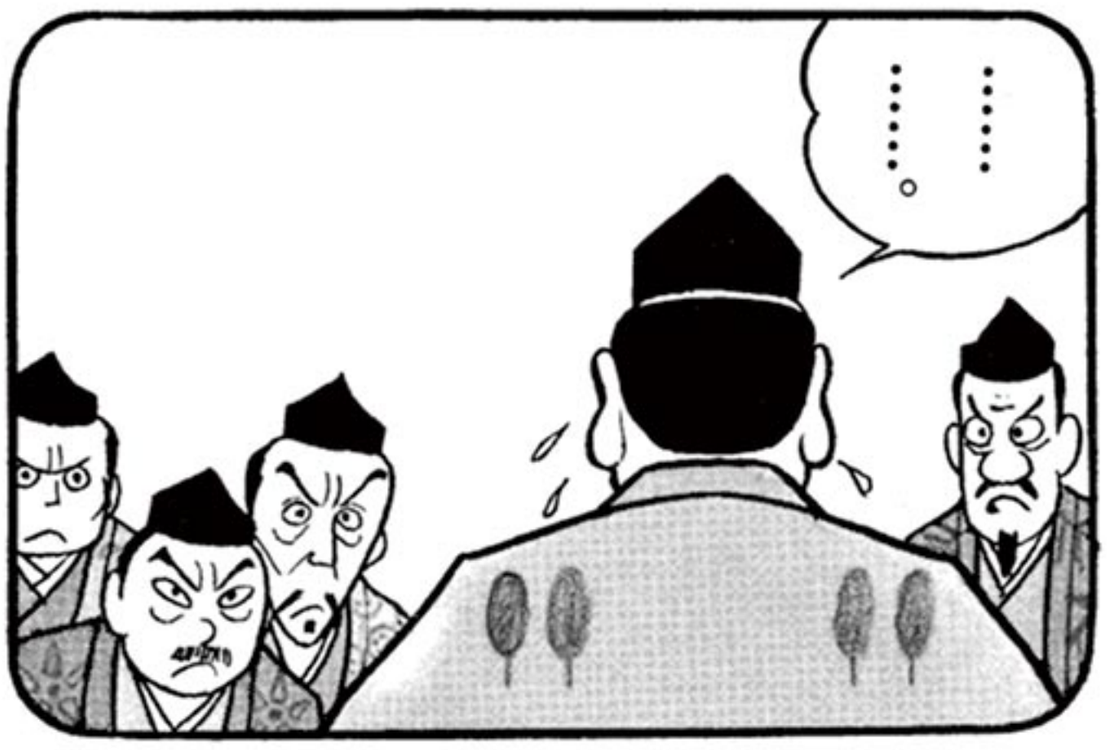
そなたの子忠輝が、伊達政宗どののむすめと結婚したそうではないか。

大名同士がかってに結婚してはならぬことは、なき太閤さまのご命令のはず！

上杉景勝

宇喜多秀家

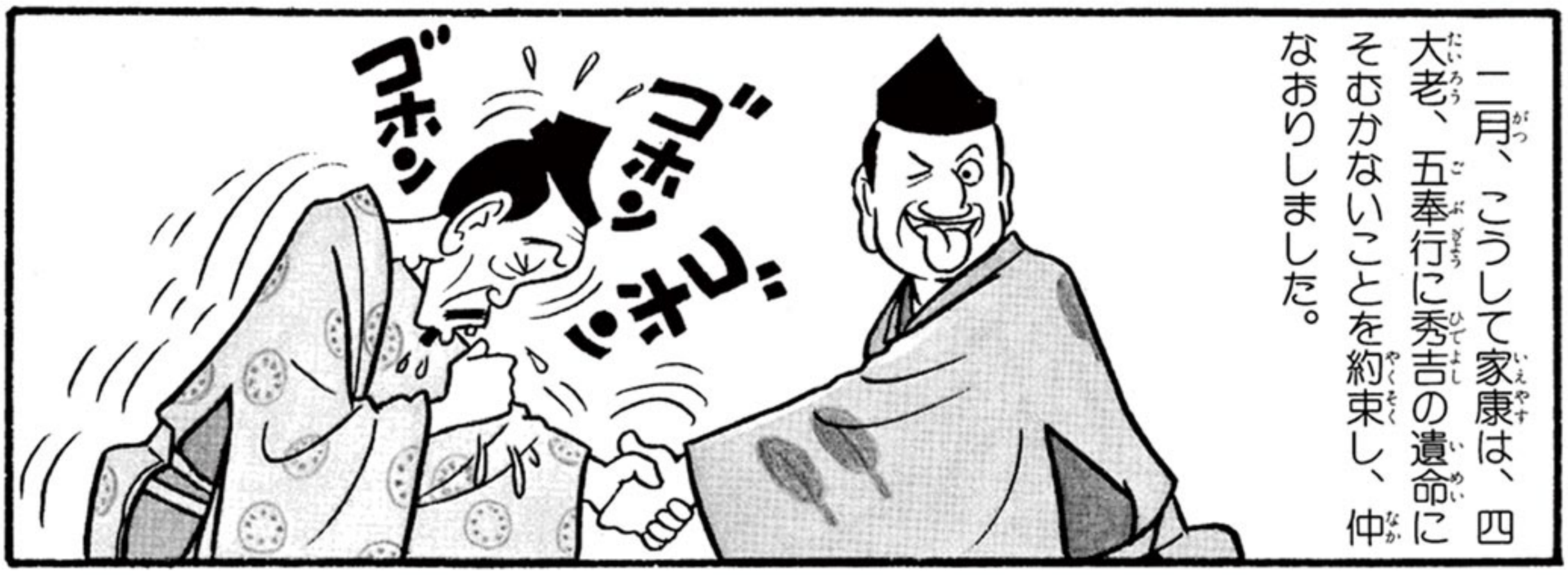
それをわすれたわけではあるまい！

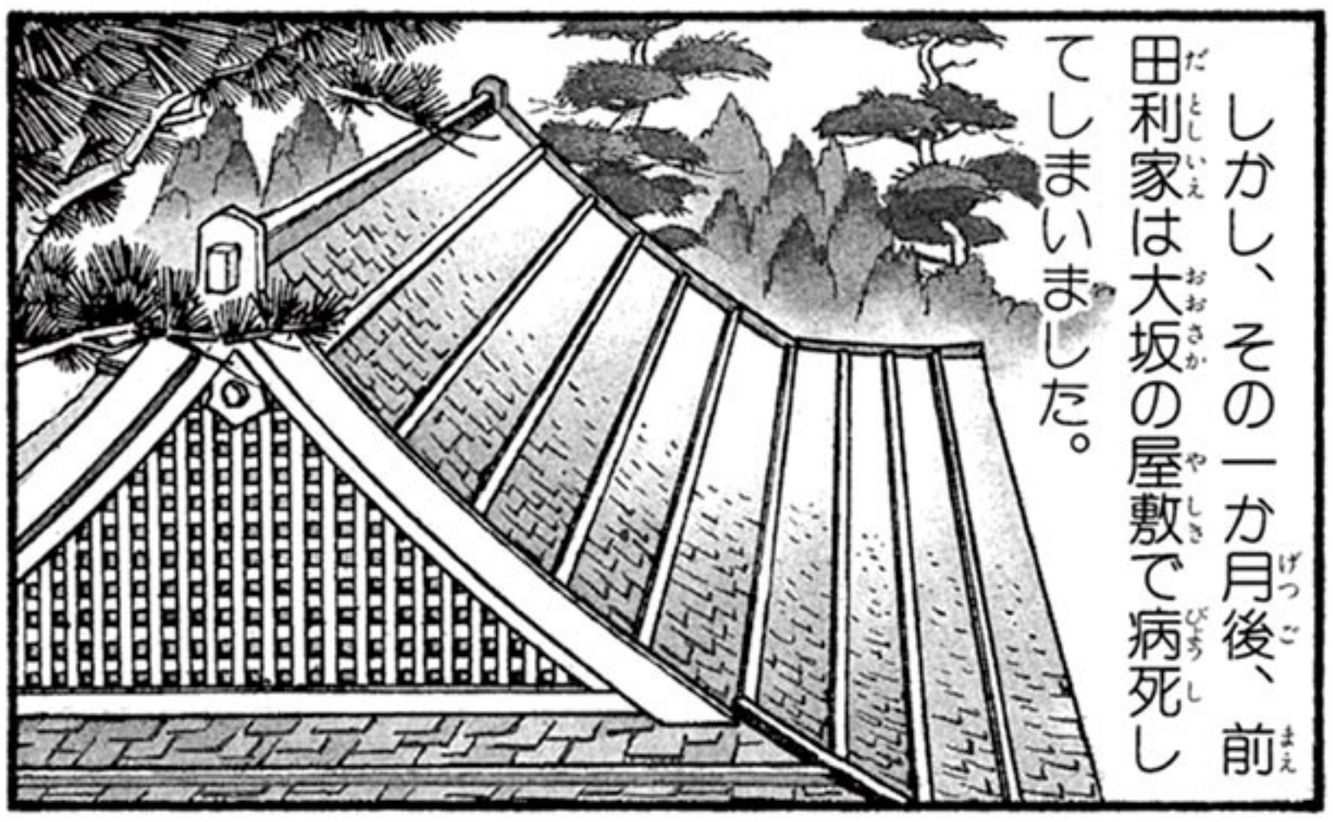


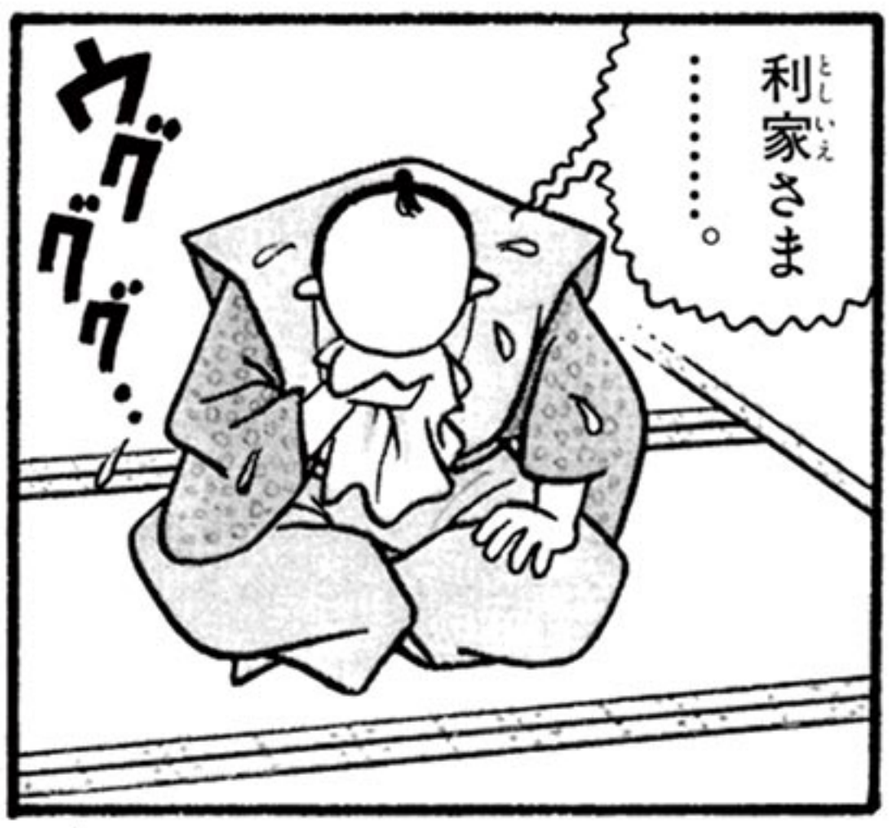
*媒酌人…結婚のなかだちをする人。

利家どのは病気の身、そしてもう、お年でございます。
利家が死ねば、清正らと三成のけんかをとめる者がいなくなる。

そうなると、豊臣家は分れつして、殿の思うままに…。
ニタリ


二月、こうして家康は、四大老、五奉行に秀吉の遺命にそむかないことを約束し、仲なおりしました。
ゴホン
ゴホン
ゴホン

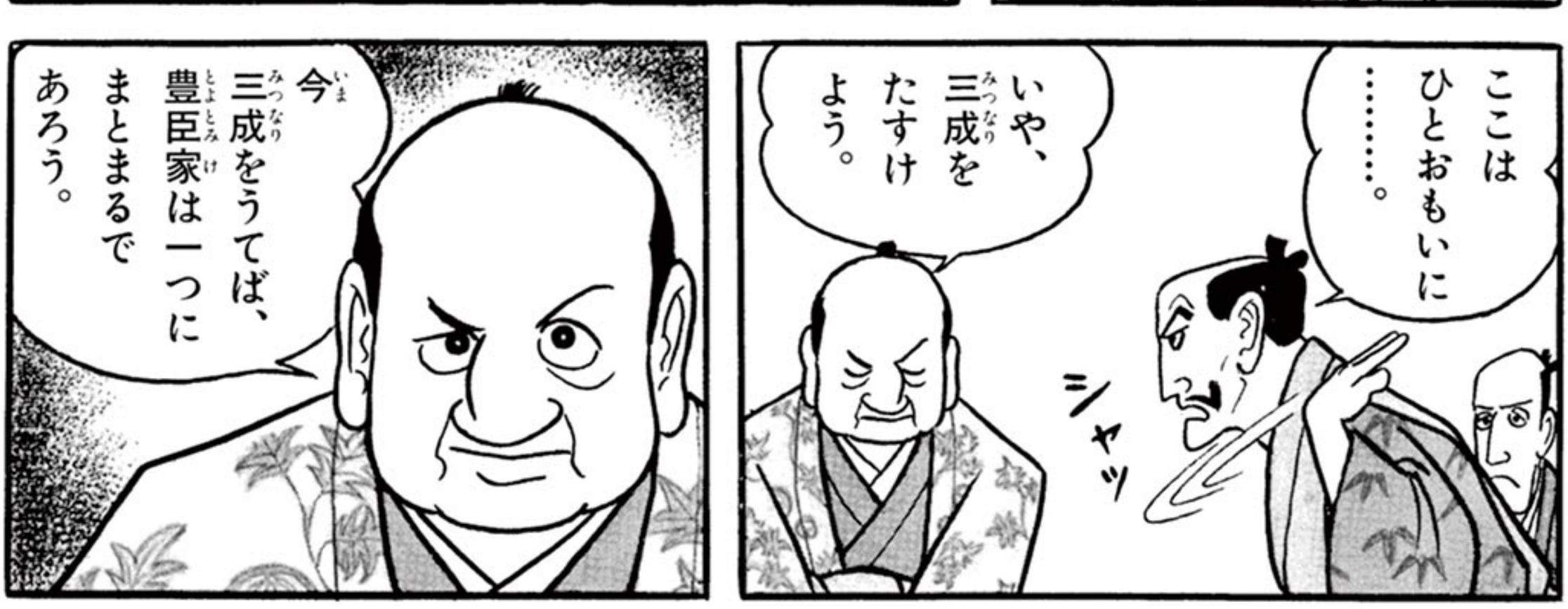

しかし、その一カ月後、前田利家は大坂の屋敷で病死してしまいました。


利家さま……。
ウグググ…

家康に対抗できるのは、利家さまだけだったのに…。
ググ
これからはわたしの力で、秀頼さまをおまもりせねば。
グジュ

三成どの、たいへんじゃ!
ガラッ
ギッコ

*七将…あとの五人は、黒田長政、細川忠興、池田輝政、加藤嘉明、蜂須賀家政。



それよりも、三成を生かしておいて、豊臣家の武将たちの対立をつづけさせるのだ。

なるほど！

いずれ三成は、わしにさからう者どもをあつめ、挙兵するであろう。

三成をたたくのは、そのときですな。

そうじゃ。

三成め、今はわしにころされぬことを知っていて、この屋敷ににげこんできたのじゃ。

なんと油断のならぬ男……。

加藤清正ら七将の石田三成襲撃事件も、家康の仲裁によって無事おさまりましたが、三成は佐和山に引退させられました。

この年の十二月、大坂城――

四大老は領国に帰っております。

それも、殿が四大老にすすめたため。

もう この大坂城には、わしに意見をいう者はおらん……。

ここ*西の丸にも、本丸同様の天守をきずこう。
ほんとうの実力者はだれかということを、天下にしめすのだ。

*西の丸…城の西部の一郭。

翌一六〇〇年正月、諸大名は大坂城本丸に出むいて、秀頼に年賀のお祝いをいいました。

諸大名は、秀頼さまへのあいさつをおえたあと、家康どのにもあいさつをしに行ったそうな。

天下人でもない家康どののところへ行くとは、諸大名は秀頼さまを見はなしているのでしょうか。
淀殿

いいえ、ただ家康どのをおそれてのことでございます。
家康どのさえいなければ、今までどおり豊臣家に忠誠をつくすことでしょう。
なぜ、家康どのをたおそうとする者がいないのか…。

もう しばらくの ごしんぼう です。

かならず、佐和山の三成どのが家康にたちむかってくれます。

三成が……。

五月、家康は、上杉景勝に豊臣家への逆心ありという理由で諸大名に動員令をくだし五万八千の軍勢をひきいて会津遠征に出発しました。

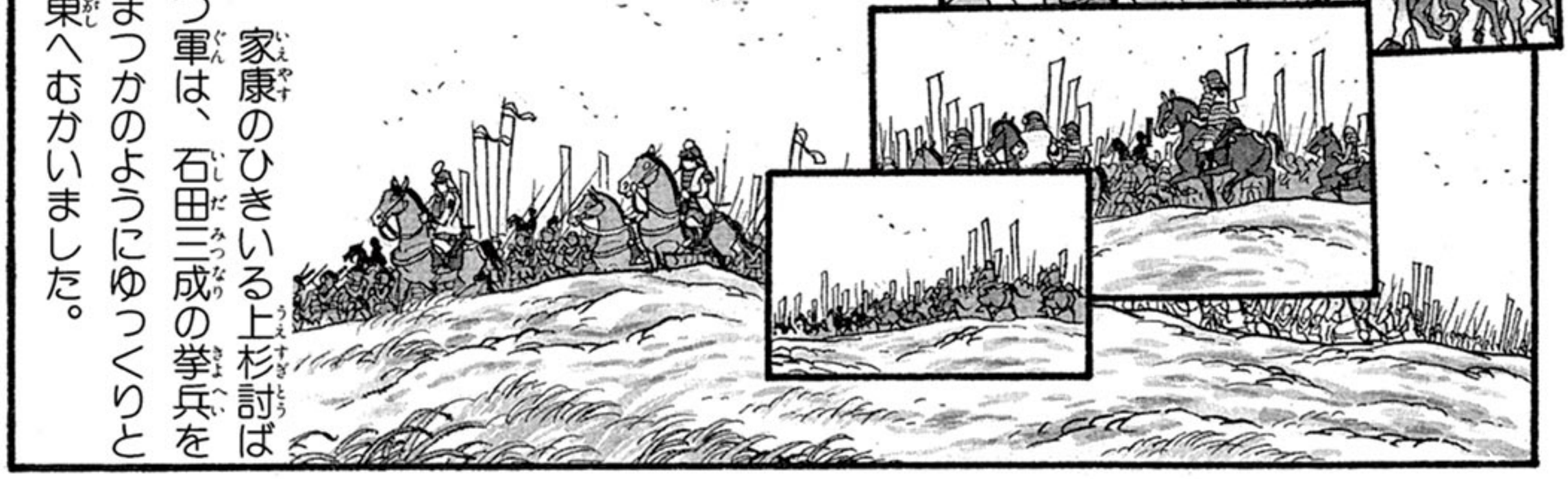
オー

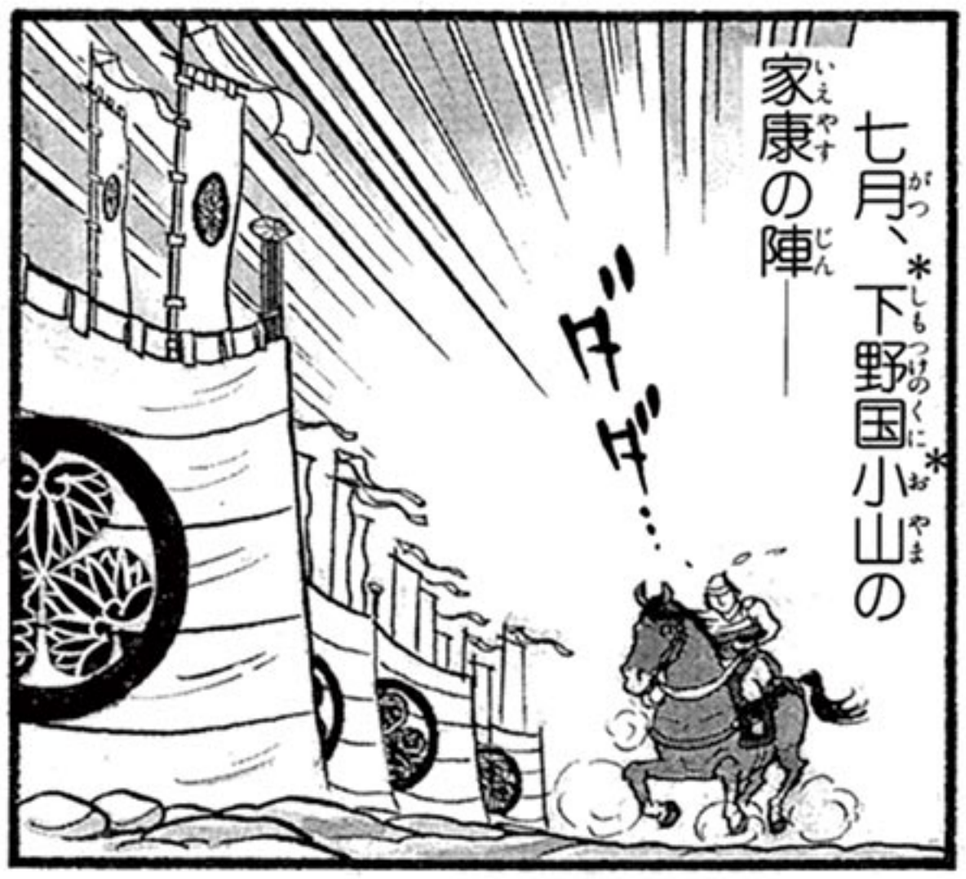
オー

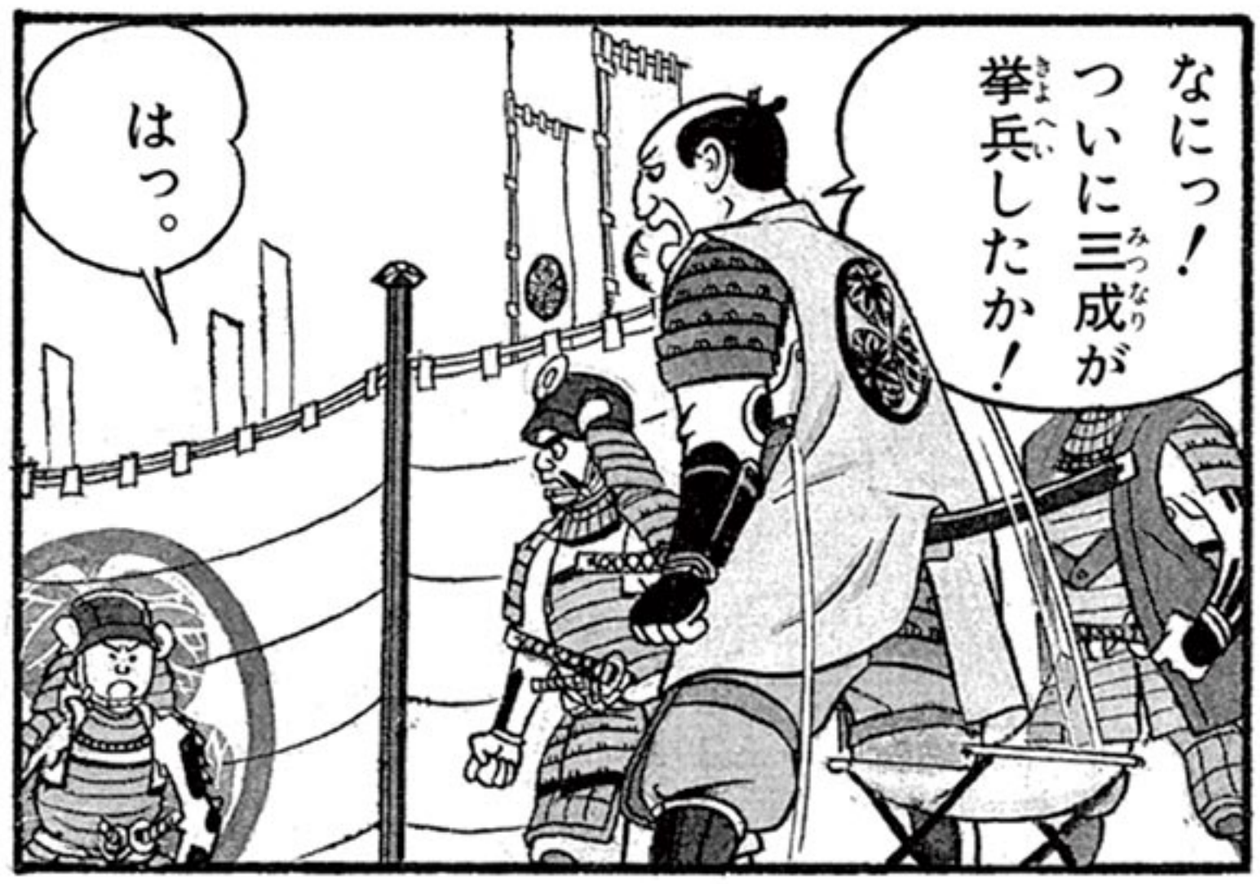
オー

秀頼さまへの逆心者を討ばつするのだ！

家康のひきいる上杉討ばつ軍は、石田三成の挙兵をまつかのようにゆっくりと東へむかいました。







＊会津…福島県会津若松市　＊下野…栃木県　＊小山…栃木県小山市

三成は、毛利輝元どのを総大将にし、徳川討ばつの軍をあつめました。

よし、諸将をあつめよ。

ゾロゾロ

先日、大坂で石田三成が、この家康に兵をあげた。

なんと！

この陣には、豊臣家に恩を感ずる大名や、大坂に家族をのこしてきた大名も多かろう。

この家康にえんりょせず、大坂に帰られよ。わしはその者たちを、うらみに思わん……。

ザワ ザワ ザワ

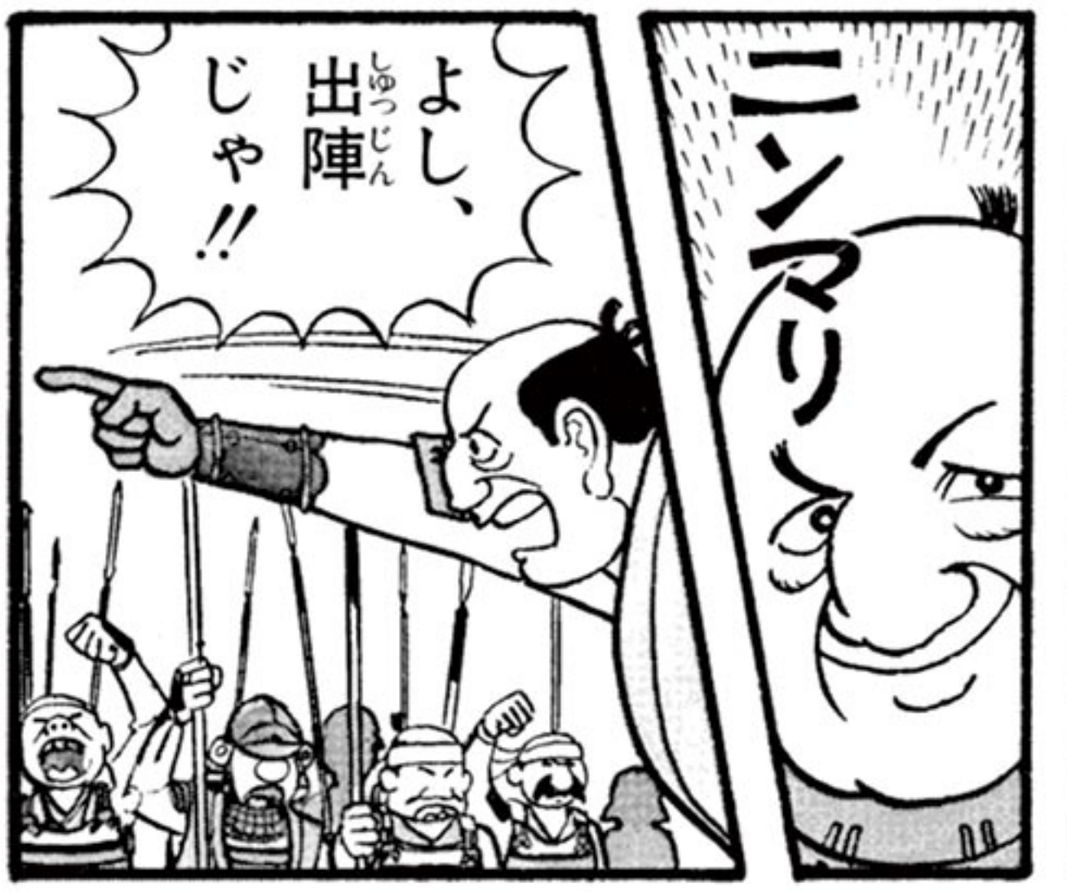
福島正則

……。

もし家康どのが秀頼さまをもりたててくださるなら、よろこんでお味方いたしましょう。

そうじゃ！

これは、豊臣家の名をかりる三成と家康どのの戦い…。秀頼さまに弓を引く戦いではない！



こうして両軍は対決することになりました。家康側が東軍、三成側が西軍とよばれています。

家康は軍を二つに分け、一方の大将を中山道をのぼらせ、自分は東海道から西上しました。

一方、西軍は毛利輝元を大坂城におき、三成らは大垣城まで進撃していましたが、家康軍の動きを見て関ケ原に陣をかまえました。

東軍七万数千、西軍八万一千といわれています。

＊大垣城…岐阜県大垣市、西美濃平野の中央にあった城。＊関ケ原…岐阜県不破郡関ケ原町にある、大垣市西方の盆地。

九月十五日朝、関ケ原――

ああ、きのうはよくふった。

おお、すごい霧だなあ！

ほんとだ。

あれ？

侍が見えるとは……。まだ目がさめていないようだ。

うん、ぼくもお侍が見えたから、目がさめていない。

ん！

ん？

い、く、さだ……。

おい、かあちゃんたいへんだ！

いくさだ！いくさがはじまるぞお！

荷物をもってにげよう。

ドドドドド

わあっ！

午前八時ごろ、ついに合戦の火ぶたが切られました。

うて!!

ドドドドー

ドドドド

うおおっ!!

わっ！

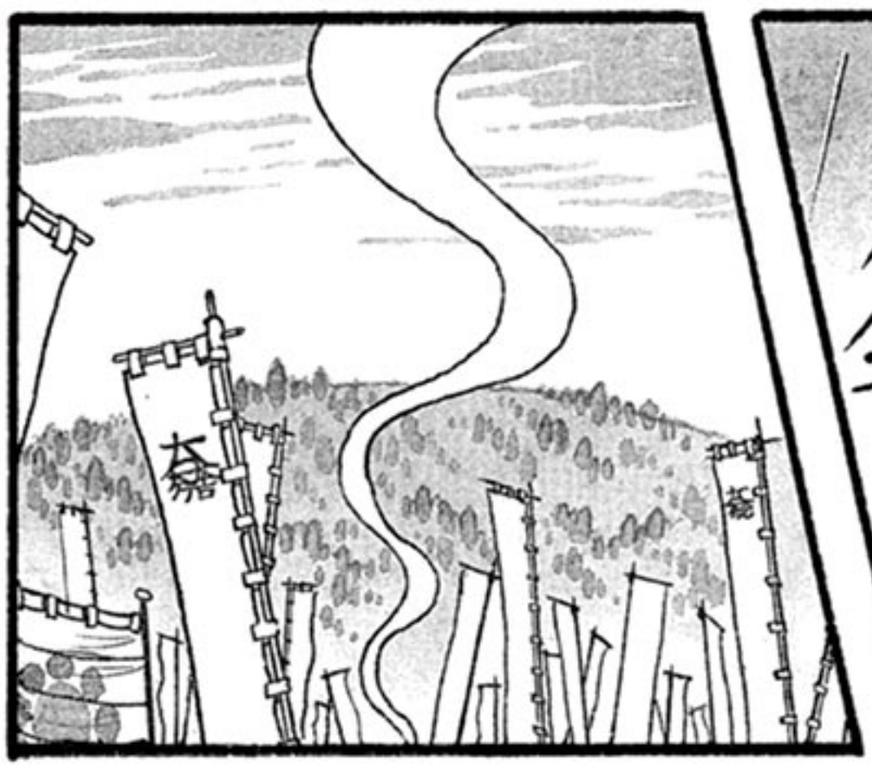
むむ！

ヒラリ

くそっ!!

だああっ!!

戦いは、両軍一進一退のはげしい攻防をくりかえし、正午近くになっても勝敗はきまりませんでした。

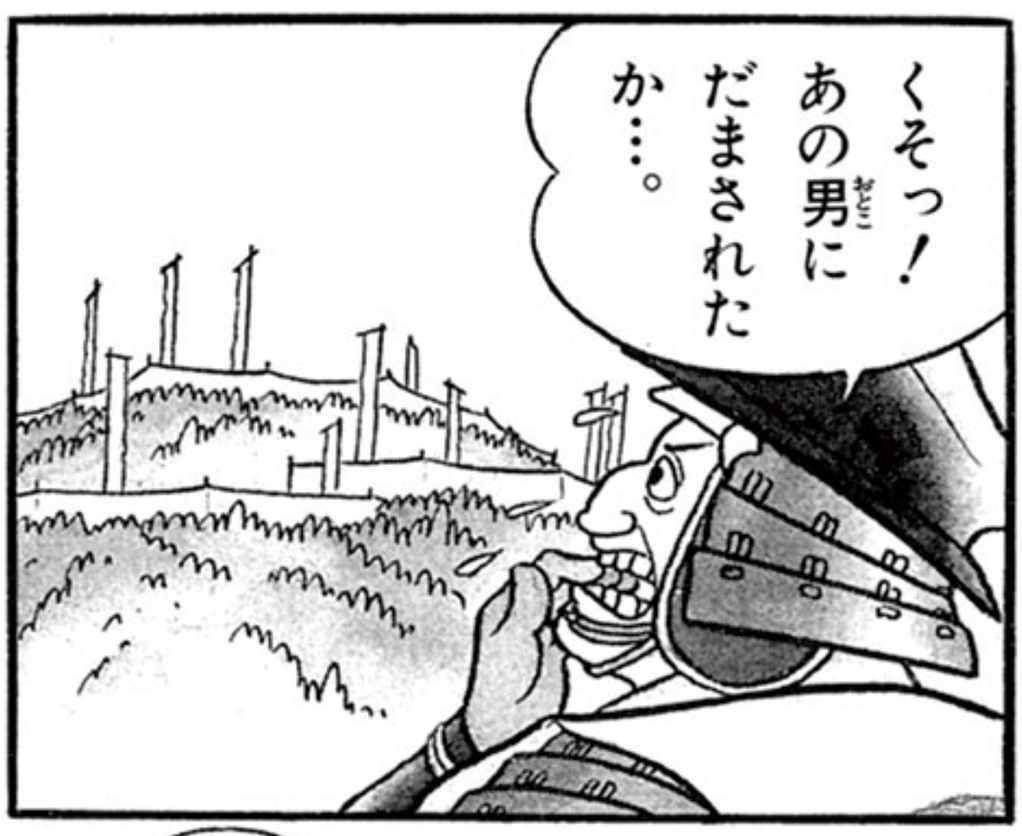


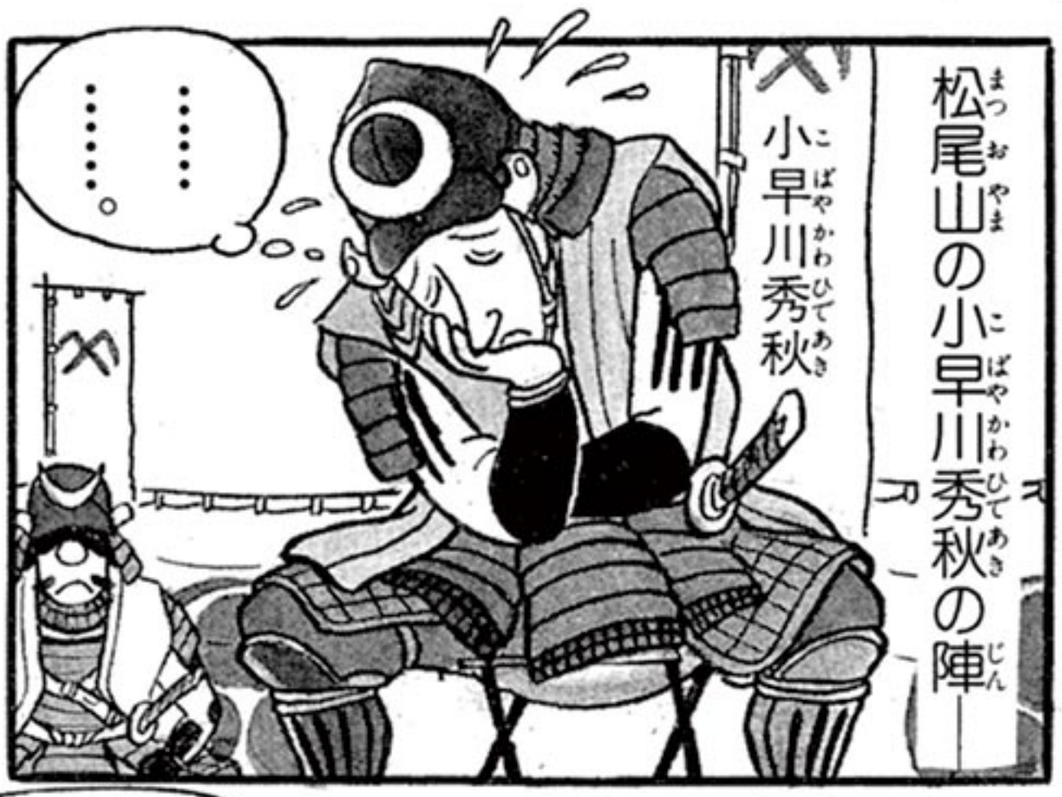
*松尾山…関ケ原の南部にある山。

家康の陣――

くそっ！小早川め、三成の合図で東軍をせめるつもりか！

しかし、小早川どのは西軍をうらぎると、約束しておりました。





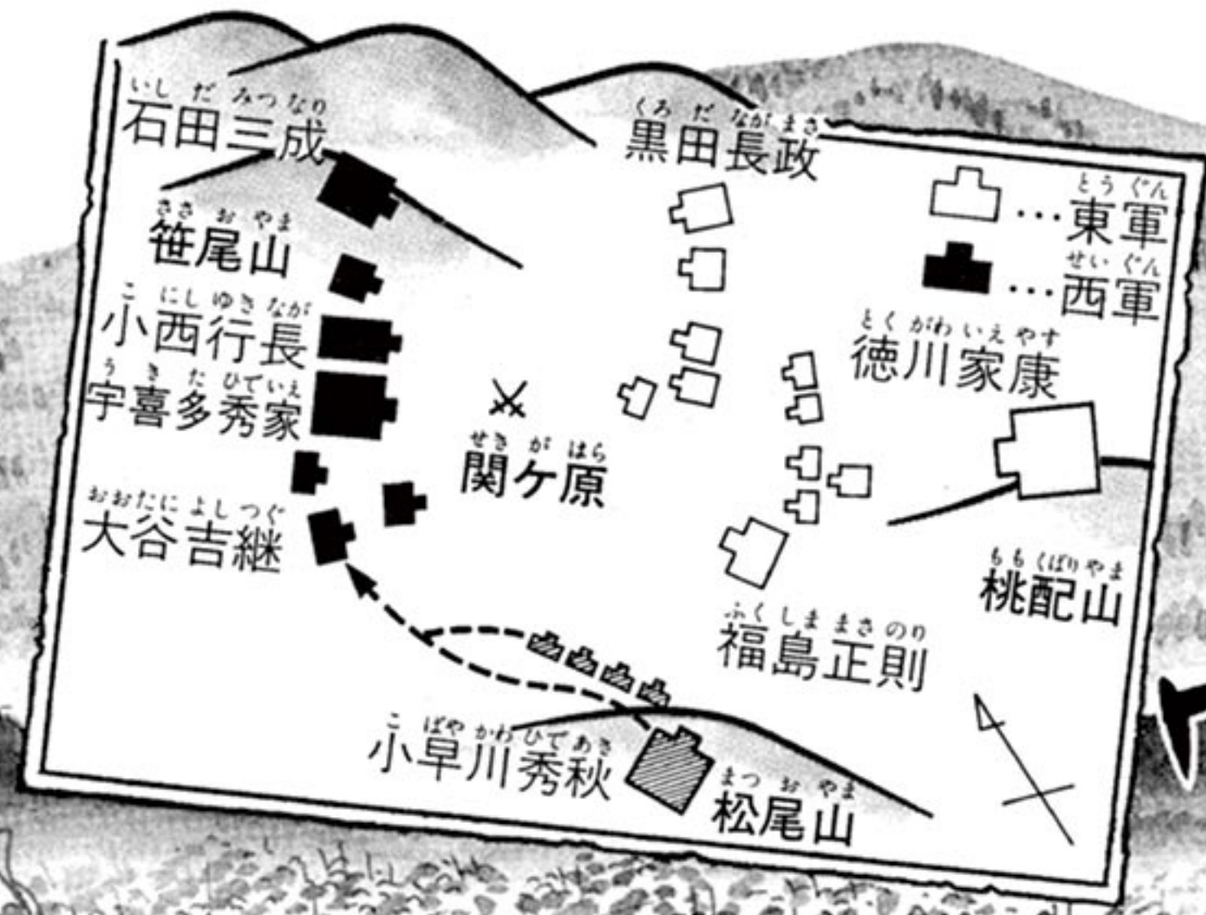
ドドド

みなのものすすめ!!

ワーワー

ズドドド

ついに、小早川秀秋は東軍にねがえり、西軍の大谷吉継の陣に突入しました。一進一退だった戦いも、これをきっかけに東軍優位となり、西軍はみるみる総くずれになっていきました。



ワー!

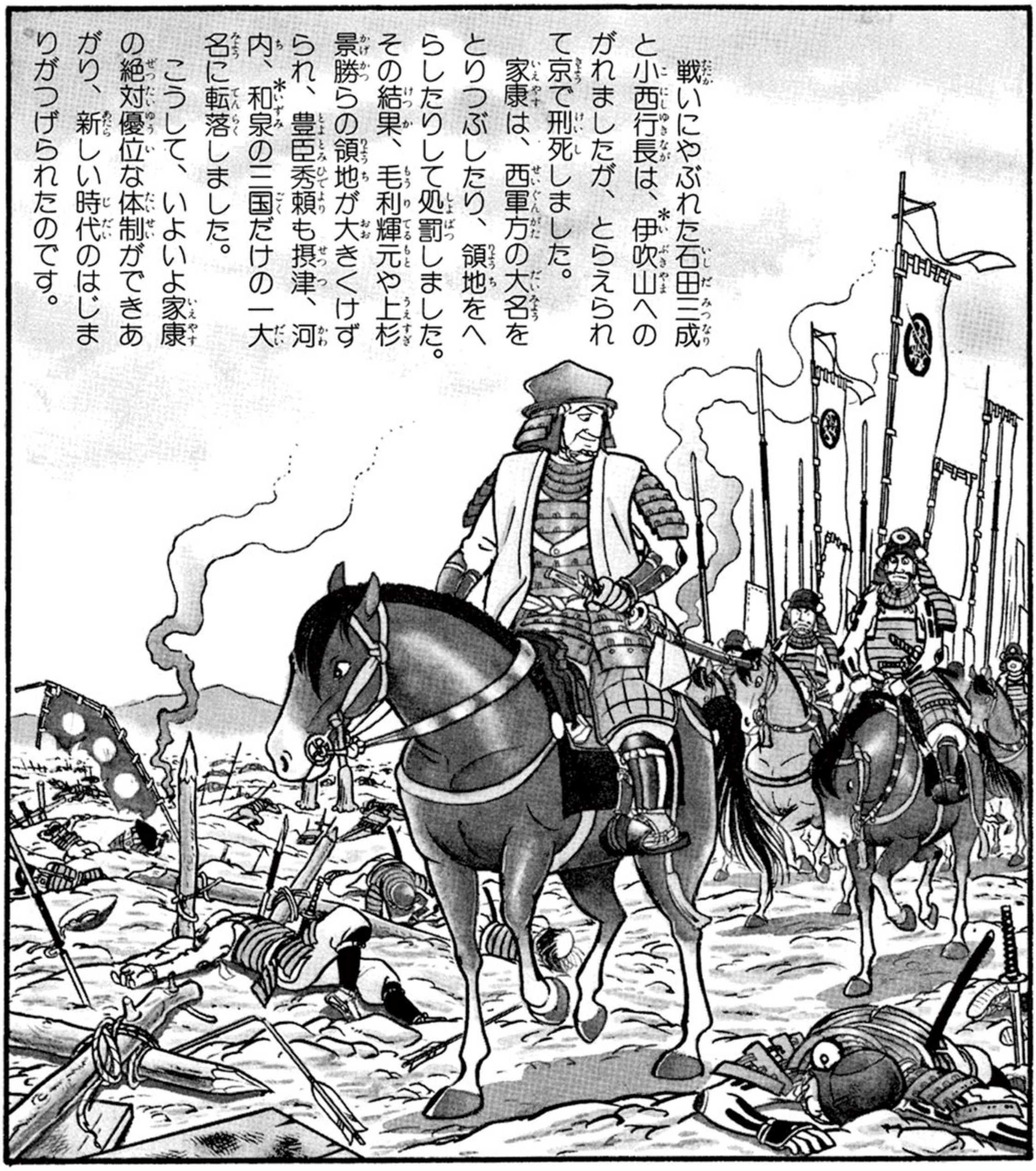
小早川のうらぎり!!だっ!!

こうして、関ケ原の戦いは東軍の勝利におわりました。

戦いにやぶれた石田三成と小西行長は、*伊吹山へのがれましたが、とらえられて京で刑死しました。

家康は、西軍方の大名をとりつぶしたり、領地をへらしたりして処罰しました。その結果、毛利輝元や上杉景勝らの領地が大きくけずられ、豊臣秀頼も摂津、河内、*和泉の三国だけの一大名に転落しました。

こうして、いよいよ家康の絶対優位な体制ができあがり、新しい時代のはじまりがつげられたのです。



＊伊吹山…関ケ原の北西、滋賀県と岐阜県の境にある山。　＊和泉…大阪府南西部

小学館 eBooks

おうちの方へ

天下の統一

京都教育大学名誉教授　高山博之

約100年間にわたる戦国の世は、織田信長、豊臣秀吉の統一事業により、やっと幕を閉じます。この間に、室町幕府は滅亡、古い体制は崩れて新しい秩序が生まれ、雄大な気風をもった武家文化が花開きました。安土桃山時代です。

信長、秀吉、徳川家康の三人は、よく比較して扱われますが、この巻は、家康が最後に天下を握る関ケ原の戦いまでを描いています。子供たちにとっても最も関心の高い、波瀾万丈の面白い時代です。

この三人はもちろん、様々な登場人物の活躍を通して、新しい時代の息吹やその展開をとらえさせてください。

●第1章「安土山の城」

武人として政治家として、すぐれた先見性をもっていた信長は、持ち前の実行力と判断力で敵対する勢力を次つぎに打ち破り、天下統一をめざしました。

足利義昭の追放、比叡山や本願寺などの仏教勢力の打倒は、古い権威を否定するものであり、また、長篠の戦いにおける鉄砲隊を活用した戦術は、新旧勢力の交代を印象づける点で大きな意義をもっています。

城郭史上画期的な安土城の築城、城下町の形成、そこでの楽市・楽座の政策、南蛮文化の摂取などにも、信長の新しさ、気宇の壮大さを見ることができます。画面の彼の服装にも注目させたいものです。

●第2章「天下統一をめざす」

志半ばにして本能寺の変で倒れた信長のあとを継ぎ、天下統一を達成したのが秀吉でした。信長の死後、秀吉は迅速な行動で明智光秀を

破り、次いで柴田勝家を倒して、信長の事実上の後継者となり、統一事業を進めます。

大坂城の築城は、秀吉の権力と意気ごみを示す重要なことがらです。城づくりの様子を、資料編の大坂城図解とともに、よく読みとらせるとよいでしょう。

また、秀吉と家康の関係が描かれている点に注目させてください。家康は、初めは秀吉に敵対し、情勢を見て臣下の礼をとりますが、のちに結局、豊臣家を滅ぼすわけです。

●第3章「秀吉の政治」

天下統一が近づくと、秀吉は北野大茶会を催したり、聚楽第を築いて天皇の行幸をあおぐなど、天下人としての威光を内外に示しました。

一方、封建支配の確立をめざし、積極的な政策を次つぎに打ち出します。とくに、検地・刀狩りは、年貢取りたてのしくみや農民支配を確固たるものとし、武士と農民・町人を区別する身分制の基礎を固めました。これらの政策は、江戸時代に受けつがれ、封建社会の支配原理となることを理解させてください。

対外政策として、キリスト教禁止、朝鮮出兵が重要です。朝鮮への侵略は、のちのちまで大きな禍根を残すことに注意させましょう。

●第4章「関ケ原の戦い」

秀吉の死後、最大の実力者である家康と、その台頭をはばもうとする石田三成との対立が、ついに全国の大名を二分する関ケ原の戦いをひきおこしました。

信長・秀吉のもとで、長い間脇役に甘んじてきた家康は、ここでいよいよ主役として歴史の檜舞台に登場したのです。忍耐強い努力家で、実直な人柄といわれる家康が、諸大名の信頼を集め、最後に勝利者となった点に着目させ、ここで、改めて三人の天下人の人物像を比較し、話し合ってみるとよいでしょう。

関ケ原の戦いに勝った家康は、やがて江戸幕府を開き、徳川政権の基礎を固めていきます。

児玉幸多
Kouta Kodama

歴史を漫画で説明しようというのはかなり冒険である。しかし、文字で読んでも、耳から聞いても、人それぞれに頭の中ではその光景を絵に描いているのである。それが子供たちの頭の中で全くの絵空事にならないように、今の歴史研究の段階では、このくらいのところまでは漫画にすることができるのではないかという試みがこの企画である。

それぞれの専門研究家の指導によって一巻ごとの構成を決め、作図や文章表現も考慮しているので、誤った知識を得る恐れはないと思う。そして、多分、大人が読んでも、あるいは見ても、十分に楽しみながら日本歴史の学習ができるのではないかとも考えている。遺跡の発掘、奈良の大仏の鋳造、天守閣の構築、それらの一つ一つにも、専門家の新しい研究成果が判りやすく盛りこまれているからである。楽しみながら正確な知識が得られることを願う次第である。

小学館 eBooks
学習まんが　少年少女 日本の歴史　第 11 巻　天下の統一

2015 年 3 月 27 日　電子書籍版発行
監　修　児玉幸多
まんが　あおむら 純
発行人　伊藤 護
発行所　株式会社　小学館
〒101-8001
東京都千代田区一ツ橋 2-3-1
s-ebook@shogakukan.co.jp

底　本　2014 年 11 月 16 日　増補版第 25 刷発行

©SHOGAKUKAN 2015 ISBN978-4-09-298111-9

※ご注意
本作品の全部または一部を無断で複製、転載、改竄、公衆送信すること、および
有償無償にかかわらず、本データを第三者に譲渡することを禁じます。
個人利用の目的以外での複製など違法行為、もしくは第三者への譲渡をしますと
著作権法、その他関連法によって処罰されます。